
日医特定健康診査システム (仮称)

詳細設計書

ORCA PROJECT

0.8.9 版

2008 年 3 月 14 日

目 次

1 設計・プログラミングの手引	8
1-1 開発及び動作環境規約	8
1-1-1 開発環境規約	8
1-1-2 実行環境規約	8
1-1-3 テスト環境規約	8
1-2 開発フォルダー規約	9
1-3 画面レイアウト規約	9
1-4 画面フォーム規約	10
1-4-1 規定のフォームレイアウト規約	10
1-4-2 サンプル画面	11
1-5 プログラミング規約	12
1-6 数値データの取り扱いについて	12
1-7 コーディング規約	13
1-7-1 概要	13
1-7-2 方針	13
1-7-3 クラス名、メソッド名などの命名規約	14
1-7-4 コメント	15
1-7-5 印刷	15
1-8 メッセージ通知画面規約	16
1-8-1 画面デザイン	16
1-9 インストーラ規約	18
1-9-1 インストーラの諸元	18
1-10 D B 規約	19
1-11 セキュリティー規約	19
1-12 テストデータ規約	19
1-13 単体試験	19
1-13-1 ツール	19
1-13-2 対象	19
1-13-3 エビデンス	20
1-14 日医標準レセプトソフト連携	20
1-15 パフォーマンス	21
1-16 その他注意事項	21
2 開発及び工程管理	22
2-1 開発手順	22
2-2 工程数	22
3 特定健康診査システム画面遷移表	23

4 システムメンテナンス画面遷移表	24
4-1 通常の健診システムのメニュー画面	25
4-2 マスター・メンテナンスが選択された時のメニュー画面	26
4-3 システム・メンテナンスが選択された時のメニュー画面	26
4-4 システム管理者用メニュー画面	27
5 ログイン処理	28
5-1 スプラッシュ画面	28
5-1-1 画面デザイン	28
5-1-2 処理	29
5-2 特定健診ログイン画面	31
5-2-1 画面デザイン	31
5-2-2 処理	33
6 受診券入力（個人情報登録）	37
6-1 画面レイアウト及び機能	37
6-2 項目移送表	39
6-3 健診項目入力シート（検査結果）	41
6-4 健診項目入力シート（問診）	42
7 健診結果データ入力	43
7-1 画面レイアウト及び機能	43
7-1-1 受診者選択画面	43
7-1-2 健診パターンについて	45
7-1-3 健診項目入力シート（検査結果）	46
7-1-4 健診項目入力シート（問診）	47
7-2 検査結果入力画面	48
7-3 項目移送表	49
7-3-1 （共通の項目）	49
7-3-2 「※1」についての項目移送方法	49
7-3-3 （共通以外の項目） T_KENSAKEKA SONOTA	50
8 検査結果データ取込み	51
8-1 画面レイアウト及び機能	51
8-1-1 起動時の画面	51
8-1-2 臨床検査結果データ選択後状態	51
8-2 臨床検査結果データ交換仕様書について（その他フォーマット）	53
8-2-1 臨床検査結果データ交換電文	53
9 健診結果表示・自動判定	54
9-1 検索画面	54

9-1-1 画面デザイン	54
9-1-2 処理	57
9-1-3 階層化処理	58
9-1-4 結果コメント	59
9-1-5 メタボリックシンドローム判定（自動）	61
9-1-6 階層化	64
9-1-7 階層化の種別について	64
9-1-8 階層化の方法について	65
9-1-9 階層化の実装について	70
9-1-10 印刷処理	71
9-1-11 健診結果表示処理	76
9-1-12 終了処理	76
9-2 健診結果表示画面	77
9-2-1 画面デザイン	77
9-2-2 各部名称、役割、動作	77
9-2-3 項目移送表	79
9-2-4 処理	79
9-2-5 修正処理	79
9-2-6 印刷処理	79
10 請求・HL7出力	80
10-1 請求処理	83
10-2 集計処理	87
10-3 HL7変換およびファイル出力	89
10-3-1 HL7フォーマット出力データについて	90
10-3-2 HL7出力ファイルの命名規則について	91
10-4 請求データ編集	93
10-4-1 画面レイアウト及び機能	93
10-4-2 項目移送表	94
10-5 外部メディア出力	95
10-5-1 各画面毎の動作について	95
10-5-2 起動時の状態	95
10-5-3 転送先ドライブの指定例	95
11 機関情報登録画面	97
11-1 画面デザイン	97
11-1-1 各部名称、役割、動作	97
11-1-2 項目移送表	99
11-2 処理	99
11-2-1 登録処理	99

11-2-2 キャンセル処理.....	99
12 健診パターンメンテナンス	100
12-1 画面レイアウト及び機能.....	100
12-1-1 起動時の状態	100
12-1-2 パターン編集画面.....	102
12-2 パターンの複製画面	103
12-3 項目移送表	103
12-3-1 起動時の状態での移送	103
12-3-2 パターン編集画面での移送表	103
13 健診項目マスターメンテナンス	105
13-1 画面レイアウト及び機能.....	105
13-2 項目移送表	106
13-2-1 表示画面内での移送	106
14 医療保険者情報マスタメンテナンス	107
14-1 機能概要	107
14-2 画面レイアウト及び機能.....	107
14-2-1 保険者一覧選択画面	107
14-2-2 保険者情報変更画面	108
14-3 項目移送表	110
15 検査機関検査項目コードマスターメンテナンス	111
15-1 画面レイアウト及び機能.....	111
15-2 画面サンプル	113
15-3 項目移送表	113
16 支払代行マスターメンテナンス	114
16-1 マスタメンテ画面	114
16-1-1 画面デザイン	114
16-1-2 処理.....	117
16-2 支払代行情報登録画面	118
16-2-1 画面デザイン	118
16-2-2 処理.....	120
17 システム利用者メンテナンス	121
17-1 メンテナンス画面	121
17-1-1 画面デザイン	121
17-1-2 処理.....	124
17-2 ユーザ情報登録画面	132

17-2-1 画面デザイン	132
17-2-2 処理.....	135
18 複数機関情報メンテナンス	136
18-1 画面デザイン	136
18-1-1 各部名称、役割、動作.....	136
18-1-2 項目移送表.....	138
18-2 処理	139
18-2-1 初期化処理.....	139
18-2-2 追加処理.....	139
18-2-3 変更処理.....	139
18-2-4 削除処理.....	140
18-2-5 終了処理.....	140
19 機関DBバックアップ	141
19-1 画面デザイン	141
19-1-1 各部名称、役割、動作.....	141
19-1-2 項目移送表.....	143
19-2 処理	144
19-2-1 バックアップファイル名規則.....	144
19-2-2 共通処理.....	144
19-2-3 再表示処理.....	144
19-2-4 バックアップ処理.....	145
19-2-5 復元処理.....	145
19-2-6 削除処理.....	145
19-2-7 終了処理.....	146
20 システムメンテナンス	147
20-1 ログイン画面.....	147
20-1-1 画面デザイン	147
20-1-2 処理.....	149
20-2 システム管理者メンテナンス画面	153
20-2-1 画面デザイン	153
20-2-2 処理.....	156
20-3 登録画面	164
20-3-1 画面デザイン	164
20-3-2 処理.....	166
21 システムDBバックアップ	167
21-1 画面デザイン	167
21-1-1 各部名称、役割、動作.....	167

21-1-2 項目移送表.....	169
21-2 処理	170
21-2-1 バックアップファイル名規則.....	170
21-2-2 共通処理.....	170
21-2-3 再表示処理.....	170
21-2-4 バックアップ処理.....	171
21-2-5 復元処理.....	171
21-2-6 削除処理.....	171
21-2-7 終了処理.....	172
22 (別添資料－1) 健診パターン別健診項目一覧.....	173
23 (別添資料－2) 配布時に初期設定しておくテーブル項目表	176
24 (別添資料－3) HL7項目移送表.....	193
25 (別添資料－4) 入力プログラムの項目チェック一覧	198
26 入力必須項目について	199
(別紙資料) DB詳細仕様書	202
27 オンラインアップデート.....	203
27-1 処理の概念図.....	203
27-2 処理の概要について	204
27-2-1 モジュールの更新について.....	204
27-2-2 DBの更新について.....	204
27-2-3 データの更新について	204
27-2-4 オンラインアップデートで使用するXMLファイルについて.....	205

1 設計・プログラミングの手引

本セクションは、特定健診システムを開発するに当たっての基本的なガイドラインを示したものである。

1-1 開発及び動作環境規約

1-1-1 開発環境規約

OS	Windows XP, Vista, Linux (Debian sarge or etch)
言語	Java SE 6 (最新のアップデート版)
データベース	Firebird 2.0
開発ツール	限定しない

1-1-2 実行環境規約

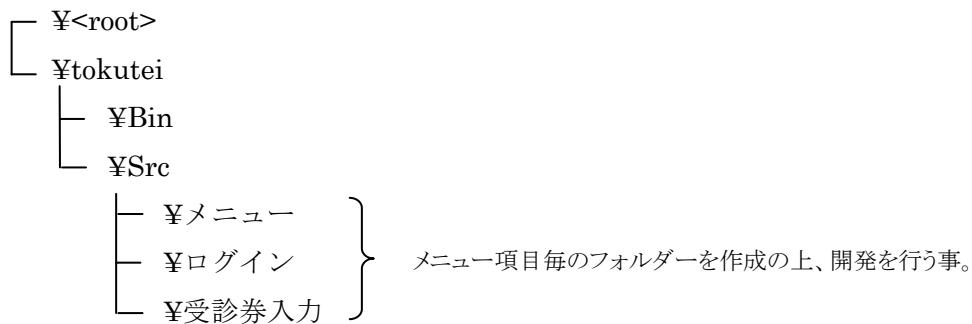
OS	Windows XP, Vista, Linux (Debian sarge or etch)
CPU	Intel Pentium 1GHz 以上
ハードディスク	1GB 以上の空き容量
メモリー	512MB 以上(Windows XP) / 1GB 以上(Windows Vista) 記載のない OS については、OS が推奨するメモリー容量とする
ディスプレイ	解像度 1024×768 以上推奨
データ読み込み、出力媒体	FD, CD/DVD, USB

1-1-3 テスト環境規約

CPU	Intel Celeron 2GHz 以上
ハードディスク	1GB 以上の空き容量
メモリー	256MB 以上(Windows XP) / 512MB 以上(Windows Vista) 記載のない OS については、OS が推奨するメモリー容量とする
ディスプレイ	解像度 1024×768 以上
ネットワーク	接続しない
F D D 他	3.5 インチ 2 モード FDD × 1 基、USB2.0 対応 USB ポート × 2 以上推奨

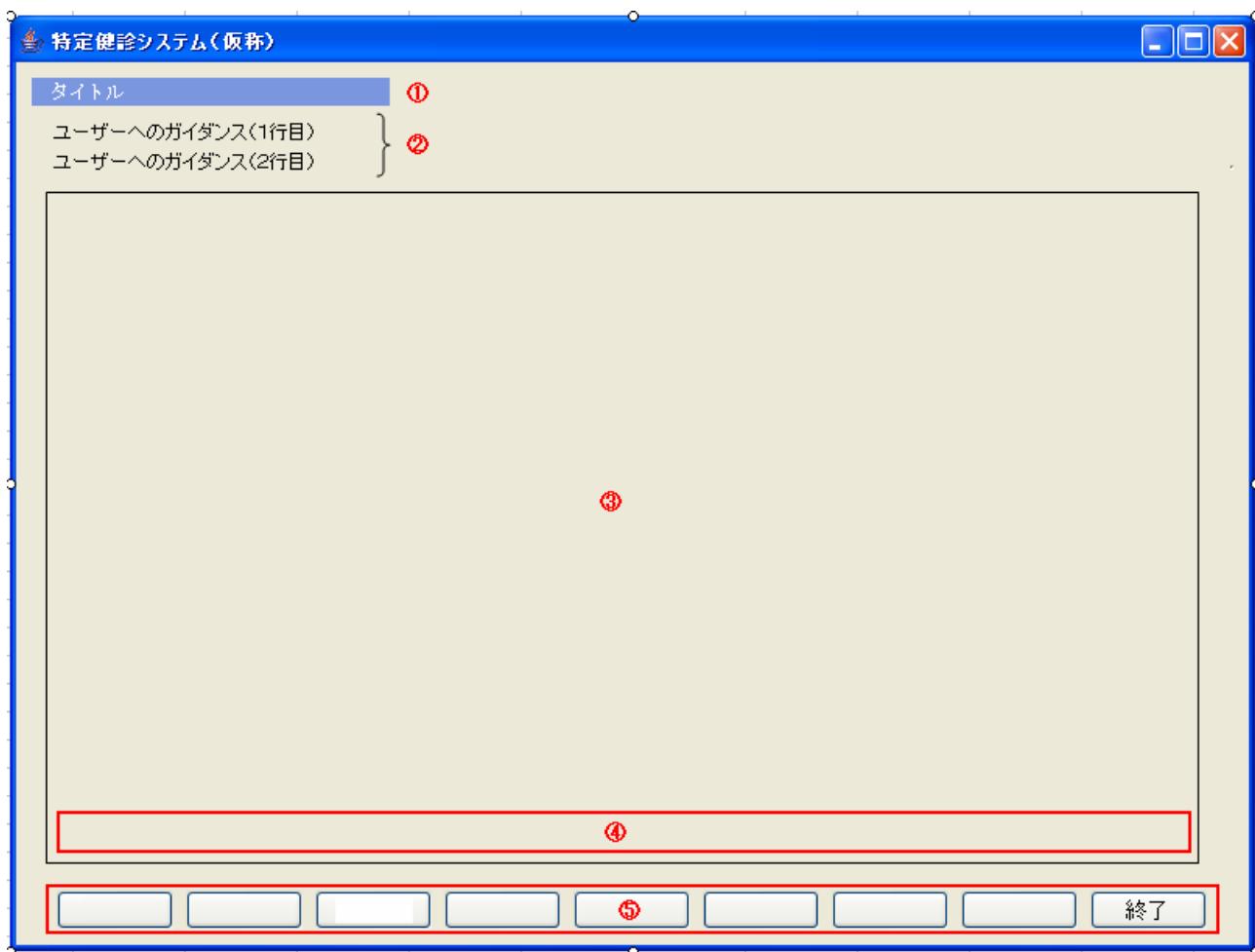
1-2 開発フォルダー規約

開発する際の規定フォルダーは下記の通りとする。



1-3 画面レイアウト規約

- ・ フォームサイズは可変サイズとする。
- ・ 最小のフォームサイズは 800×600 ピクセルとする。
- ・ 「最大化する」「任意で拡大する」等した場合にコントロールの位置は、フォームの大きさによって適切な位置へ再配置する。
- ・ フォームのタイトルは、「日医特定健診システム（仮称）」とする。
- ・ フォントの規定サイズは 12 ポイントとする。
- ・ フォントの種類は、ゴシック体とする。
- ・ 画面デザインの統一化を図る為に、フォントの装飾（斜体、太字、下線、カラー）はしない。
ボタンコントロールの規定のサイズは、75×25 ピクセルとする。それ以外のボタンコントロールについては画面のバランスを考慮して適切なサイズにする。また、フォントのサイズも同様とする。
- ・ フォームのコントロールボタン（閉じる）は使用できないようにする。
- ・ ステータスバーの表示は任意とする。

1-4 画面フォーム規約**1-4-1 規定のフォームレイアウト規約**

- ① … 処理のタイトルを記述
- ② … ユーザーへのガイダンスを記述
例え、「検査結果を入力してください。」「基準値を入力してください」など。
- ③ … 実際のプログラミングにおいての入出力結果を表示する為の領域
- ④ … ステータス表示領域
※ 任意とする。表示する場合は、現在フォーカスが当たっている箇所についての説明を表示する。
- ⑤ … コマンドボタン表示領域
※ 終了ボタンの位置は変更しないこと。これ以外のボタンについては、画面毎の任意とする。
※ 但し、画面間で統一性があるように考慮する事。
※ 使用しないボタンについては表示しないこと。

1-4-2 サンプル画面

下記の画面を参考にレイアウトを考慮する。

特定健診システム(仮称)

健診結果

検査結果票から、検査結果値を入力してください。

区分	項目	結果値	単位	基準値	判定	前回	前々回
身体計測	身長		cm				
	体重		kg				
	腹囲		cm	M~85,F~90			
	BMI		cm/m ²	18.5~21.9			

登録 終了

1-5 プログラミング規約

- 選択肢の規定値は、ユーザに対して重要な確認を求める時（削除等）以外は、“はい”にする。
※ 「はい」を選択すれば、処理が進んでいくようにする。
- 入力対象のコントロールの移動は、上から下へを基本とする。
- 二重起動は禁止とする。万一、予期せぬ事象で起動する事が出来なくなつた場合は、別の方で起動可能な状態に復旧できるようにしておく。
- 日付の入力形式について、入力は和暦・西暦のいずれも受け付ける。以下のフォーマットの入力を自動的に解析し、適切な日付を取得する。

西暦 / 和暦	フォーマット (年)	フォーマット (月日)	サンプル
西暦	9999	9999	20070102
	99	9999	070102
和暦	{明治 大正 昭和 平成}	99年99月99日	昭和35年1月2日
		999999	昭和350102
		99.99.99	昭和35.01.02
		99/99/99	昭和35/01/02
	{M T S H}	99年99月99	S350102
		999999	S350102
		99.99.99	S35.01.02
		99/99/99	S35/01/02
	{1 2 3 4}	9999999	昭和35年01月02日
	1:明治		
	2:大正		
	3:昭和		
	4:平成		

- DB上の管理は「YYYY/MM/DD」形式とする。
- 日付の区切りは、和暦は「年号（明治・大正・昭和・平成）十年月日」とし、西暦は「YYYY/MM/DD」とする。
- 性別の表記については、「男性」「女性」を表現する。（男性は1 女性は2 のコード入力も受け付ける）

1-6 数値データの取り扱いについて

1) 衔まるめの方法

数値データでマルメを行う必要がある場合にはどの項目においても四捨五入により指定された桁数にするものとする。

桁数の情報は、付属資料7のp7の表「健診結果・質問票情報」の備考欄に「小数点以下〇桁」に従う。

小数点以下の取り扱いの記載がない項目は、整数値である。計算によって整数値化する場合にも上記のルールに従い、小数以下1位の桁まで計算し四捨五入により整数値化すること。

2) 小数点以下の桁の値がゼロの場合、あるべき桁が存在しない場合の取扱い

小数点以下n桁の指示がある場合にその桁の数値が0である場合にも、0を出力する。

例) 身長180cm の場合、180.0 と出力する。

例外的にHbA1cの一部で小数点以下2桁と指定されている項目があるが、この場合に限り作成側は小数点以下1桁で出力してもよいことになっているので、この項目に限り小数点以下1桁のままでよい。

1-7 コーディング規約

1-7-1 概要

このドキュメントでは、日医特定健診システムのコーディングにあたって、遵守すべき規約を記載する。

1-7-2 方針

1-7-2-1 使用する規約

Java 言語 コーディング規約 (Code Conventions for the Java Programming Language) に従ってコーディングを行なう。

Java 言語 コーディング規約

http://www.tcct.zaq.ne.jp/ayato/programming/java/codeconv_jp/

Code Conventions for the JavaTM Programming Language

<http://java.sun.com/docs/codeconv/html/CodeConvTOC.doc.html>

1-7-2-2 遵守の度合い

規約を遵守する度合いは、ソースコードのメンテナンスを行なうにあたって、十分な作業効率が確保できる程度で良い。

1-7-2-3 重視するべき規約

「Java 言語 コーディング規約」の中で、特に重視するべき項目を以下に記載する。

- 2 ファイル名
- 3 ファイルの構成
- 4 インデント
- 5 コメント
- 9 ネーミング規約

1-7-3 クラス名、メソッド名などの命名規約**1-7-3-1 方針**

- 一般的な用語については、英語を組み合わせて命名する。
- 業務上、使用する用語（画面上に表示される用語）については、基本的にローマ字を使用する。
ただし、user や center のように、日本語として定着しているものについては、英語を使う。
QR のように、元々アルファベット表記のものは、そのままの表記を使う。
- 「ん」のローマ字表記は、「n」で統一する。
- 異常に長い名前を使用しない。長くても 20 文字程度までを目安とする。

1-7-3-2 よく使われる用語

本システムでよく使用する用語を使う場合の表記を記載する。

項目番号	用語	表記
1	特定健診	tkenshin
2	健診	kenshin
3	機関	kikan
4	決済	kesai
5	医療保険者	hokenjya
6	個人情報	kojin
7	検査	kensa
8	検査センター	kensacenter
9	検査結果	kensakeka
10	集計	syukei
11	ユーザ	user
12	支払	shiharai

1-7-3-3 データベース

データベースを扱う部分のソースコードについては、データベースで使われている名前（データベース名、テーブル名、カラム名など）をそのまま使用する。

1-7-4 コメント

1-7-4-1 ドキュメンテーション・コメント

1-7-4-2 方針

全てのクラス、インターフェイス、メソッド、フィールドには、Java 言語 コーディング規約の例に従って、必ずドキュメンテーション・コメントを付記する。

1-7-4-3 クラス、インターフェイスのコメント

クラス、インターフェイスのコメントには以下の内容を記載する。必要に応じて、他の要素を記載しても良い。

- ・ クラスの説明
- ・ 作成日
- ・ 作成者
- ・ 修正履歴

1-7-4-4 メソッドのコメント

メソッドのコメントには以下の内容を記載する。必要に応じて、他の要素を記載しても良い。

- ・ メソッドの説明
- ・ 引数
- ・ 戻り値
- ・ 例外

1-7-4-5 通常のコメント

- ・ メソッド内部では、処理の流れがわかるように、適宜通常のコメントを付記する。
- ・ 修正が発生した場合には、修正履歴を記載する。
- ・ 生産性が落ちる程、コメントを付記する必要は無い。
- ・ コーディング上の疑問点や感想など、処理や動作に関係の無い内容を記載してはならない。

1-7-5 印刷

ソースコードを印刷するとき、行が右端で折り返さないよう、1行の長さを適切に調節する。

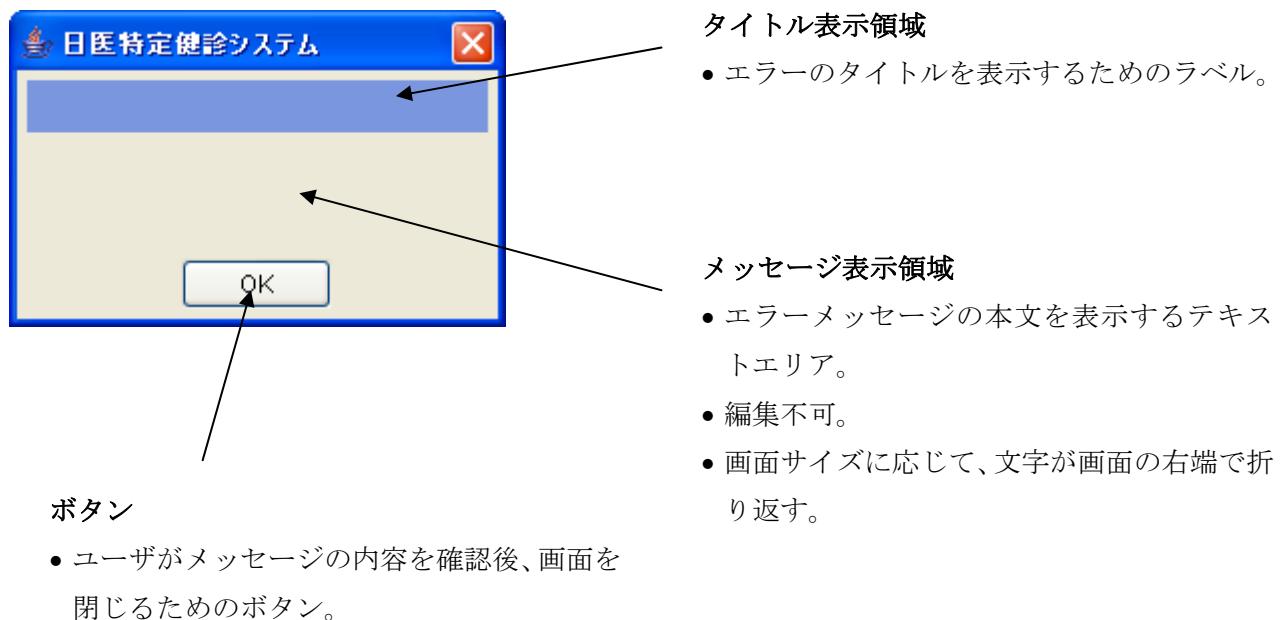
1-8 メッセージ通知画面規約

1-8-1 画面デザイン

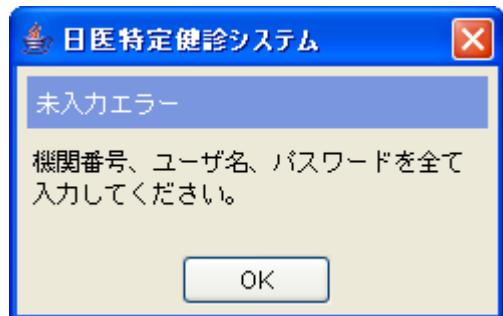
1-8-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- ユーザにメッセージを通知するための画面。
- 画面の初期サイズは 300×200 とする。※システムが使用するメッセージが長い場合もありえるので初期サイズは状況に応じて変更も可能。
- ディスプレイの中央に表示する。
- 常にモーダル状態で表示する。
- 呼び出し元の画面がある場合、呼び出し元の画面より常に前面に表示する。
- 表示直後は、OK ボタンがフォーカスを持つ。
- ユーザは、画面サイズの変更を行なうことができる。
- 画面サイズの変更後、使用上問題が発生しないように適切にレイアウトを変更する。
- 画面サイズを小さく変更したときに、レイアウトが崩れないよう、画面の最小サイズを設定する。
- 外部のメッセージファイル（後述）からタイトルとメッセージ本文を取得して表示する。



表示例



メッセージファイルの詳細

- ① ユーザ向けのメッセージは、プログラムの外部のテキストファイルで定義する。
以降、このファイルを「メッセージ定義ファイル」と表記する。
メッセージ定義ファイルには、メッセージを特定するためのメッセージ ID と表示する内容を記載する。
- ② プログラム起動時にメッセージ定義ファイルを読み込む。
プログラム中で指定したメッセージ ID に対応する内容を、本画面に表示する。
- ③ メッセージファイルは Java のプロパティファイルの形式にする。
1 レコードのフォーマットを以下に示す。

<メッセージ ID>=<タイトル>,<メッセージ本文>,<ボタン種別>,<デフォルト選択ボタン>

- ④ 各項目のフォーマットを以下に示す。

項目番号	名称	文字種別	文字数	説明
1	メッセージID	※説明欄参照		半角「M」+数字4桁
2	タイトル	全て	0-15	タイトル表示領域に表示する文字列。
3	メッセージ本文	全て	0-100	メッセージ表示領域に表示する文字列。
4	ボタン種別	整数値	1-2	ボタンの種別。(*1)
5	デフォルト選択ボタン	整数値	1-2	デフォルトでフォーカスを持つボタンのインデックス。0から始まる。

*1 次項参照。

- ⑤ ボタン種別を以下に示す。

ボタン種別番号	表示するボタン
0	OK
1	はい、いいえ
2	はい、いいえ、キャンセル

- ⑥ メッセージファイルのサンプルを以下に示す。

M0001=未入力エラー,機関番号、ユーザ名、パスワードをすべて入力してください。,0,0

M0002=機関未登録エラー,登録されている機関の機関番号を入力してください。,1,1

1-9 インストーラ規約

1-9-1 インストーラの諸元

- 対応O S Linux (Sarge or etch)
Windows XP, Vista

■ インストーラで含めるプログラム及びランタイム類

- ・ 特定健診システム本体プログラム
- ・ Firebird 2.0
- ・ その他 Java で使用する全ライブラリー

■ インストール先フォルダーの指定

(Windows の例)

- ・ C:\Program Files\TOKUTEI
 - └─¥Backup (バックアップ用)
 - └─¥DB (Firebird 格納用)
 - └─¥Bin (プログラム本体)
 - └─¥Lib (Java ライブラリー用)
 - └─¥Data
 - └─¥HL7 (HL7 変換用)
 - └─¥Work (作業ワーク用)

※ インストール時に上記構成にてフォルダーを作成しておく。

■ その他注意事項

- ※ インストール操作自体は簡便な操作で対応できるように配慮しておく。
- ※ 操作感はプラットフォーム間で統一できる方が望ましい。
- ※ インストール時に、「日医標準レセプトソフトに連携しますか？」の質問項目を入れて、ユーザに選択を促す様にしておく。その際に、“はい”が選択された場合、複数医療機関テーブルの日医標準レセプトソフト連携に関する項目をフラグが有効になるようにしておく。
また、健診機関番号も入力させるようとする。入力された健診機関番号を基にD Bとテーブル、初期データを生成しておく。同時に、複数医療機関テーブルの第一レコード目にも登録も行う。

1-10 DB規約

当システムで使用するDBは下記の通り。

No.	名前	定義名	内容	備考
1	健診機関情報データ	T_KIKAN	健診機関の情報を格納	
2	決済データ	T_KESAI	健診結果の決済データを格納	
3	決済データ詳細	T_KESAI_SYOUSAI	決済データの詳細を格納	
4	医療保険者情報データ	T_HOKENJYA	保険者の情報を格納	
5	個人情報データ	T_KOJIN	受診者の個人情報を格納	
6	検査センター項目マスター	T_KENSACENTER_MASTER	検査外部委託検査センターとのコード変換マスター	検査センターとJLAC10のコード変換用データを格納
7	健診項目マスター	T_KENSHINMASTER	特定健康診査の項目コード、名称を格納	JEIDACデータを使用
8	健診バターンマスター	T_KENSHIN_P_M	健診バターンの組み合わせを管理	
9	健診バターン詳細	T_KENSHIN_P_S	健診バターンの組み合わせ詳細を管理	
10	検査結果データ特定	T_KENSAKEKA_TOKUTEI	検査結果データを格納	特定健康診査の基本情報を格納
11	検査結果データその他	T_KENSAKEKA SONOTA	検査結果データを格納	特定健康診査の健診と詳細な健診、追加の健診を
12	集計データ	T_SYUKEI	決済情報などの集計を格納	
13	ユーザ管理データ	T_USER	ユーザ管理データを格納	アプリケーションログイン管理用
14	支払代行データ	T_SHIHARAI	支払代行機関のデータを格納	
15	複数機関マスター	T_F_KIKAN	複数の健診機関対応のデータを格納	システムDBにのみ作成します。
16	システムユーザ管理データ	T_SYS_USER	複数機関対応用システムDB管理情報を格納	システムDBにのみ作成します。
17	システム管理	T_SYS_CONFIG	システムで使用する共通情報を格納	システムDBにのみ作成します。

※ 各DBの詳細な仕様については、別添資料「特定健診DB詳細設計書」を参照する。

※ DBのファイル名称は、【健診機関番号】.fdbとする。

例) 健診機関番号 1212345678 の場合、1212345678.fdb

1-11 セキュリティ規約

- ログイン時のユーザ認証（管理ユーザー、一般ユーザー）
- DBへの暗号化は行わない
- 複数機関に対応

1-12 テストデータ規約

- 別添資料としてテストデータのサンプルを提示する。
- テストデータをプログラム作成時に全て入力し、活用すること。

1-13 単体試験

1-13-1 ツール

- 単体試験用のツールとして、基本的にJUnitを使用する。
- 上記以外のツールを使用しても良いが、テスト環境を簡単に構築できるツールを使用する。

1-13-2 対象

1-13-2-1 非画面系のクラス

- public クラスについては、JUnitを使用する。
- Unitで対応できない部分については他の方法を使い、網羅率を100%にする。

1-13-2-2 画面系のクラス

- 画面単体でのテストを行なう。
- 例) 入力値チェック、ボタンの動作のテスト

1-13-3 エビデンス**1-13-3-1 非画面系のクラス**

- テストツールを使った場合は、テスト結果をエビデンスとする。
- 上記以外の場合は、処理結果がわかるようにする。

1-13-3-2 画面系のクラス

- 全ての操作の前後の画像のスクリーンショットを用意し、エビデンスとする

1-14 日医標準レセプトソフト連携

- 日医標準レセプトソフトのバージョンは、4.0 以上とする。
- 受付時などのデータ入力時に日医標準レセプトソフトを稼動させている機関では日医標準レセプトソフトより必要データの取得を行う。

日医標準レセプトソフトよりデータを取得するテーブル

- 医療保険者情報データテーブル
- 個人情報データテーブル

外部設定ファイルに日医標準レセプトソフトデータベースへの接続情報を記載。日医標準レセプトソフト連携を行う際に読み取って接続する。

日医レセ接続設定ファイル (orca_健診機関番号.xml)

記述例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<ORCAConfig>
  <IP id="IP">192.168.2.16</IP>
  <DATABASE id="DATABASE">orca</DATABASE>
  <PORT id="PORT">5432</PORT>
  <PROTOCOL id="PROTOCOL">3</PROTOCOL>
  <USID id="USID">orca</USID>
  <PASS id="PASS">orca</PASS>
  <ENCODE id="ENCODE">UNICODE</ENCODE>
</ORCAConfig>
```

- IP のタグで ORCA サーバの IP アドレスを指定する。
- DATABASE タグでデータベース名「orca」を指定する。
- PORT タグでデータベース接続用 Port 番号を指定する。
- PROTOCOL タグでデータベース接続用プロトコルを指定する。（例は TCP/IP）
- USID タグで日医標準レセプトソフトデータベースへの接続ユーザ名を指定する。
- PASS タグで日医標準レセプトソフトデータベースへの接続パスワードを指定する。
- ENCODE タグで使用する文字コードを指定する。（例は UNICODE）

処理の考え方

日医標準レセプトソフト接続設定ファイル（orca_健診機関番号.java プロパティファイル）を読み込み接続に必要な情報を取得する。

- ・日医標準レセプトソフトサーバの IP アドレス。
- ・データベース名「orca」
- ・データベース接続用 Port 番号
- ・データベース接続用プロトコル。
- ・日医標準レセプトソフトデータベースへの接続ユーザ名。
- ・日医標準レセプトソフトデータベースへの接続パスワード。
- ・使用する文字コード。

上記情報を使用し日医標準レセプトソフトデータベースへ接続する。

1-15 パフォーマンス

- ・ボタンを押してから動作完了まで概ね 3 秒以内とする。処理が 3 秒以上かかる場合には、ユーザにその旨通知する。
- ・コンパイル後の実行バイナリーのサイズは出来る限りコンパクトにする努力をする。
- ・連続でかつ大量に処理を行った場合でも、著しく処理速度が低下しないように配慮する。

1-16 その他注意事項

- ・ヘルプ機能は、html レベルで実装する。
- ・機種依存文字は使用しない。
- ・エラートラップは必ず実装する。
- ・Pure Java で構築する。万一、サードパーティ製のライブラリーもしくはコンポーネント（コントロールも含む）を使用する状況になった場合は、都度協議の上決定とする。
- ・ステータス表示もしくはエラーメッセージに関するものは、別ファイルに格納し、後から修正が可能な状態にしておく。
- ・本システムの HL7 変換のアルゴリズムについて、メタボ DC のライブラリと同期を取る。
一方のアルゴリズムを変更した場合、もう片方も変更して差分が発生しないように注意する。
- ・DB アクセスなどの処理を共通化することで開発効率とメンテナンス性の向上を目指す。
- ・被保険者証等記号の入力について、半角、全角、スペースの有無の全てを許可する。
検索時には、スペースの有無、全角と半角の区別無く検索する。

2 開発及び工程管理

2-1 開発手順

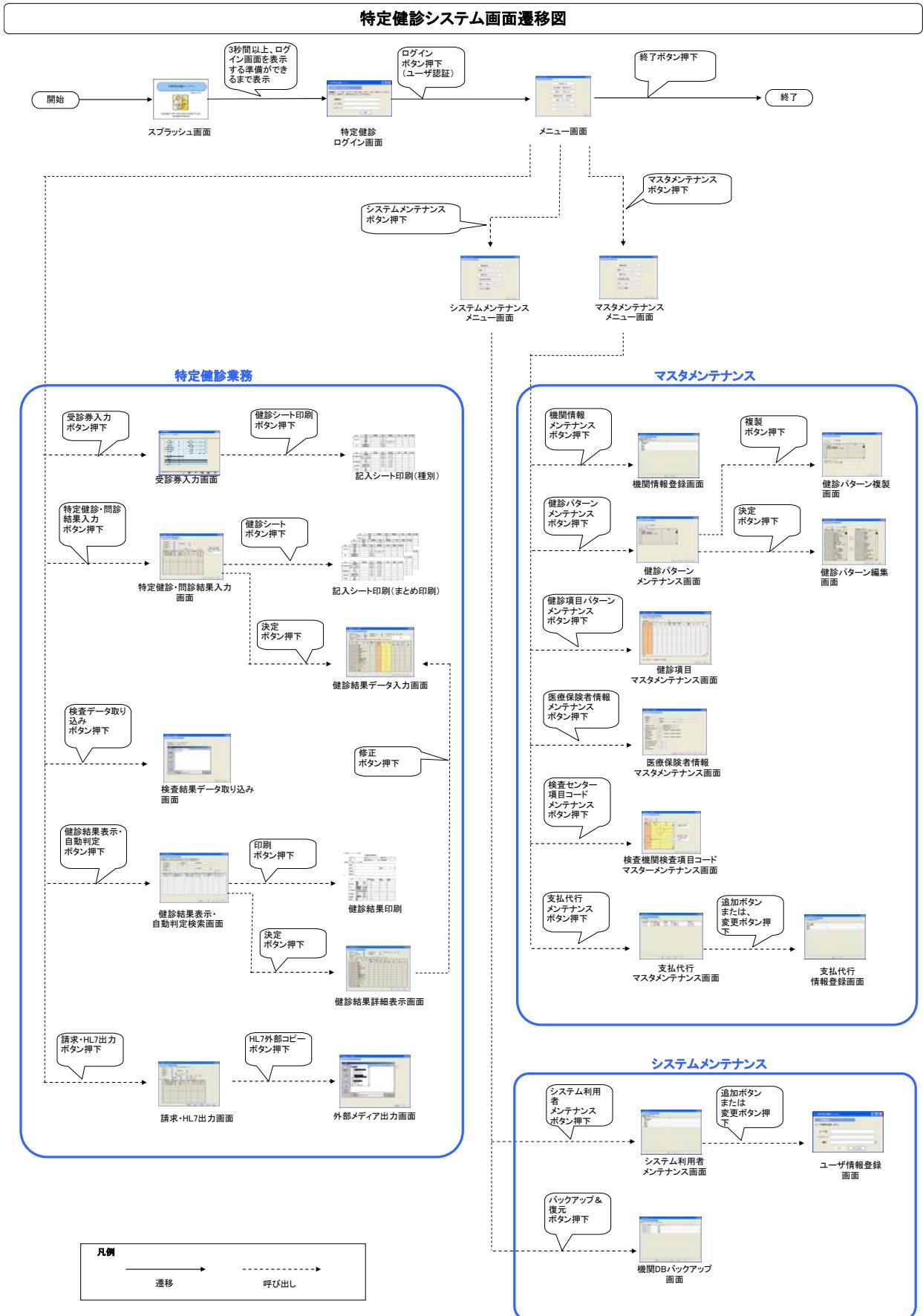
- ① データベースを「DB 詳細設計書」に基づいて DB を構築
- ② 共通化モジュールを作成
- ③ 分担に基づいて開発

2-2 工程数

機能毎に一覧を作成し、進捗状況を記入・管理しておく。

3 特定健康診査システム画面遷移表

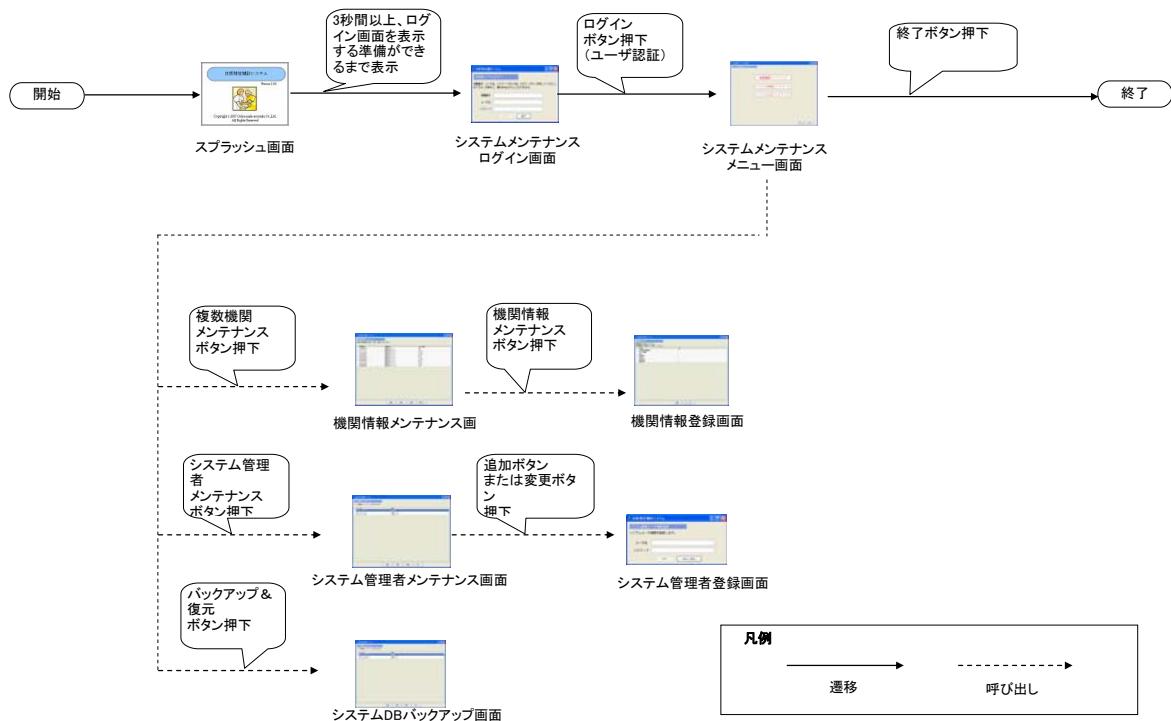
当システムでの画面遷移は以下の通りとする。



4 システムメンテナンス画面遷移表

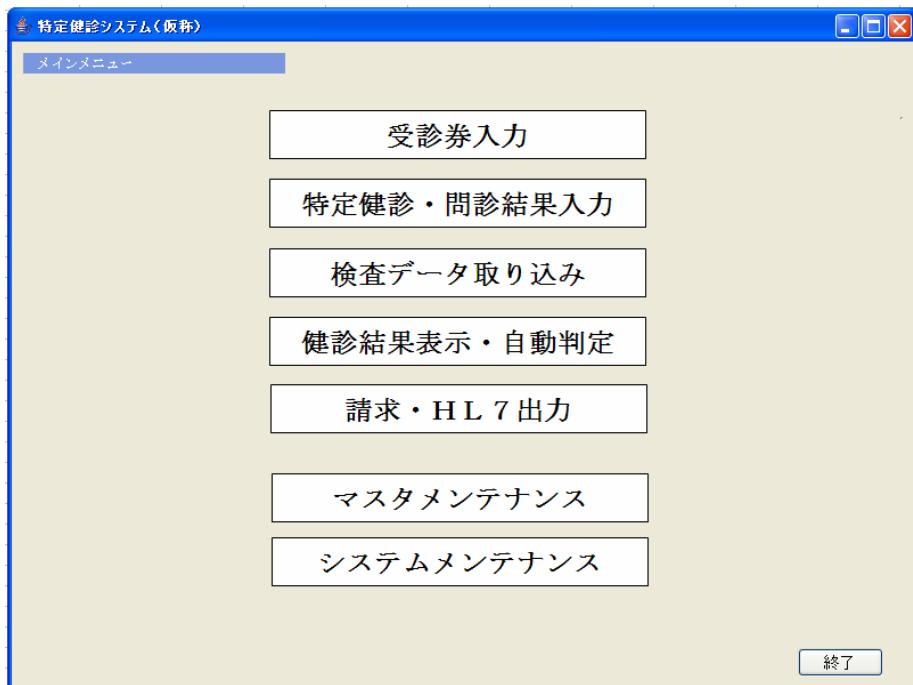
システムメンテナンスでの画面遷移は以下の通りとする。

システムメンテナンス画面遷移図



メニュー画面

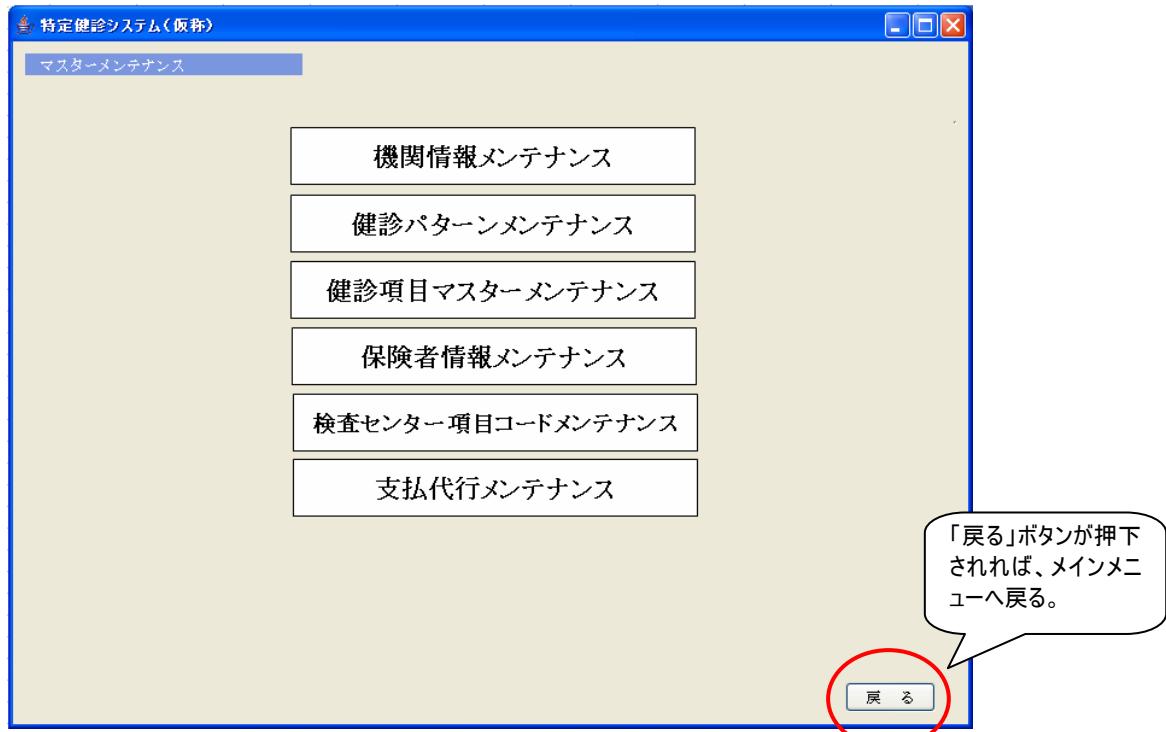
4-1 通常の健診システムのメニュー画面



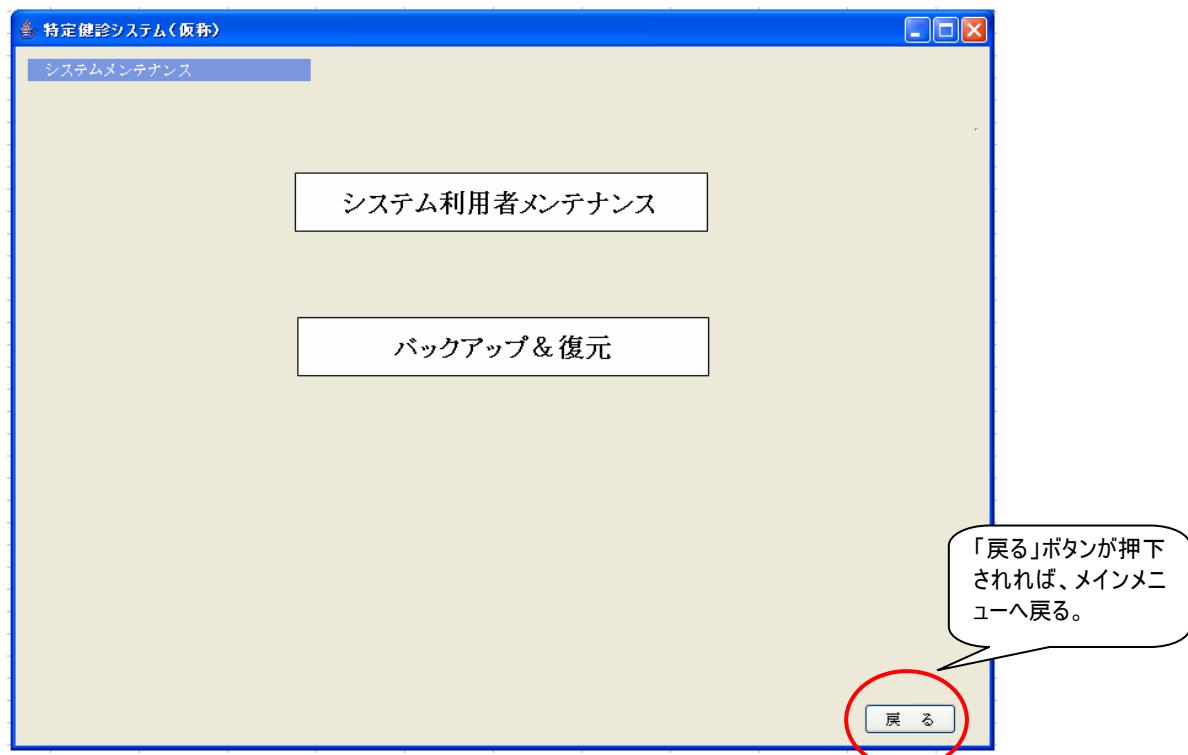
(処理の流れ)

- 特定健診システムのアイコンから起動すると上記画面が出るようにしておく。
- その後、該当メニューのボタンが押下された場合、それぞれの該当する項目の機能を実行するようにしておくこと。
- この画面で終了ボタンが押された場合は、確認メッセージを表示する事無く、プログラムを終了すること

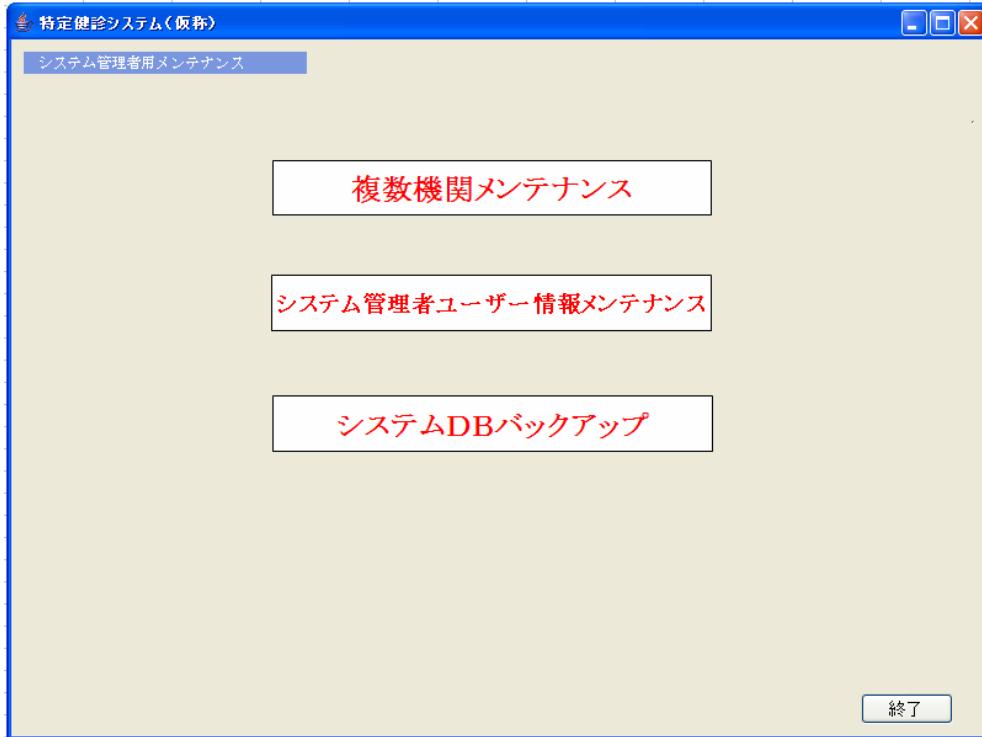
4-2 マスター・メンテナンスが選択された時のメニュー画面



4-3 システムメンテナンスが選択された時のメニュー画面



4-4 システム管理者用メニュー画面



(処理の流れ)

- ・ システム管理者用のアイコンから起動すると、ログイン画面を表示し、ユーザ認証を行い、管理者として認証された場合、上記画面が出るようにしておく。
- ・ その後、該当メニューのボタンが押下された場合、それぞれの該当する項目の機能を実行するようにしておくこと。
- ・ この画面で終了ボタンが押された場合は、確認メッセージを表示する事無く、プログラムを終了すること

※ 上記3ボタンに対する詳細説明は、

複数機関情報メンテナンス → 「複数機関メンテナンス」

システムメンテナンス → 「システムユーザー情報」

システムDBバックアップ → 「システムDBバックアップ」

の項目を参照のこと。

5 ログイン処理

5-1 スプラッシュ画面

5-1-1 画面デザイン

5-1-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- システムの名称、バージョン情報、コピーライト、ロゴを表示する画面。
- タイトルバーは存在しない。
- 常に最前面に表示する。
- 画面中央に表示する。
- 最低 3 秒間表示する。
- 次の画面を表示する直前まで表示し続ける。
- ユーザは、画面の最大化、最小化、サイズ変更を行なうことができない。

システムのバージョン番号・DB のバージョン・スキーマーのバージョンを表示



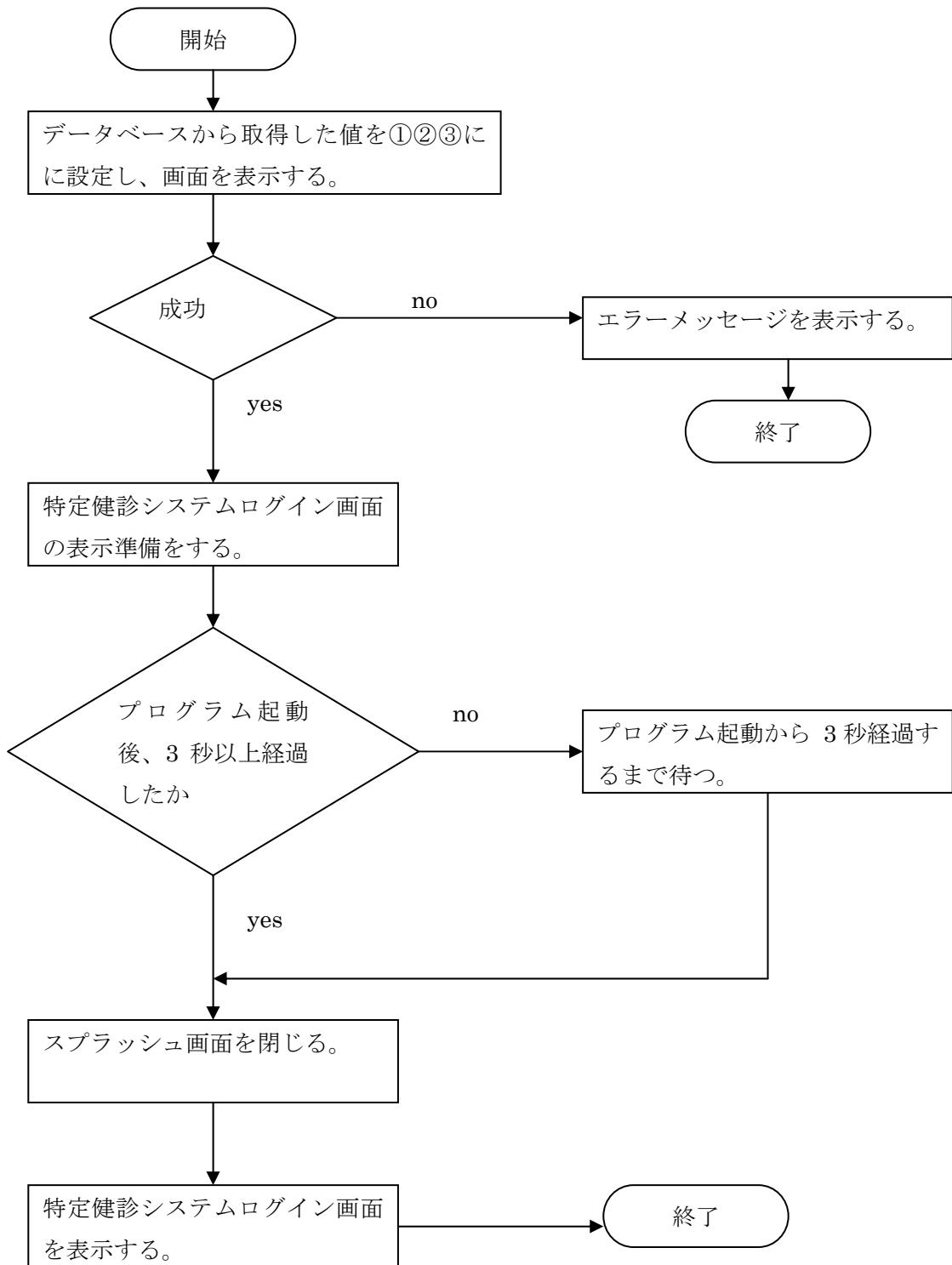
アイコン

システムで使用するアプリケーションアイコン。



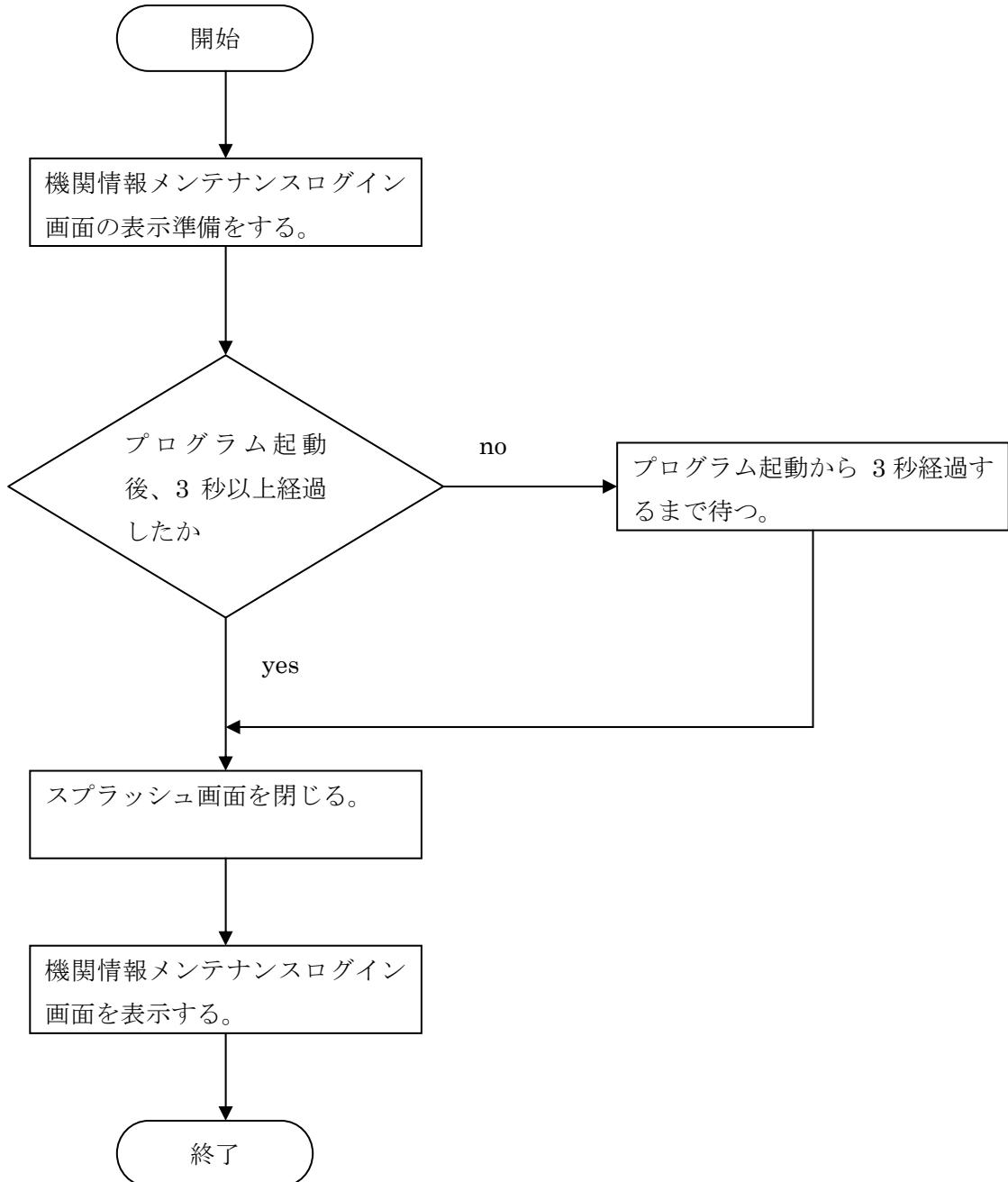
5-1-2 処理**5-1-2-1 特定健診システムログイン画面準備****処理開始タイミング**

特定健診システム起動後、自動的に開始する。

処理フロー

5-1-2-2 機関情報メンテナスログイン画面準備**処理開始タイミング**

機関情報メンテナス起動後、自動的に開始する。

処理フロー

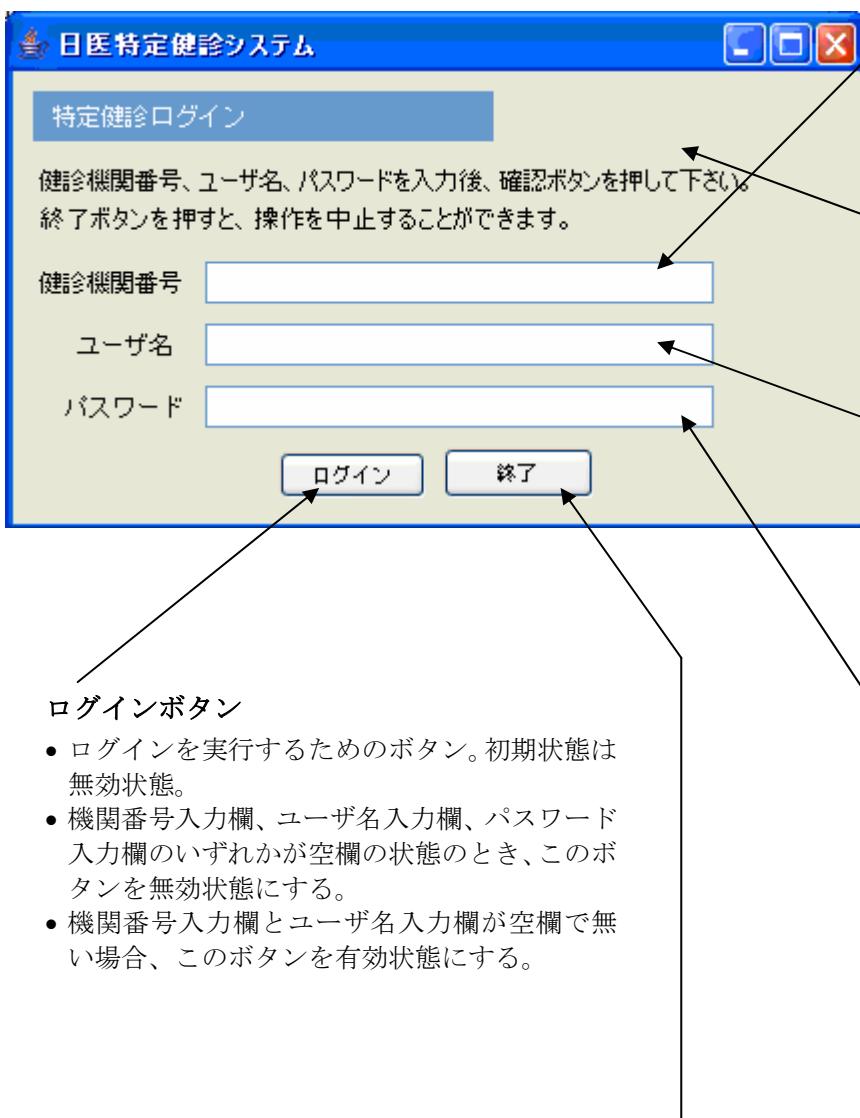
5-2 特定健診ログイン画面

5-2-1 画面デザイン

5-2-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- ・健診機関番号、ユーザ名、パスワードを入力し、ログインを実行する画面。
- ・表示直後は、健診機関番号入力欄がフォーカスを持つ。
- ・ユーザは、画面の最大化、最小化、サイズ変更を行なうことができる。
- ・最大化、または画面サイズ変更後、使用上問題が発生しないように適切にレイアウトを変更する。
- ・画面サイズを小さく変更したときに、レイアウトが崩れないよう、画面の最小サイズを設定する。
- ・起動時にシステムDBを参照し、1件しか登録されていない場合は、予め健診機関番号を読み込み、表示しておく。



①機関番号入力欄

- ・ユーザが健診機関番号を入力するためのテキストボックス。
- ・数字以外は入力不可にする。
- ・Enter キーを押下すると、ユーザ名入力欄にフォーカスが移動する。

バージョン番号表示エリア

- ・システム・DB・スキーマのバージョン番号を表示するエリア。

②ユーザ名入力欄

- ・ユーザがユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- ・Enter キーを押下したとき、パスワード入力欄にフォーカスを移動する。

③パスワード入力欄

- ・ユーザがパスワードを入力するためのテキストボックス。
- ・入力した文字を「*」(アスタリスク)で表示する。
- ・入力された文字を、ユーザがコピーできないようにする。
- ・Enter キーを押下したとき、ログインボタンにフォーカスを移動する。ログインボタンが無効の場合は、終了ボタンにフォーカスを移動する。

終了ボタン

ユーザが操作を終了するためのボタン。

画面表示サンプル

特定健診ログイン

機関番号、ユーザ名、パスワードを入力後、確認ボタンを押してください。
終了ボタンを押すと、操作を中止することができます。

健診機関番号	9999999999
ユーザ名	ユーザ名テスト012
パスワード	*****

ログイン 終了

5-2-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output	備考
①	健診機関番号	(手入力)	(なし)	
②	ユーザ名	(手入力)	(なし)	
③	パスワード	(手入力)	(なし)	

5-2-1-3 表示仕様

部位番号	項目名称	表示種類	入出力	文字種別	文字数	表示タイミング	初期値	備考
①	健診機関番号	テキスト フィールド	入力	半角数字	0-10	-	NULL	
②	ユーザ名	テキスト フィールド	入力	全て	0-20	-	NULL	
③	パスワード	パスワード 用テキスト フィールド	入力	※備考参照	0-20	-	NULL	半角「*」(アスタリスク)のみ

5-2-1-4 入力チェック仕様

項目名称	データ型 チェック	データ長 チェック	値の範囲 チェック	NULL チェック	チェックタイミング	備考
健診機関番号	数字	10	-	○	ログインボタン押下時	
ユーザ名	なし	0-20	-	○	ログインボタン押下時	データ長は文字
パスワード	なし	0-20	-	○	ログインボタン押下時	データ長は文字

5-2-2 処理**5-2-2-1 特定健診ログイン処理****処理開始タイミング**

ユーザがログインボタンを押下する。

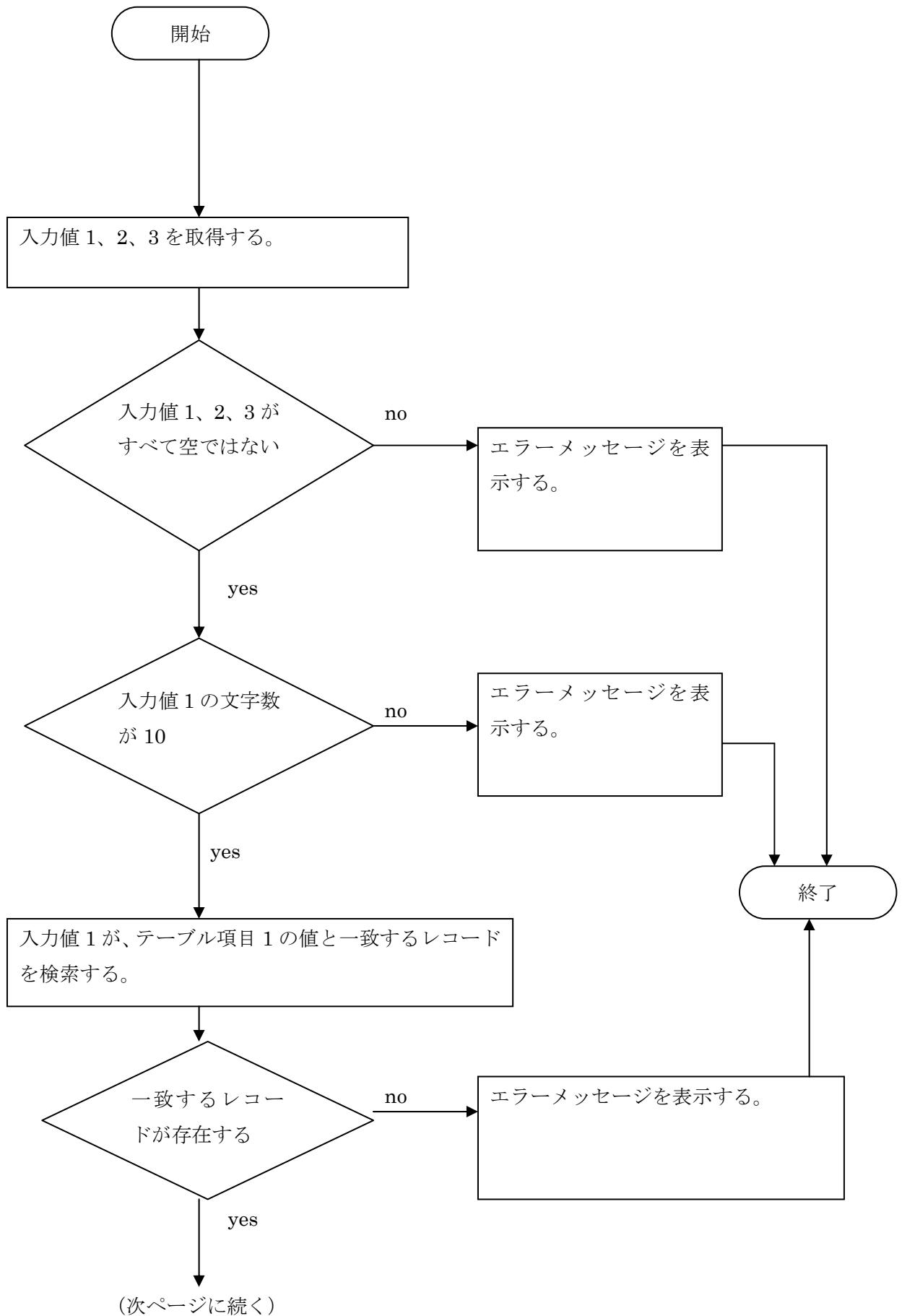
入力値一覧

項目番	画面名	入力値名称	備考
1	特定健診ログイン	健診機関番号	プログラム終了までメモリ中に保持する。
2	特定健診ログイン	ユーザ名	プログラム終了までメモリ中に保持する。
3	特定健診ログイン	パスワード	プログラム終了までメモリ中に保持する。

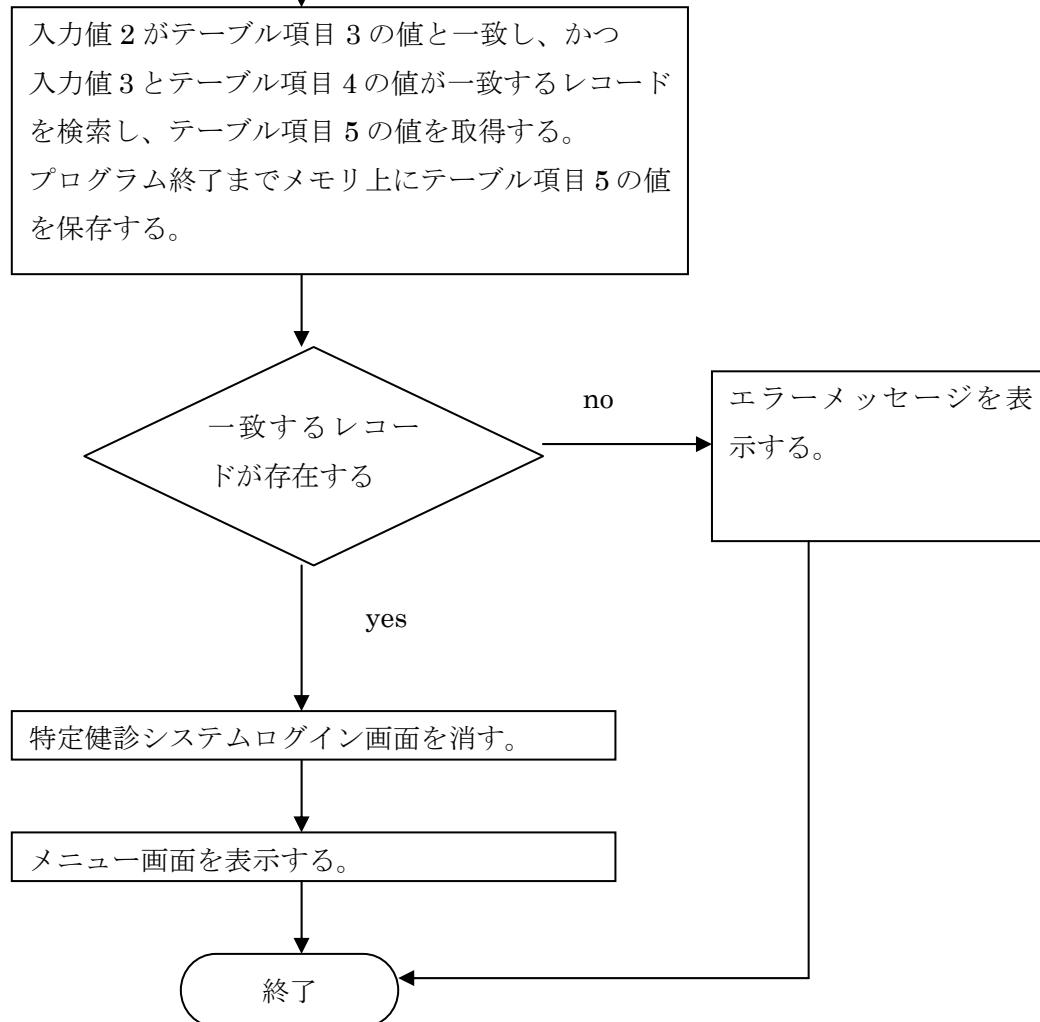
テーブル項目一覧

項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	システムDB	複数機関マスタ	特定健診機関番号
2	システムDB	複数機関マスタ	名称
3	機関DB	ユーザ管理データ	ユーザ名
4	機関DB	ユーザ管理データ	パスワード
5	機関DB	ユーザ管理データ	権限

処理フロー



(前ページから続く)

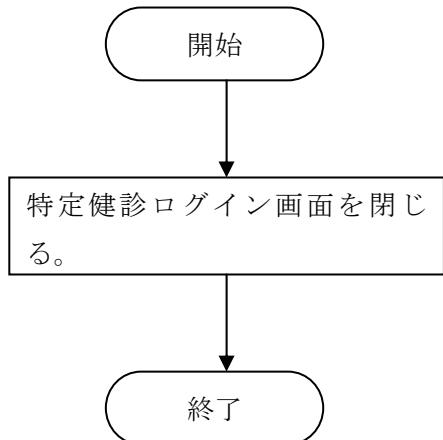


5-2-2-2 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー



6 受診券入力(個人情報登録)

6-1 画面レイアウト及び機能

患者ID	①	
受診券整理番号	②	
交付日	③	
有効期限	④	
保険者	番号 名称 電話番号	※1
支払代行機関	番号 名称 電話番号	※2
契約取りまとめ機関名 ⑦		
被保険者証等記号	⑧	
被保険者証等番号	⑨	
氏名(カナ)	⑩	
氏名(漢字)	⑪	
氏名(通名)	⑫	
生年月日	⑬	
男女区分	⑭ <input type="radio"/> 1男性 <input type="radio"/> 2女性	
郵便番号	⑮	
住所	⑯	
自宅電話番号	⑰	
携帯電話番号	⑱	
FAX番号	⑲	
E-Mail	⑳ ㉑	
携帯E-Mail	㉒ ㉓	

※1: 保険者番号
※2: 支払代行機関番号
①~⑲: 入力欄
⑳~㉓: ボタン
⑳: E-Mail
㉑: 携帯E-Mail
㉒: 携帯E-Mail
㉓: 携帯E-Mail

【処理の説明】

- 個人情報を入力する。受診券に印刷された内容を入力する。
- 日医標準レセプトソフト連携の場合に日医標準レセプトソフトに存在する情報があれば連携して表示する。
- 保険者番号の入力時に保険者情報テーブルから検索を行い、該当がなければ“保険者の登録がありません。このまま登録しますか？”の確認メッセージを行い、「はい」が選択されれば医療保険者メンテナンス画面を表示し登録処理を行い、登録処理が終わりこの画面へ戻って来た時、改めて入力された保険者番号のデータを保険者情報テーブルから読み込みを行い、画面(※1)へ反映させるようする。該当があれば、名称及び電話番号を画面(※1)へ表示させる。
- 支払代行機関番号の入力時に支払代行機関マスタから検索を行い、該当がなければ“支払代行機関の登録がありません。このまま登録しますか？”の確認メッセージを行い、「はい」が選択されれば支払代行機関メンテナンス画面を表示し登録処理を行い、登録処理が終わりこの画面へ戻って来た時、改めて入力された支払機関番号のデータを支払機関マスタテーブルから読み込みを行い、画面(※2)へ反映させるようする。該当があれば、名称及び電話番号を画面(※2)へ表示させる。
- QRコードは、何も入力されていない時のボタンが押せるようにしておく。入力されればボタンが押せないようとしておく。

【ボタンの機能説明】

- 《健診シート印刷》 … 健診結果を入力するための用紙を印刷する。
- 《Q R》 … 受診券のQRコードを読み取る（オプション）
- 《読み込》 … 日医標準レセプトソフトから該当情報を取得する。
(検索キーは患者IDとする)
- 《クリア》 … 画面をクリアする。
- 《呼出》 … 当システムのTBLから呼出す。
- 《登録》 … 表示内容を当システムDBに登録する。
※ 図中の入力枠で色が変わった部分は必須項目の為、それらがもれなく入力されていないと警告メッセージを表示し、登録できないようにチェックしておく。
- 《終了》 … 画面処理を終了する。登録を押下していない場合はデータは書かれない。

6-2 項目移送表

※ 日医標準レセプトソフト連携の場合には、下記の手順によりデータを取得する。

1. 医療機関で運用されている患者番号(PTNUM)で日医標準レセプトソフトの「TBL_PTNUMテーブル」を検索し、日医標準レセプトソフト内でのユニークキーである患者IDを取得。
2. 患者IDにて「TBL_PTINFテーブル」を検索し、患者の情報を取得。

※ 格納先は（個人情報データ） T_KOJINテーブル

番号	項目名	取得元(受診券)	取得元 2(※1)	格納先
①	患者番号	なし	PTNUM	PTNUM
②	受診券整理番号	受診券より手入力	受診券より手入力	JYUSHIN_SEIRI_NO
③	交付日	受診券より手入力	受診券より手入力	KOUHUBI
④	有効期限	受診券より手入力	受診券より手入力	YUKOU_KIGEN
⑤	保険者番号	受診券より手入力	受診券より手入力	HOKENJYA_NO
⑥	支払代行機関番号	受診券より手入力	受診券より手入力	SIHARAI_DAIKOU_BANGO
⑦	契約取りまとめ機関番号	受診券より手入力	受診券より手入力	KEIYAKU_TORIMATOME
⑧	被保険者証等記号	受診券より手入力	受診券より手入力	KIGO
⑨	被保険者証等番号	受診券より手入力	受診券より手入力	NUM
⑩	氏名(カナ)	受診券より手入力	KANANAME	KANANAME
⑪	氏名(漢字)	ヒアリングして手入力	NAME	NAME
⑫	氏名(通名)	ヒアリングして手入力	NICKNAME	NICKNAME
⑬	生年月日(和暦)	受診券より手入力	BIRTHDAY	BIRTHDAY
⑭	男女区分	受診券より手入力	SEX	SEX
⑮	郵便番号	受診券より手入力	HOME_POST	HOME_POST
⑯	住所	受診券より手入力	HOME_ADRS	HOME_ADRS
⑰	自宅電話番号	ヒアリングして手入力	HOME_TEL11	HOME_TEL1
⑱	携帯電話番号	ヒアリングして手入力	KEITAI_TEL	KEITAI_TEL
⑲	FAX 番号	ヒアリングして手入力	FAX	FAX
20	窓口負担(基本的な健診)	受診券より手入力※2	受診券より手入力	MADO_FUTAN_KIHON
21	窓口負担(詳細な健診)	受診券より手入力	受診券より手入力	MADO_FUTAN_SYOUSAI
22	窓口負担(追加健診)	受診券より手入力	受診券より手入力	MADO_FUTAN_TSUIKA
23	窓口負担(人間ドック)	受診券より手入力	受診券より手入力	MADO_FUTAN_DOC
24	E-Mail	ヒアリングして手入力	EMAIL	EMAIL
25	携帯 Mail	ヒアリングして手入力	ヒアリングして手入力	KEITAI_EMAIL
	地番方書	なし	HOME_BANTI	HOME_BANTI

※男女区分は数字直接入力も可能 1:男性、2:女性 デフォルト表示は無しとする。

※1 「日医標準レセプトソフト」の意。

※2保険者マスタに登録のある場合には保険者マスタから取得して表示する。

窓口負担19～23に関しては、下表を参照しコード値をセットすると共に、実データをセットする。

コード名	コード	内容	備考
窓口負担 コード	1	受診者は負担無し	
	2	受診者は定額負担	(単位:円)
	3	受診者は定率負担	(単位:%)
	4	保険者の負担上限額	(単位:円)

6-3 健診項目入力シート(検査結果)

健診シート印刷ボタンを押すことにより、下記健診項目入力シート（検査結果）を印刷する。

受診券番号、氏名、健診実施日、保険者番号、被保険者証等記号、被保険者証等番号はあらかじめ印字しておく。

※ 用紙のサイズは、A4とする。※任意追加項目は10行程度で他の項目を優先させてください。

※「検査実施日」は「受診日」としてください。

6-4 健診項目入力シート(問診)

健診シート印刷ボタンを押すことにより、下記健診項目入力シート（問診）を印刷する。

受診券番号、氏名、健診実施日、保険者番号、被保険者証等記号、被保険者証等番号はあらかじめ印字しておく。

受診券番号 保険者番号	氏名 被保険者証等記号	受信日 被保険者証等番号	
問診内容			
		はい	いいえ
1-1	血圧を下げる薬を服用している。		
1-2	インスリン注射又は血糖を下げる薬を使用している		
1-3	コレステロールを下げる薬を服用している		
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある。		
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある。		
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析)を受けたことがある。		
7	現在、たばこを習慣的に吸っている。		
8	20歳の時の体重から10キロ以上増加している。		
9	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している。		
10	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している。		
11	同世代の同姓と比較して歩く速度が速い。		
12	この1年間で体重の増減が±3kg以上ある。		
13	早食い・ドカ食い・ながら食いが多い。		
14	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。		
15	夜食や間食が多い。		
16	朝食を抜くことが多い。		
17	ほぼ毎日アルコール飲料を飲む		
18	睡眠で休養が得られている。		
19	生活習慣の改善を希望する。		
20	保健指導を希望する。		

※ 用紙のサイズは、A4とする。

7 健診結果データ入力

本プログラムは、健診結果値の入力・修正、および自動判定後の「H/L」や「判定」区分の修正、健診結果の記入を行う健診シートの印刷等を行う。

7-1 画面レイアウト及び機能

7-1-1 受診者選択画面

The screenshot shows the 'Patient Selection' window with the following details:

- Top Input Fields:** 医療機関番号 (①), 被保険者証等記号 (②), 被保険者証等番号 (③), 保険者番号 (④), 氏名(カナ) (⑤), 検査実施日 (⑥), 判定日 (⑦), 結果通知日 (⑧). Below these are radio buttons for 入力 (⑨) set to 濟 (済), and checkboxes for 未 (未).
- Patient List:** A grid of patient records. The first record has a red circle around the checkbox in the selection column. The second record also has a red circle around its checkbox.
- Annotations:**
 - A callout points to the first record's checkbox with the text: "この欄は受診者選択用のチェックボックスの欄。チェックを入れた部分について処理を行う。"
 - A large callout points to the patient list area with the text: "検査結果値入力画面へ切り替える。この画面の情報は、入力画面からキャンセルで戻った時に使用するので、内容は保持しておく事。"
 - A callout points to the bottom right buttons with the text: "表示をクリアして、検索項目の入力可能な状態にする"
- Bottom Buttons:** 健診シート, 決定 (highlighted with a red circle), キャンセル (highlighted with a red circle), 終了.

【ボタン機能の説明】

- 「検索」 … ①～⑨で指定した条件に合致する受診者を一覧に表示する。
- 「健診シート」 … 一覧にある受診者の健診項目入力シート（健診結果・問診）を印刷する。
※チェックボックス欄で複数の受診者が選択されている場合には、選択された人数分の健診シートを印刷する。
- 「決定」 … 選択した受診者の検査結果入力画面の表示を行う。
※チェックボックス欄は1つでなければならない。複数選択されている場合には、メッセージを出して1つだけに修正を促すこと。
- 「キャンセル」 … 確認ダイアログを表示した上で、“はい”が選択されれば、この画面を終了してメニュー画面に戻る。
- 「終了」 … メニュー画面へ戻る。

【処理の流れ】

まず最初に対象の受診者を決定するために、条件を指定して検索を行う。各検索項目の説明は以下の通りである。

《受診券整理番号》	… 入力された受診券整理番号に一致する受診者を検索する
《被保険証等記号・番号》	… 入力された被保険証等記号・番号に一致する受診者を検索する
《保険者番号》	… 入力された保険者番号に一致する受診者を検索する
《検査実施日》	… 入力された検査実施日の範囲に含まれる受診者を検索する
《通知日》	… 入力された結果通知日の範囲に含まれる受診者を検索する
《判定日》	… 入力された判定実施日の範囲に含まれる受診者を検索する
《氏名カナ》	… 入力された氏名のフリガナの一部が含まれる受診者を検索する
《入力》	… 上記の検索項目に加えて、任意で指定できる項目。判定基準は図の説明を参考にする。

- 図中の「①」～「⑨」は検索項目で、指定は任意。全ての項目毎にAND検索を行う。
- 比較する際は、DB上と入力値両方の半角変換及び空白文字カットなどの処理を行った上で検索処理を行う。
- 起動時は、「受診券整理番号」が選択された状態にし入力可能な状態にしておく。

■ 一覧表示項目の「未」「済」の判断基準について

検査結果データその他テーブルから「被保険者証等記号」「被保険者証等番号」「検査実施年月日」にてデータを抽出した後、データが全て入っていれば「済」とし、そうでなければ「未」とする。但し、下表にある項目は判断から除外すること。

項目コード	項目名
2A020000001930101	赤血球数
2A030000001930101	血色素量[ヘモグロビン値]
2A040000001930102	ヘマトクリット値
9A110160700000011	心電図(所見の有無)
9A110160800000049	心電図(所見)
9A110161000000049	心電図(実施理由)
9E100166000000011	眼底検査(キースワグナー分類)
9E100166100000011	眼底検査(シェイエ分類:H)
9E100166200000011	眼底検査(シェイエ分類:S)
9E100166300000011	眼底検査(SCOTT 分類)
9E100160900000049	眼底検査(その他の所見)
9E100161000000049	眼底検査(実施理由)
9N50100000000011	メタボリックシンドローム判定
9N50600000000011	保健指導レベル
9N511000000000049	医師の診断(判定)
9N516000000000049	健康診断を実施した医師の氏名

7-1-2 健診パターンについて

健診パターンとは、目的毎に健診項目をグループ化し、それを一つのパターンとして登録しておくことで検査結果を入力する際、簡便に検査項目が行えるようにするための仕組みである。

健診パターンの登録については、後述する「健診パターンメンテナンス」を参照のこと。

7-1-3 健診項目入力シート(検査結果)

健診シート印刷ボタンを押すことにより、下記健診項目入力シート（検査結果）を印刷する。

※ 用紙のサイズは、A4とする。

7-1-4 健診項目入力シート(問診)

健診シート印刷ボタンを押すことにより、下記健診項目入力シート（問診）を印刷する。

受診券番号 保険者番号	氏名 被保険者証等記号	受信日 被保険者証等番号
問診内容		
はい　いいえ		
1-1	血圧を下げる薬を服用している。	
1-2	インスリン注射又は血糖を下げる薬を使用している	
1-3	コレステロールを下げる薬を服用している	
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある。	
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある。	
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析)を受けたことがある。	
7	現在、たばこを習慣的に吸っている。	
8	20歳の時の体重から10キロ以上増加している。	
9	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している。	
10	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している。	
11	同世代の同性と比較して歩く速度が速い。	
12	この1年間で体重の増減が±3kg以上ある。	
13	早食い・ドカ食い・ながら食いが多い。	
14	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。	
15	夜食や間食が多い。	
16	朝食を抜くことが多い。	
17	ほぼ毎日アルコール飲料を飲む	
18	睡眠で休養が得られている。	
19	生活習慣の改善を希望する。	
20	保健指導を希望する。	

※ 用紙サイズは、A4とする。

7-2 検査結果入力画面

特定健診システム(仮称)

健査結果データ入力

被保険者証等記号	1000 ①	被保険者証等番号	525 ②	受診者氏名	竹内 太郎 ③
健診パターン	特定健診 ④ ▼	検査機関No.	⑤ ▼	医師の判断	⑥
受診日	2007/11/30 ⑦				⑧

メモリックシートローム判定 ⑨ (0:未測定 1:基準該当 2:予備群該当 3:非該当 4:測定不能)
 判定結果 ⑩ (0:未判定 1:積極的支援 2:勧機づけ支援 3:情報提供 4:正常 5:判定不能)
 (1:基本的な健診 2:基本的な健診+詳細な健診 3:基本的な健診+追加項目健診
 請求区分 ⑪ 4:基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 5:人間ドック)

項目コード ⑫	項目名 ⑬	検査センタ 項目コード	検査結果	単位	下限値	上限値	H/L	判定	コメント
9N00100000000000	身長	⑭	⑮		⑯	⑰	⑯	⑰	⑱
9N00560000000000	体重	⑭	⑮		⑯	⑰	⑯	⑰	⑱
9N01100000000000	BMI								
9N01516010000000	腰囲(実測)								
9N05660000000000	既往歴								
9N05616040000000	(具体的な既往歴)								
9N06100000000000	自覚症状								
9N06116080000000	(所見)								
9N06660000000000	他覚症状								
9N06616080000000	(所見)								
9A75100000000000	収縮期血圧(1回目)								
9A76100000000000	拡張期血圧(1回目)								
9N14100000000000	採血時間(食後)								
3F0150000023271	中性脂肪(トリグリセリド)								
3F0700000023271	HDLコレステロール								
3F0770000023271	LDLコレステロール								
3B0350000023272	GOT(AST)								
3B0450000023272	GPT(ALT)								
3B0900000023271	γ-GT(γ-GTP)								
1A020000001911	尿糖								
1A010000001911	尿蛋白								

登録 キャンセル 終了

H/L 及び判定については、自動判定を行う前に
入力することは推奨しない。自動判定実行時にこ
れらの値がセットされる
為。

下限値、上限値は入力
する項目ではないが、これ
を表示しておくことで、検
査結果の入力時に、入
力ミスを防ぐという意味で
表示を行っている。

【ボタン機能の説明】

- 「キャンセル」 … 確認ダイアログを表示した上で、“はい”が選択されれば、この入力画面を終了して受診者検索画面に戻る。
- 「終了」 … 確認のダイアログを表示し、“はい”が押された場合にメニュー画面へ戻る。
その場合、データの更新も行った上で終了しメニュー画面へ戻る。
- 「登録」 … 確認のダイアログを表示し、“はい”が押された場合に更新を行う。

【処理の流れ】

- 健診結果入力の“受診者選択画面”で選択された受診者情報を「①」～「③」内にそれぞれ表示を行う。
- 健診パターンを一覧から選択する。健診パターンの表示部分は、健診パターンマスタを取得し、一覧で選択出来るようにしておく。
- 検査機関No.を一覧から選択する。検査機関No.の表示部分は、検査機関検査項目マスタより取得し、一覧で選択できるようにしておく。選択後、検査センタ項目マスタから選択されたものに対応するデータを読み込み、項目コードと検査センタ項目マスタの項目コードが一致するデータを「⑫」の列の該当行へ表示させる。
- 次に、検査実施日の入力に移る。入力の簡素化を図る為に、初期表示日付は本日とし YYYY/MM/DD 形式で表示しておく。
- 検査実施日の入力が行われた後、検査結果データ特定よりデータを検索し、該当があれば表示する。
その後、検査結果データその他も同様に検索をし、該当があれば続きへ表示する。

- 健診パターン詳細データより健診パターンに該当するデータで“項目並び順”の順番に表示する。表示を行った後、判定結果の入力が行えるようにフォーカスを当てておく。
 - 入力時のフォーカス移動については、健診項目マスタ内の「種別」を逐次参照し、そのセットされている値によって、検査結果もしくはコメント欄へ自動的にフォーカスされるようにする。
 - 入力が終われば、「登録」ボタン押し、検査結果データへ登録を行う。
- ※ 「下限値」「上限値」の欄については、検査項目マスタより項目毎に参照して表示すること。
- ※ 項目の入力時に、外部ファイル（CHECK.CSV）とリンクして、入力値との整合性を必ずチェックを入れること。チェックする際は、外部ファイル上の項目コードと画面表示上の項目コードとをリンクさせる。
- ※ 「身長」及び「体重」のいずれかが変更された時に、BMIを再計算すること。BMIは自動計算項目とする。

7-3 項目移送表

7-3-1 (共通の項目)

移送先： T_KENSAKEKA_TOKUTEI

項目No.	項目名	データ取得元	DB上の定義名	桁数
①	被保険者証等記号	受診者指定時から自動入力	KIGO	40
②	被保険者証等番号		NUM	40
③	受診者氏名			
④	健診パターン	手入力		
⑤	検査機関No.	手入力	KENSA_CENTER_CD	20
⑥	総合コメント	手入力	KOMENT	20
⑦	検査実施日	手入力	KENSA_YMD	8
⑧	メタボリックシンドローム判定	手入力	※1	1

7-3-2 「※1」についての項目移送方法

移送先： T_KENSAKEKKA SONOTA

項目No.	DB上の項目名	移送するデータ	DB上の定義名	桁数
※1	項目コード	9N501000000000011	KOUMOKU_CD	17
	検査結果	「⑧」の入力値	KEKA_TI	10
	コメント		KOMENTO	200
	H/L		H/L	1
	判定区分		HANTEI	1

7-3-3 (共通以外の項目) T_KENSAKEKA SONOTA

DB上の項目名	データ取得元	DB上の定義名	桁数
被保険者証等記号	表示画面の「①」より入力	HIHOKENJYASYO_KIGOU	40
被保険者証等番号	表示画面の「②」より入力	HIHOKENJYASYO_NO	40
検査実施年月日	表示画面の「④」より入力	KENSA_NENGAPPI	8
項目コード	表示画面の「⑪」より入力	KOUMOKU_CD	17
検査結果	表示画面の「⑭」より入力	KEKA_TI	10
コメント	表示画面の「⑯」より入力	KOMENTO	200
H/L	表示画面の「⑮」より入力	H/L	1
判定区分	表示画面の「⑯」より入力	HANTEI	1

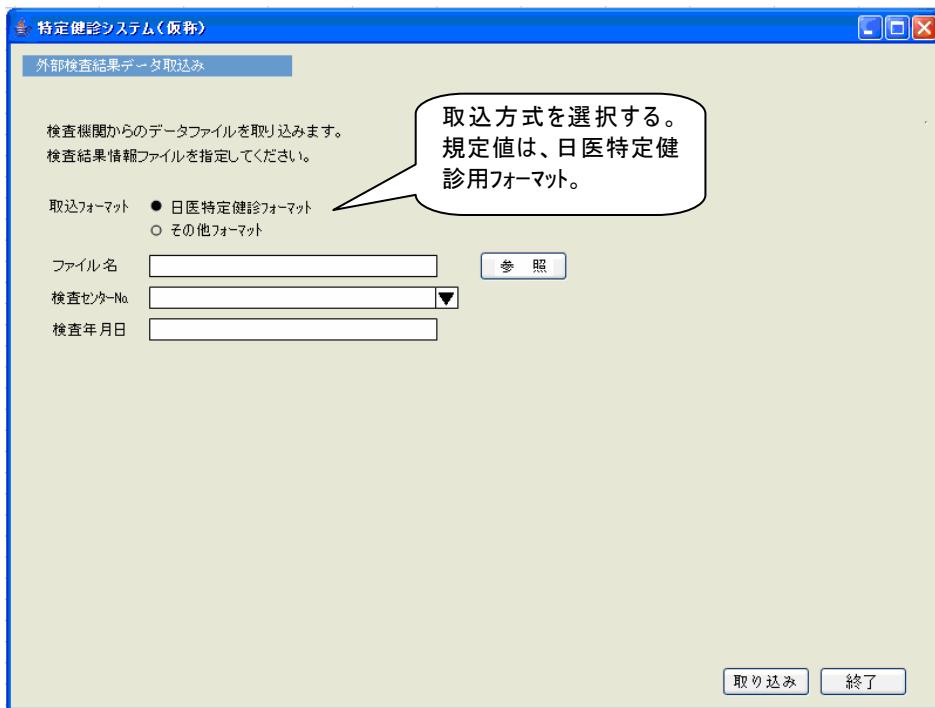
※ 1 健診項目毎に 1 データ生成する。

8 検査結果データ取り込み

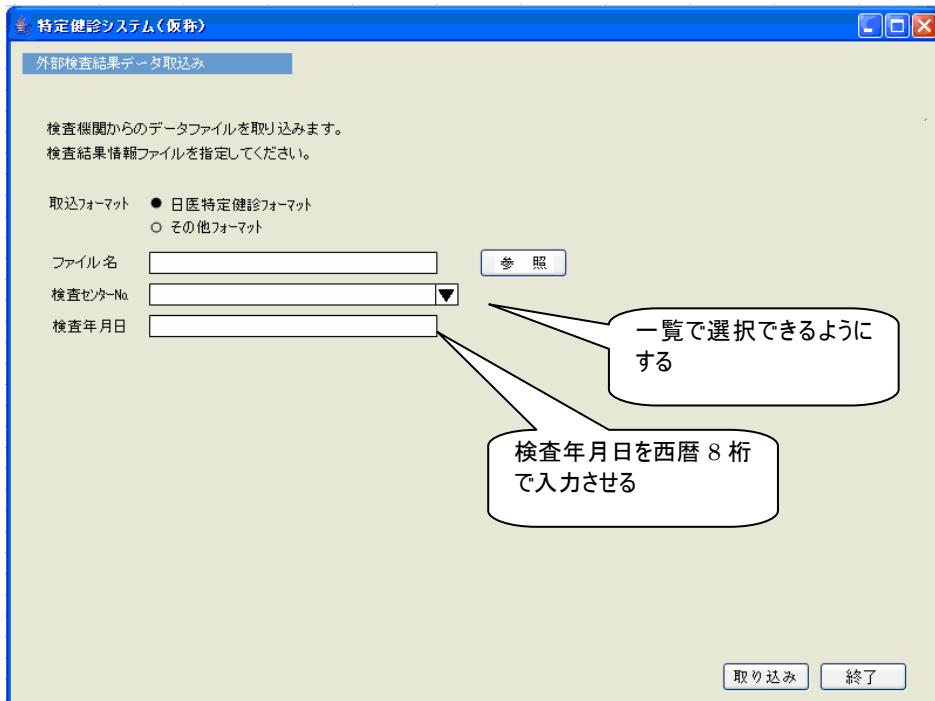
本プログラムは特定健診に関し、外部検査機関からのデータを媒体(FD, CD/DVD, USB メモリ等)から取り込み、健診結果データへ反映する為のものである。

8-1 画面レイアウト及び機能

8-1-1 起動時の画面



8-1-2 臨床検査結果データ選択後状態



(処理の流れ)

- ・ データ取込みの画面がメニューから呼び出された場合、取込み方式選択する。
- ・ 次に、検査データが取り込めるように「ファイルを開く」等のダイアログを表示させ、ユーザーが指定できる状態にしておく。
- ・ 検索対象ファイルは、取込み方式の選択状況に応じて、各フォーマットのデータ交換仕様書に記載されているファイル名を規定値とし、ユーザがドライブ及びフォルダーを指定した場合はこのファイルを優先して検索、該当があればそれを表示し、選択を用意にしておく。
- ・ 検査ファイル指定後、検査センタNo.と検査年月日を入力する。
- ・ 取込む受診者を指定し、指定後、画面右下にある「取り込み」ボタンを押下させ取り込み処理を開始する。
- ・ 取込み時は、取込み方式の選択に応じて臨床検査結果データを「臨床検査結果データ交換仕様書」に基づいて、1被験者単位でデータを読み出し、それを検査結果データ特定に追加登録すること。
 - ※ 取り込み方式として、日医特定健診フォーマットを選択した際のファイルレイアウト等は別途調整とする。
 - ※ 取込み方式として、その他フォーマットを選択した場合、臨床検査結果データ内の「依頼項目コード」と当健診システムで採用している項目コード（JLAC10）には互換性がない為、オープンした「keka.txt」から詳細レコード内の「依頼項目コード」と検査センタ項目マスター内の「検査センタ項目コード」と比較して、該当があれば、その該当データに含まれている「項目コード」を採用すること。
 - ※ また、保険者証等記号および番号を取得する為に、個人情報データを参照することになるが、まれに同姓同名や同一生年月日の受診者等がデータ上存在して特定できないケースも想定されるが、その場合は検索結果を表示する等し、ユーザーから入力を促すようにし、採用されたものに対して個人情報データから取得する方法を取ること。その場合、検索画面についての細かな規定は設けないが、あくまでユーザに分かり易く、操作しやすい配慮を行うこと。

8-2 臨床検査結果データ交換仕様書について(その他フォーマット)**8-2-1 臨床検査結果データ交換電文****8-2-1-1 結果データ交換フォーマット****8-2-2**

移送先テーブル名: T_KENSAKEKA_TOKUTEI

項目No.	項目名	データ取得元	DB定義名	桁数
	被保険者証等記号	個人情報テーブルより取得	HIHOKENJYASYO_KIGOU	40
	被保険者証等番号	個人情報テーブルより取得	HIHOKENJYASYO_NO	40
①	検査年月日	手入力	KENSA_YMD	8
②	検査センタNo.	手入力	KENSA_CENTER_CD	1

移送先テーブル名: T_KENSAKEKA SONOTA

項目名	データ取得元	DB定義名	桁数
被保険者証記号	個人情報テーブルより取得	HIHOKENJYASYO_KIGOU	40
被保険者証番号	個人情報テーブルより取得	HIHOKENJYASYO_NO	40
検査実施年月日	画面「①」より入力	KENSA_NENGAPI	8
項目コード	注1	KOUMOKU_CD	8
検査結果	臨床検査データの「検査結果値」	KEKA_TI	10
コメント			
H/L			
判定区分			

注1

例) 臨床検査データで、「GOT」の結果を「検査結果特定その他」に取込む例

臨床検査データの依頼項目コードを00234と仮定し、検査センタ項目マスタの「GOT」の項目に00234画設定されているものとする。

検査結果データその他の移送先

検査センター項目マスタから、GOTのデータを取り出し、

項目名	データ値
項目コード	3B0350000023272
検査結果	臨床検査データの「検査結果値」
コメント	
H/L	
判定区分	

9 健診結果表示・自動判定

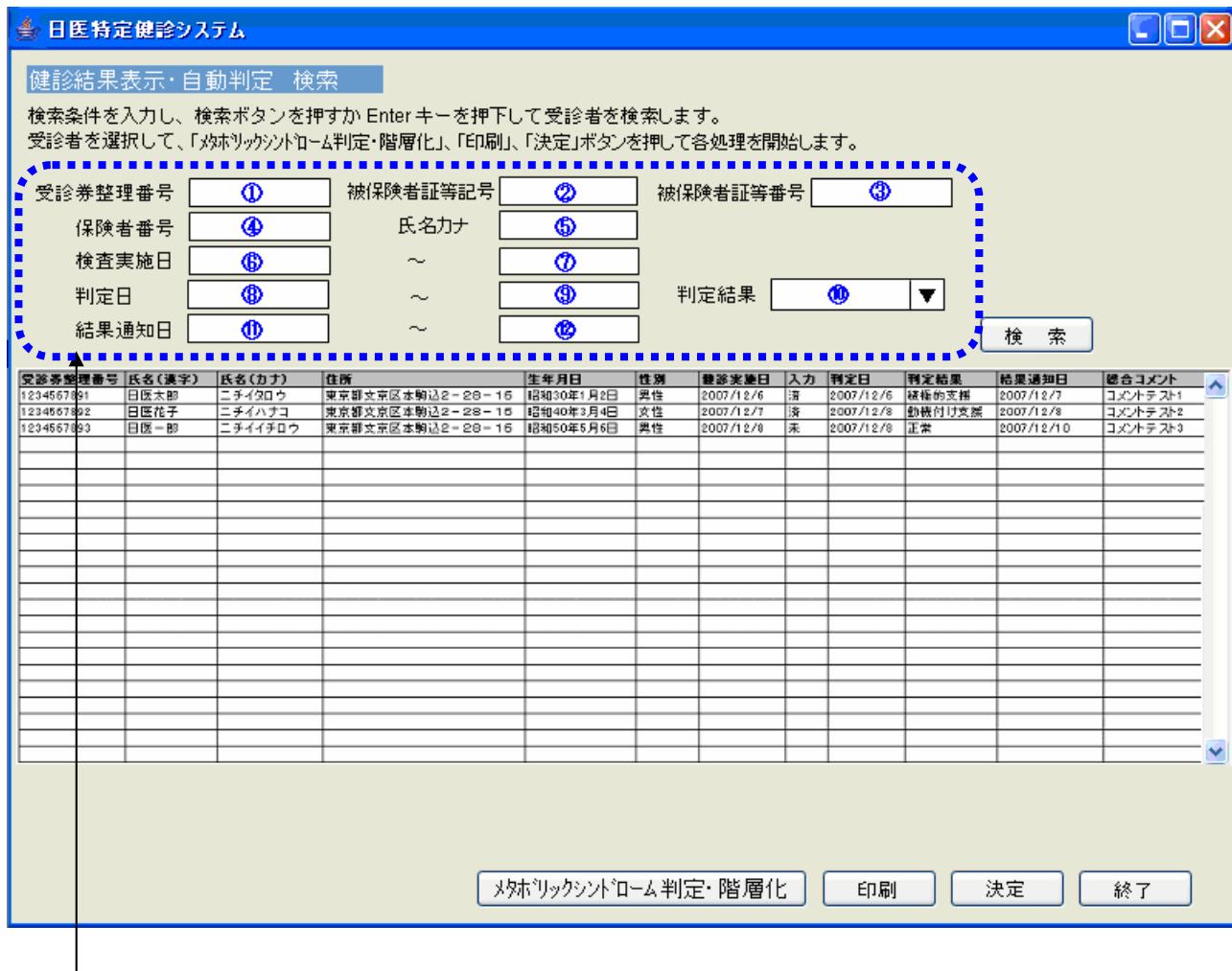
9-1 検索画面

9-1-1 画面デザイン

9-1-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- ・健診結果を表示する画面。
 - ・本システムの規定フォームを使用する。
 - ・本画面表示直後、受診者番号入力欄にフォーカスを設定する。



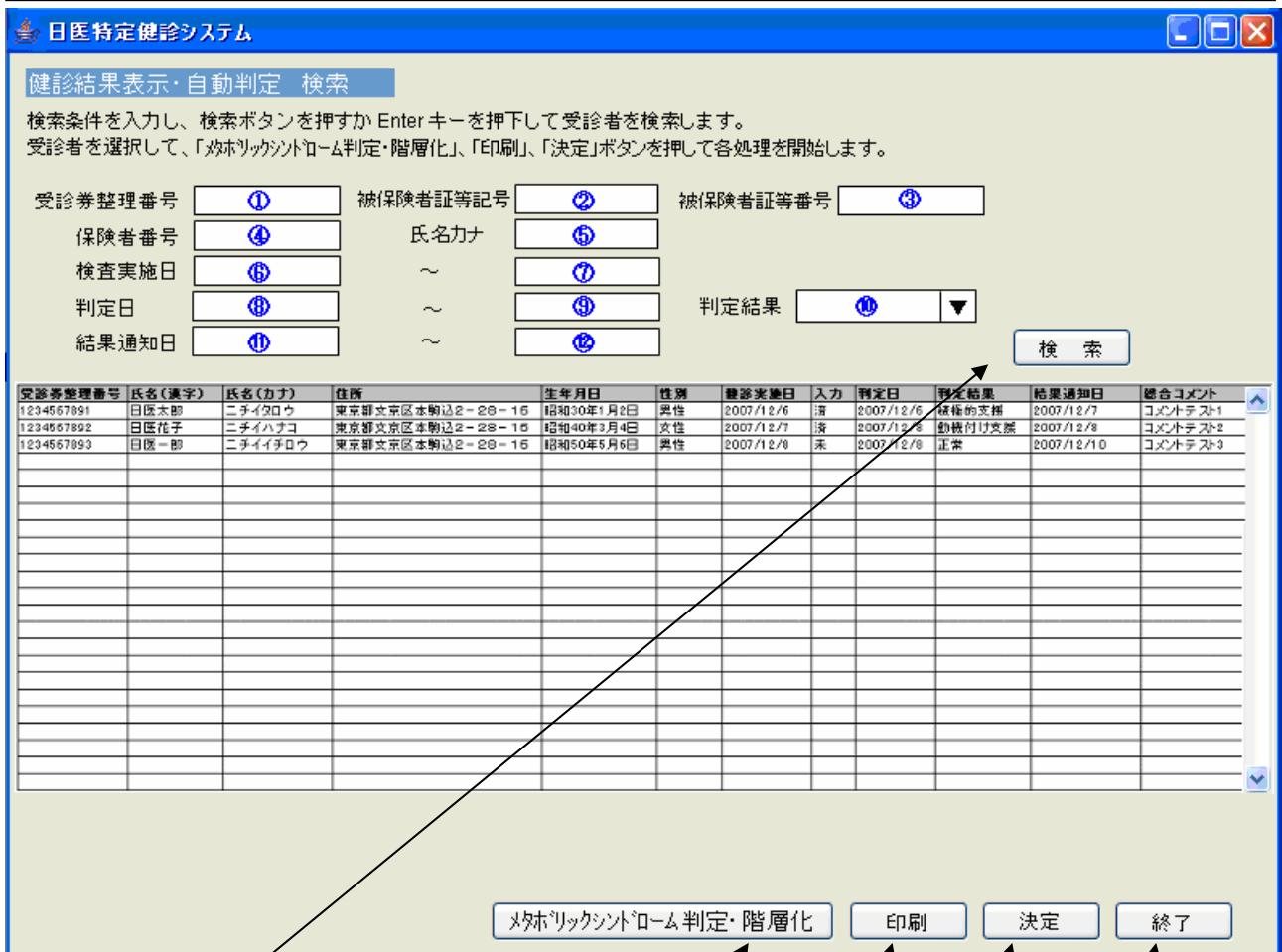
検索条件入力欄

- ・受診者を検索する条件を入力するための部位。
 - ・項目移送表で対応するテーブル項目のデータ型と制約にあわせて、入力操作を制限する。
 - ・判定結果のコンボボックスには、検査結果データ特定テーブルの判定結果項目に入る値に対応する名前を固定で設定する。
 - ・判定結果のコンボボックスでは、項目の編集を許可しない。



⑬ 健診結果一覽表

- 検査結果の検索結果を表示する表。
 - 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
 - 複数行選択を許可しない。
 - セルの任意の場所をダブルクリックすると、健診結果表示画面を表示する。
 - 行を選択中に Enter キーを押下すると、健診結果表示画面を表示する。
 - カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
 - カラムの並び替えを許可しない。
 - 各セルの編集を許可しない。
 - 選択中の行の左端の列の値を「V」にする。
 - 選択されていない行の左端の列の値を空にする。
 - 検索ボタンを押下するか、フォーカスが①～⑯に存在するときに Enter キーを押下すると、検索処理を実行する。
 - 列のヘッダをクリックすると、その列の値で行の並び替えを行なう。最初の並び替えは照準で行い、以後、クリックする度に昇順と降順を交互に切り替える。



検索ボタン

- 受診者の検索を実行するためのボタン。

メタボリックシンドローム判定・階層化ボタン

- 健診結果のメタボリックシンドローム判定と階層化を実行するためのボタン。
- 選択している健診結果の階層化処理を行なう。

印刷変換ボタン

- 健診結果を HL7 形式に変換して出力するボタン。
- 選択している健診結果を変換する。

決定ボタン

- 健診結果表示画面を表示するボタン。
- 1 行を選択している場合のみ、有効にする。
それ以外の場合は無効にする。

終了ボタン

- 画面を閉じるボタン。

9-1-1-2 検索条件入力欄の項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output	備考
①	受診券整理番号	(手入力)	(無し)	
②	保険証記号	(手入力)	(無し)	
③	被保険者証等番号	(手入力)	(無し)	
④	被保険者証等番号	(手入力)	(無し)	
⑤	氏名カナ	(手入力)	(無し)	
⑥	検査実施日下限	(手入力)	(無し)	
⑦	検査実施日上限	(手入力)	(無し)	
⑧	判定日下限	(手入力)	(無し)	
⑨	判定日上限	(手入力)	(無し)	
⑩	判定結果	(手入力)	(無し)	
⑪	結果通知日下限	(手入力)	(無し)	
⑫	結果通知日上限	(手入力)	(無し)	
	患者ID	(手入力)	(無し)	

9-1-1-3 健診結果一覧表の項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output	備考
⑬	受診券整理番号	個人情報データ.受診券整理番号	(無し)	
	氏名(漢字)	個人情報データ.氏名(漢字)	(無し)	
	氏名(カナ)	個人情報データ.氏名(カナ)	(無し)	
	住所	個人情報データ.住所	(無し)	
	生年月日	個人情報データ.生年月日	(無し)	
	性別	個人情報データ.男女区別	(無し)	
	健診実施日	検査結果データ特定.検査実施年月日	(無し)	
	入力	(※「10-1-2-1 検索処理」を参照)	(無し)	
	判定日	検査結果データ特定.判定年月日	(無し)	
	判定結果	※1	(無し)	保健指導レベル
	結果通知日	検査結果データ特定.結果通知年月日	(無し)	
	総合コメント	検査結果データ特定.コメント	(無し)	

※ 1 検査結果データその他テーブルを「被保険者証等記号」及び「被保険者証等番号」「検査実施年月日」で検索し、保健指導レベルの項目コードで検索して得られた値をセットする。

- 表示と入力チェックは、対応するテーブルの項目の型に合わせて適切に行なうこと。

9-1-2 処理**9-1-2-1 初期化処理****処理開始タイミング**

画面が表示される前に実行する。

処理フロー

判定結果選択欄の項目に、以下を追加する。

- 未判定
- 積極的支援
- 動機づけ支援

-
- なし

9-1-2-2 検索処理

処理開始タイミング

ユーザが検索ボタンを押下する。

処理フロー

「判定結果」以外の項目については、8-1-1 受診者選択画面と、8-1-2 検索項目による検索結果表示相関図を参照する。

判定結果選択欄については、検査結果その他テーブルを「被保険者証等記号」及び「被保険者証等番号」「検査実施年月日」により検索し、保健指導レベルの項目コードにより得られた内容に基づいて、検索時に使用する値を決定する。

(0 : 未判定、1 : 積極的支援、2 : 動機づけ支援、3 : なし)

9-1-3 階層化処理

処理開始タイミング

ユーザが階層化ボタンを押下する。

処理フロー

ここでは、ボタン押下後の処理の概要を記載する。

階層化の内容と処理の詳細については、次項以降で説明する。

(1) 入力済み（※1）でない場合は、以下の内容の確認用のメッセージを表示する。

「未入力の健診結果があります。入力済みの健診結果について、階層化を行ないますか？」

「はい」の場合は、次項に進む。「いいえ」の場合は、処理を終了する。

(2) 階層化処理を行なう。

(3) 検査結果データ特定テーブルの判定年月日に、システム日付をセットする。

9-1-4 結果コメント

■ 特定健診の結果、各健診項目に対して基準値と比較し判定を行う。

特定健診、追加健診項目、問診の検査結果に対して基準値を超えていないかどうかを判定する。

健診結果データ特定テーブル、健診結果データその他テーブルに格納される健診結果データを判定し、それぞれのテーブルの H/L フィールド、判定区分フィールドに値をセットする。

各健診項目の基準値は健診項目マスタに基準値が格納されており、項目コードをキーにして基準値を参照にする。

処理の考え方

- 使用するテーブル

健診結果データ特定テーブル (A)

- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号
- ・検査実施年月日

健診項目マスタ (C)

- ・項目コード
- ・必須フラグ

健診結果データその他テーブル (B)

- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号
- ・検査実施年月日
- ・項目コード
- ・検査結果
- ・コメント
- ・H/L
- ・判定区分

※以下、「健診結果データ特定テーブル」を A、「健診結果データその他テーブル」を B、「健診項目マスタテーブル」を C と読み替える。

- ・健診結果データその他テーブル

1. 「B. 項目コード」と「C. 項目コード」

をつき合わせ、「C. 下限値」「C. 上限値」「C. 基準値範囲」を取得する。

2. 一般判定に使用する項目を「B. 項目コード」により絞込み、「B. 検査結果」と 1.

で取得した「C. 下限値」「C. 上限値」「C. 基準値範囲」を比較することにより、検査結果が

一般判定基準に抵触しているかどうかを確認する。

3. 一般判定に使用する項目を全て 2. の手順を使用して確認する。

4. 一般判定結果を「B. H/L」、「B. 判定区分」に格納する。

項目移送表

5. B. は受診者一人、健診1回につき複数存在することがありえるので、対象のレコード
全てに 1～4 を実施する。

検査結果データその他 (T_KENSAKEKA SONOTA) 健診の検査数レコードが存在します。

項目名	IN	OUT	内容	備考
H/L	H_L	←	0,1,2	(規定値 0)
判定区分	HANTEI	←	0,1,2,3,4,5	(規定値 0)

- ・ H/L に格納する内容は
0:未判定,1:L,2:H Lは検査結果値が基準値より低い場合。Hは検査結果値が基準値より高い場合。
- ・ 判定区分に格納する内容は
0:未判定,1:異常なし,2:軽度異常,3:要経過観察,4:異常,5:要精検
軽度異常、要経過観察、要精検は未使用。実際に格納するのは上記下線のある **1or4** となる。

9-1-5 メタボリックシンドローム判定(自動)

■ 特定健診の結果、メタボリックシンドローム判定を行う。

特定健診、追加健診項目、問診の検査結果に対してメタボリックシンドローム判定を行う。

階層化判定、一般判定とは別にメタボリック判定も行う。

※メタボリックシンドローム判定では、血糖値が 110mg/dl なので注意すること。

処理の考え方 :

メタボリックシンドローム判定を行うには下記のとおり。

※以下 2008 年 1 月 22 日に <http://tokuteikenshin.jp/> に記載された内容から抜粋。

・メタボリック判定に使用する血圧

血圧のデータをひとつだけ使用する場合に順じ、「その他」にデータがあればそれを使い、他のデータがあつても無視する。「その他」になければ「2 回目」を使い、「2 回目」になければ「1 回目」を使う。いずれんにも値がない場合には、欠損として処理する。

メタボリック判定のロジックと欠損値を考慮した判定不能の処理の仕方

◆欠損値を考慮しない場合のメタボリック判定のロジック。実際には後述の欠損値考慮を行う。

注意点:メタボ診断基準資料に従い以下の点に留意すること。

1) 血糖の判定は、空腹時血糖がなければHbA1cを使う。保健指導レベル判定と異なり、空腹時血糖の判定値は110以上、HbA1cの判定値は5.5以上である。

2) 質問票服薬1, 2, 3の情報を判定に使用する。(根拠:メタボ判定基準表1の直下の注意書き)

■ステップ1

- ・内臓脂肪面積>=100なら ステップ1該当→■ステップ2へ
- ・男性で腹囲>=85cmなら ステップ1該当→■ステップ2へ
- ・女性で腹囲>=90cmなら ステップ1該当→■ステップ2へ

※内臓脂肪面積がある場合にはそれのみで判定し、腹囲のデータは使用しない。

※腹囲のデータを使用する場合には、次の順で最初の1つを使用して判定する。

腹囲実測、腹囲自己測定、腹囲自己申告

■ ステップ2

カテゴリー1

・空腹時血糖 $>= 110$	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ
・HbA1c $>= 5.5$	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ
・質問票服薬2(血糖)=あり	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ

※空腹時血糖がある場合には、採血時間の情報を考慮しない。

※空腹時血糖、HbA1cどちらにも値がない場合は欠損値とする。

※随時血糖は採血時間が2(10時間以上)であっても使用しない。

カテゴリー2

・収縮期血圧 $>= 130$	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ
・拡張期血圧 $>= 85$	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ
・質問票服薬1(血圧)=あり	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ

※血圧は、「その他」、「2回目」、「1回目」の順で最初に存在したデータのみを使用する。

カテゴリー3

・中性脂肪 $>= 150$	→リスクポイント+1してメタボ判定へ
・HDLコレステロール < 40	→リスクポイント+1してメタボ判定へ
・質問票服薬3(脂質)=あり	→リスクポイント+1してメタボ判定へ

■メタボ判定■

ステップ1が非該当 → 非該当(コード3)

ステップ1該当ならば

ステップ2のリスクポイントの数が 0 → 非該当(コード3)

ステップ2のリスクポイントの数が 1 → 予備群(コード2)

ステップ2のリスクポイントの数が 2以上 → 該当者(コード1)

以上。

◆欠損値も考慮したコンピュータによる判定方法

コンピュータプログラムで、欠損値の処理を含めてメタボリック判定を正確に行うには、次のような方法

が考えられる。別の方法でももちろん差し支えない。

【欠損値も考慮したコンピュータによる判定方法】

I . 欠損値項目は無視して、存在する情報だけでまず判定する。

ただし、内臓脂肪面積、腹囲に関する情報のどちらも全く存在しない場合には「判定不能」とし完了。

判定に使った検査、および質問票の服薬関係の3 間においてまったく欠損値がなければ、完了。

欠損値項目の有無にかかわらず、I の結果が、「該当」であれば完了。

欠損値項目が1 個以上あり、I の結果が、「非該当」または「予備群」の場合には II に進む。

II . 欠損値処理

ステップ2のカテゴリー1)2)3)のうち、

・欠損値項目のなかにひとつでも、I でリスクポイントの加算対象とならなかったカテゴリーに属するものがある場合には、「判定不能」とし完了。(その欠損値項目の情報がもし基準該当であったとしたら、そのカテゴリーがリスクポイント加算対象となり、判定の段階が上がるため)。

・すべての欠損値項目が、I でリスクポイント加算対象となっているカテゴリーに属するものである場合には、Iの判定結果をそのまま判定結果として完了。

注意) 欠損値項目には質問票の服薬1、2、3も含めて扱う。

※ステップ2が1項目のみ該当する人は予備群、ステップ2が2項目以上該当する人は基準該当者となる。いずれにも該当しない場合には、非該当となる。

項目移送表**検査結果データその他 (T_KENSAKEKA SONOTA)**

項目名	IN	OUT	内容	備考
メタボリック判定	※ 1	←	0-4	(規定値 0)

0:未判定、1:基準該当、2:予備群該当、3:非該当、4:判定不能

※ 1 検査結果データその他テーブルを「被保険者証等記号」及び「被保険者証等番号」「検査実施年月日」で検索し、メタボリック判定の項目コードで抽出したレコード

9-1-6 階層化

階層化の基準には下記 2 通りの判定がある。

①内臓脂肪型肥満を伴う場合の判定

内臓脂肪蓄積の程度を判定するために腹囲を用い、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の判定基準となる高血糖、高血圧等の健診項目（血糖、血圧など）を用いる。

※ メタボリック判定とは数値が違う項目があることに注意

※

②内臓脂肪型肥満を伴わない場合の判定

腹囲測定の結果内臓脂肪型肥満と判定されない場合にも、高血糖、高血圧等の健診項目（血糖、血圧など）を健診することにより、内臓脂肪型肥満を伴わない糖尿病、高血圧症等の個別の生活習慣病を判定する。

9-1-7 階層化の種別について

■階層には以下のレベルが存在する。

1. 非該当者
2. 情報提供レベル
3. 動機づけ支援レベル
4. 積極的支援レベル
5. 測定不能

※このうち、保健指導を行う対象者は

3. 動機づけ支援レベル
4. 積極的支援レベル

のレベルが対象となる。

※その他、医師の判断により該当者と判断された受診者が対象となる。

9-1-8 階層化の方法について

■階層化を行うには以下の方法に従って判定する。

2008年1月22日に<http://tokuteikenshin.jp/>に記載された内容を抜粋。

保健指導レベルの判定ロジックと欠損値を考慮した判定不能の処理の仕方

◆欠損値を考慮しない保健指導レベル判定ロジック。実際には後述の欠損値考慮を行う。

■ステップ1

・内臓脂肪面積>=100なら	パターン1 該当	→ ■ステップ2へ
・男性で腹囲>=85cmなら	パターン1 該当	→ ■ステップ2へ
・女性で腹囲>=90cmなら	パターン1 該当	→ ■ステップ2へ
・BMI>=25	パターン2 該当	→ ■ステップ2へ
それ以外は	ステップ1では該当せず。	→ ■ステップ2へ

※腹囲のデータを使用する場合には、次の順で最初の1つを使用して判定する。

腹囲実測、腹囲自己測定、腹囲自己申告

※パターン1該当せず、身長・体重どちらかが存在しない→「判定不能」

■ステップ2

カテゴリー1

・空腹時血糖>=100	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ
・HbA1c>=5.2	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ
・質問票服薬2(血糖)=あり	→リスクポイント+1してカテゴリー2へ

※空腹時血糖がある場合には、採血時間の情報を考慮しない。

※空腹時血糖、HbA1cどちらにも値がない場合は欠損値とする。

※随时血糖は採血時間が2(10時間以上)であっても使用しない。

カテゴリー2

・収縮期血圧>=130	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ
・拡張期血圧>=85	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ
・質問票服薬1(血圧)=あり	→リスクポイント+1してカテゴリー3へ

※血圧は、「その他」、「2回目」、「1回目」の順で最初に存在したデータのみを使用する。

カテゴリー3

・中性脂肪>=150	→リスクポイント+1してカテゴリー4へ
・HDLコレステロール<40	→リスクポイント+1してカテゴリー4へ
・質問票服薬3(脂質)=あり	→リスクポイント+1してカテゴリー4へ

カテゴリー4

- ・質問票喫煙歴 あり → カテゴリー4:YESでステップ3へ

※喫煙歴が欠損値であるために判定が出来ない場合→「判定不能」

■ステップ3

- ・ステップ1が非該当 → 非該当(コード3)

- ・ステップ1が「**パターン1**」

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 0 → 情報提供レベル(コード3)

- ・ステップ1が「**パターン1**」

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 1の場合

カテゴリー4:YES→ 積極的支援レベル(コード1)

- ・ステップ1が「**パターン1**」

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 1の場合

カテゴリー4:NO → 動機付け支援レベル(コード2)

- ・ステップ1が「**パターン1**」

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が2 以上 → 積極的支援レベル(コード1)

- ・ステップ1が「**パターン2**」ならば

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 0 → 情報提供レベル(コード3)

- ・ステップ1が「**パターン2**」ならば

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 1 → 動機付け支援レベル(コード2)

- ・ステップ1が「**パターン2**」ならば

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 2 の場合

カテゴリー4:YES→ 積極的支援レベル(コード1)

- ・ステップ1が「**パターン2**」ならば

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 2 の場合

カテゴリー4:NO → 動機付け支援レベル(コード2)

- ・ステップ1が「**パターン2**」ならば

ステップ2の カテゴリー1～3のリスクポイントの数が 3 以上 → 積極的支援レベル(コード1)

■ステップ4

・ステップ1～ステップ3にかかわらず、質問票服薬1、2、3のいずれかが「服薬あり」であれば、
情報提供レベル(コード3)とし、判定終了。

・ステップ3 が積極的支援レベル または動機付け支援レベルならば、
当該年度の年齢が65歳～74歳 の場合には、動機付け支援レベル(コード2)とし、判定終了。

◆ 欠損値も考慮したコンピュータによる判定方法

まず、なによりも先に、「服薬あり」、がひとつでもある場合には、欠損の有無に関係なく「情報提供レベル」とし完了する。

I . 欠損値項目は無視して、存在する情報だけでまずステップ4まで判定する。

つぎにその結果に対して、以下を順に適用する

①内臓脂肪面積、腹囲に関する情報のどちらも全く存在しない場合には「判定不能」とし完了。

②ステップ1でパターン1に該当しない場合で、BMIが欠損しており、身長、体重のどちらかが存在しないためにBMIの計算ができない場合には、「判定不能」として完了。

③判定に使った検査、および質問票の服薬関係の3問、喫煙においてまったく欠損値がなければ、完了。

④ステップ2のカテゴリー4(喫煙歴)が欠損値項目であるために、判定ができない状況が発生する場合には「判定不能」として完了。

⑤判定結果が「情報提供レベル」であって、かつ、欠損値が服薬に関するものだけであって服薬以外の項目には欠損値がない場合には、そのまま情報提供レベルとし完了する。

⑥判定結果が「情報提供レベル」であって、服薬以外の項目に欠損値がある場合には、判定不能として完了する。

⑦判定結果が「情報提供レベル以外」であって、かつ、服薬がひとつでも欠損している場合には、「判定不能」として完了する。

⑧欠損値項目の有無にかかわらず、I の結果が、「積極的支援レベル」であれば完了。

⑨欠損値項目の有無にかかわらず、65～74歳であって、I の結果が、「動機付け支援レベル」であれば完了。

・上記以外で、欠損値項目が1 個以上あり、I の結果が、「非該当」または「動機付け支援レベル」の場合には II に進む。

* 以下では服薬が欠損しているケースは存在しないことになる。

II. 欠損値処理

1)ステップ1がパターン1の場合:順に以下を処理する。

・欠損値項目がステップ2のカテゴリー1~3のいずれかにある場合:

- ・欠損値項目の属するカテゴリーのひとつでもステップ2で該当しない場合 → 判定不能

- ・上記以外の場合 → 変更なし

- ・上記以外 → 変更なし

2)ステップ1がパターン2の場合:順に以下を処理する。

・ステップ2のリスクポイントが0個の場合: 判定不能

・ステップ2のリスクポイント数が1 個の場合:

- ・ステップ2でリスクポイントが加算されていない2カテゴリーの両方に欠損値がある

- 判定不能

- ・ステップ2でリスクポイントが加算されていない2カテゴリーのうち

- 1カテゴリーだけに欠損値がある

- ・喫煙なし → 変更なし

- ・喫煙あり、または喫煙が欠損値 → 判定不能

- ・上記以外 → 変更なし

・ステップ2のリスクポイント数が2 個の場合:

- ・ステップ2でリスクポイントが加算されていない1カテゴリーに欠損値がある → 判定不能

- ・上記以外 → 変更なし

※上記いずれにも該当しない場合には、3:なし(情報提供レベル)となる。

・保健指導レベルを判定する際に使用する年齢の算出方法

保健指導レベルを判定する際に使用する年齢は、その算出を必要とする時点を含む年度の末日における満年齢とする。これをこの文書では「当該年度の年齢」と書いている場合がある。(年度年齢)

例:2008年4月1日～2009年3月31日までは2008年度。

2008年5月1日に特定健診を受診する人の誕生日が3月1日で、受信日には39歳だった場合には、年度年齢では2008年4月1日時点で40歳となる。

※ 通常使われる年齢では、受診時2008年5月1日では39歳だが、年度年齢では4月1日を基準として、
その年度内に誕生日を迎える人を4月1日に生まれたものとみなす。

※

また、判定に使用する数値に関しては、設定ファイルとしてアプリケーション設定ファイル保存フォルダに外部保存し、判定基準値が変更になっても柔軟に対応できるようにする。判定する際には設定ファイルを読み込んで使用する。

階層判定ファイル (kaisou-hantei.csv)

項目コード(括弧内は説明)	男女区分	基準値	単位
9N016160100000001(腹囲実測)	1(男性)	85(cm)	以上
9N016160100000001(腹囲実測)	2(女性)	90(cm)	以上
9N011000000000001(BMI)	1(男性)	25	以上
9N011000000000001(BMI)	2(女性)	25	以上
3D010000001926101(空腹時血糖)	1(男性)	100(mg/dl)	以上
3D010000001926101(空腹時血糖)	2(女性)	100(mg/dl)	以上
3D045000001906202(HbA1c)	1(男性)	5.2(%)	以上
3D045000001906202(HbA1c)	2(女性)	5.2(%)	以上
9N706000000000011(服薬 2 血糖)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N706000000000011(服薬 2 血糖)	2(女性)	1(服薬あり)	
3F015000002327101(中性脂肪)	1(男性)	150(mg/dl)	以上
3F015000002327101(中性脂肪)	2(女性)	150(mg/dl)	以上
3F070000002327101(HDL コレステロール)	1(男性)	40(mg/dl)	未満
3F070000002327101(HDL コレステロール)	2(女性)	40(mg/dl)	未満
9N711000000000011(服薬 3 脂質)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N711000000000011(服薬 3 脂質)	2(女性)	1(服薬あり)	
9A751000000000001(収縮期血圧)	1(男性)	130(mmHg)	以上
9A751000000000001(収縮期血圧)	2(女性)	130(mmHg)	以上
9A761000000000001(拡張期血圧)	1(男性)	85(mmHg)	以上
9A761000000000001(拡張期血圧)	2(女性)	85(mmHg)	以上
9N701000000000011(服薬 1 血圧)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N701000000000011(服薬 1 血圧)	2(女性)	1(服薬あり)	
9N736000000000011(喫煙)	1(男性)	1(はい)	
9N736000000000011(喫煙)	2(女性)	1(はい)	

ファイルの内容例(kaisou-hantei.csv)

項目コード,男女区分,基準値,単位
9N016160100000001,1,85,以上
9N016160100000001,2,90,以上
9N011000000000001,1,25,以上
9N011000000000001,2,25,以上

9-1-9 階層化の実装について

前項までの判定方法を踏まえて、階層化判定の結果を健診結果データその他テーブルにセットする。

処理の考え方

- ・ 使用するテーブル

健診結果データ特定テーブル (A)

- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号
- ・ 検査実施年月日

個人情報データテーブル (B)

- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号
- ・ 検査実施年月日
- ・ 生年月日
- ・ 男女区別

健診結果データその他テーブル (C)

- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号
- ・ 検査実施年月日
- ・

※以下、「健診結果データ特定テーブル」を A、「個人情報データテーブル」を B 読み替える。

1. 「B. 被保険者証等記号」「B. 被保険者証等番号」「B. 検査実施年月日」を使用し、「B. 生年月日」から年齢を求め、「B. 男女区別」を取得する。
2. C. テーブルに格納されている、階層化判定に使用する項目を階層判定ファイル (kaisou-hantei.csv) より読み取り、記載されている項目コードと「C. 項目コード」により絞込み、「C. 検査結果」と階層判定ファイル内に記載のある基準値を比較することにより、検査結果が階層化判定基準に抵触しているかどうかを確認する。
3. 前項までの階層化判定方法に沿って、階層化判定に使用する項目を全て 2. の手順を使用して確認する。
4. 「C. 問診項目服薬 1 (血圧)」「C. 問診項目服薬 2 (血糖)」「C. 問診項目服薬 3 (脂質)」に該当する健診項目を C. から抽出し、階層判定ファイル (kaisou-hantei.csv) の該当 3 項目いずれかに 1 (服薬あり) が入っていた場合には、前項までの判定いかんに係らず対象者とはならない。

5. 階層化判定結果を「C. 保健指導レベル（※1）」に格納する。

※1 検査結果データその他テーブルを「被保険者証等記号」及び「被保険者証等番号」「検査実施年月日」で検索し、保健指導レベルの項目コードで検索して得られた値をセットする。

項目移送表

検査結果データ特定 (T_KENSAKEKA_TOKUTEI)

項目名	IN	OUT	内容	備考
判定年月日	HANTEI_YMD	←	システム年月日	

検査結果データその他 (T_KENSAKEKA SONOTA)

項目名	IN	OUT	内容	備考
保健指導レベル	※1	←	0-5	(規定値 0)

・保健指導レベルに格納する内容は

0:未判定,1:積極的支援,2:動機づけ支援,3:なし,4:判定不能

※現状情報提供、判定不能は未使用。実際に格納するのは上記下線のある 1or2or3 となる。

前述の判定ロジックで、積極的支援、動機づけ支援、判定不能のいずれにも該当しない場合には、3:なしを格納する。

※処理を実行する毎に、保健指導レベルと判定年月日の値を上書きする。

9-1-10 印刷処理

項目移送表

検査結果データ特定 (T_KENSAKEKA_TOKUTEI)

項目名	IN	OUT	内容	備考
結果通知年月日	TUTI_YMD	←	システム日付	

処理開始タイミング

ユーザが印刷ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 選択されている健診結果について、未入力のものがあった場合、以下のメッセージを表示する。
「未入力、未判定の健診結果が選択に含まれています。全ての選択健診結果を印刷しますか？」(ボタンは「はい」「いいえ」)
- (2) 「いいえ」の場合は、処理を終了する。
- (3) 「はい」の場合は、選択されている健診結果に対応する特定健診受診結果通知表を全て印刷する。印刷前に、印刷イメージを確認できるようにする。
印刷のフォーマットを以下に記載する。

特定健診結果通知表						※1
アリガナ		生年月日	年 月 日	健診年月日	年 月 日	
氏名	①	性別・年齢	男・女 歳	受診券整理番号		
既往歴						
既往症	② 喫煙歴					
自覚症状						
他覚症状						

項目		基準値	今回 年月日	前回 年月日	前々回 年月日	※3
身体計測	身長	cm				
	体重	kg				
	腹囲	cm				
	BMI					
血圧	収縮期血圧	mmHg				
	拡張期血圧	mmHg				
血中脂質検査	中性脂肪	mg/dl				
	HDL-コレステロール	mg/dl				
	LDL-コレステロール	mg/dl				
肝機能検査	GOT	U/I	④			
	GPT	U/I				
	γ-GTP	U/I				
血糖検査	空腹値血糖	mg/dl				
	HbA1c	%				
尿検査	糖					
	蛋白					

※1 健診機関マスタより取得

- 「①」 … 個人データテーブルより取得
- 「④」 … 健診項目マスタより取得
- 「②」、「③」、「⑤」 … 検査結果特定その他テーブルより取得

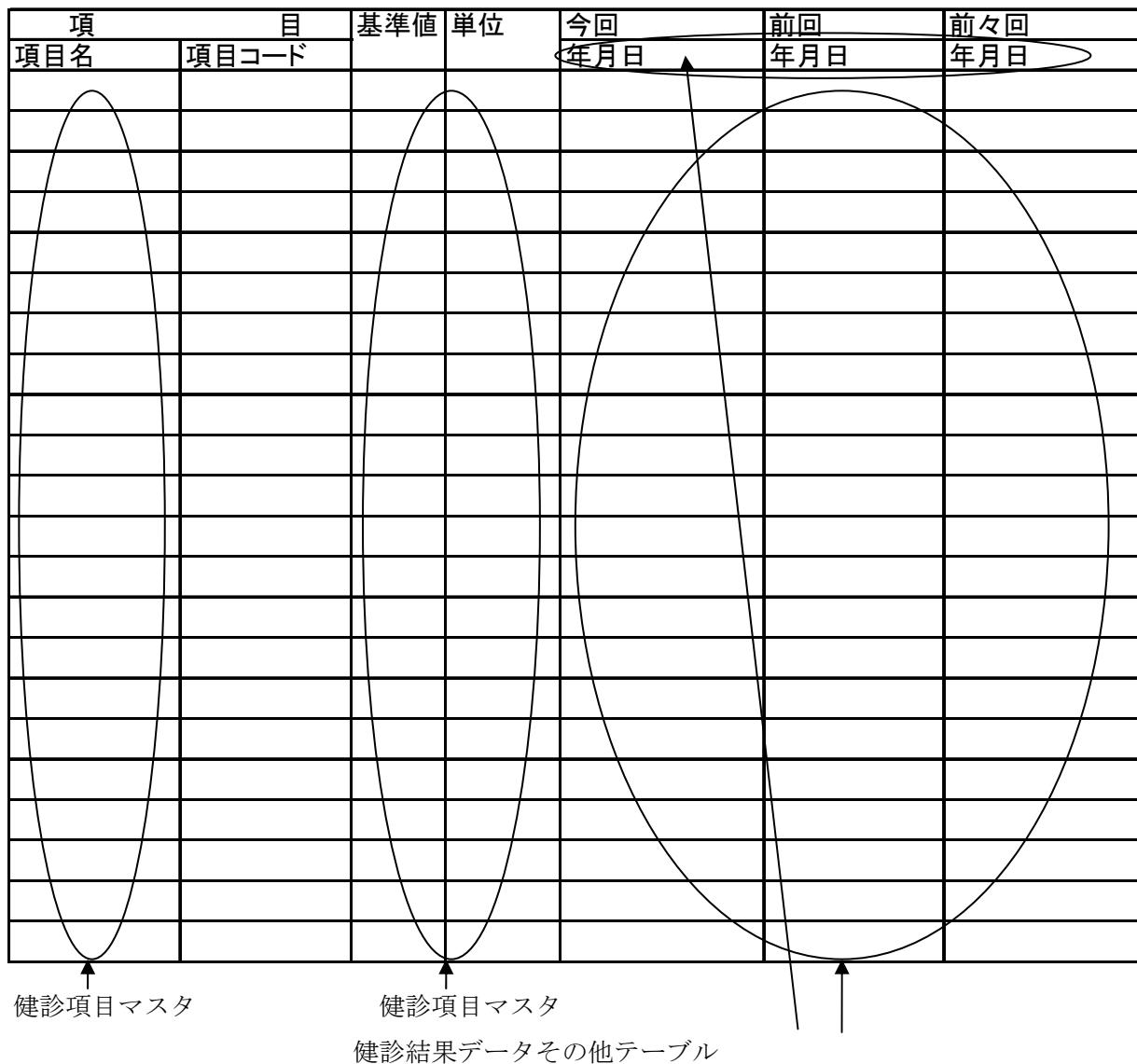
- 結果報告書の1ページ目は上記レイアウトによる。(左右は揃えること)
- A4サイズに印刷すること。
- 各ページの対応が不明にならないように、全てのページに受診券整理番号とページ番号を印刷する。

※ テーブル名は全て表示元データのテーブル名

項目		基準値	単位	今回	前回	前々回
貧血検査	赤血球数			万/mm ³	年月日	年月日
	血色素量	g/dl	(1)	(2)	(3)	
	ヘマトクリット値	%				
心電図検査	所見					
眼底検査	所見					
メタボリックシンドローム判定				④	⑤	⑥
				(7)		
				(8)		

①～⑧は検査結果データその他テーブルより取得

- 結果報告書の2ページ目は上記レイアウトによる。(左右は揃えること)
- A4サイズに印刷すること。
- 各ページの対応が不明にならないように、全てのページに受診券整理番号とページ番号を印刷する。



- 結果報告書の3ページ目以降は上記レイアウトによる。(左右は揃えること)
- A4サイズに印刷すること。
- 各ページの対応が不明にならないように、全てのページに受診券整理番号とページ番号を印刷する。

※健診項目マスタから取得するデータは保険者番号と項目コードで検索する。

※検査結果データ特定テーブルから取得するデータは被保険者証等記号、番号で検索し検査実施年月日で降順ソートする。

※検査結果データその他テーブルから取得するデータは被保険者証等記号、番号で検索し検査実施年月日で降順ソートする。

	問診内容	結果	前回	前々回
1-1	血圧を下げる薬を服用している			
1-2	インスリン注射又は血糖を下げる薬を使用している			
1-3	コレステロールを下げる薬を服用している			
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある。			
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがある			
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析)を受けたことがある。			
7	現在、たばこを習慣的に吸っている			
8	20歳の時の体重から10kg以上増加している			
9	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している			
10	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している			
11	同世代の同性と比較して歩く速度が速い			
12	この1年間で体重の増減が±3kg以上ある			
13	早食い・ドカ食い・ながら食いが多い			
14	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある			
15	夜食や間食が多い			
16	朝食を抜くことが多い			
17	ほぼ毎日アルコール飲料を飲む			
18	睡眠で休養が得られている			

- 結果報告書の4ページ目以降は上記レイアウトによる。(左右は揃えること)
- A4サイズに印刷すること。
- 各ページの対応が不明にならないように、全てのページに受診券整理番号とページ番号を印刷する。

(4) システム日付を結果データ特定テーブルの結果通知年月日にセットする。

9-1-11 健診結果表示処理

処理開始タイミング

健診結果一覧表で1行選択しているときに、ユーザが決定ボタンを押下する。

または、健診結果一覧表で値が設定されているセルをダブルクリックする。

または、健診結果一覧表で1行選択しているときに、Enterキーを押下する。

処理フロー

- (1) 健診結果表示画面に入力されたデータを消去する。
- (2) 健診結果一覧表で選択した行の、受診券整理番号を条件として、健診結果画面の項目移送表のInputのテーブル項目の値を取得する。
- (3) データの取得に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (4) 取得した値を健診結果表示画面に設定する。
- (5) 健診結果表示画面をモーダルで表示する。

9-1-12 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 本画面を閉じる。

9-2 健診結果表示画面

9-2-1 画面デザイン

9-2-2 各部名称、役割、動作

画面全体

- ・健診結果を表示する画面。
- ・本システムの規定フォームを使用する。
- ・本画面表示直後、受診者番号入力欄にフォーカスを設定する。

項目コード	項目名	検査センター 項目コード	検査結果	下限値	上限値	H/L	判定	コメント
9N00100000000000	身長							
9N00600000000000	体重							
9N01100000000000	BMI							
9N0161601000000	聴診(実測)							
9N05600000000000	既往歴							
9N05616040000000	(具体的な既往歴)							
9N06100000000000	自覚症状							
9N06116080000000	(所見)							
9A75100000000000	収縮期血圧(1回目)							
9A76100000000000	拡張期血圧(1回目)							
9N14100000000000	採血時間(食後)							
3F0150000023271	中性脂肪(トリグリセリド)							
3F0700000023271	HDL=レステロール							
3F0770000023271	LDL=レステロール							
3B0350000023272	GOT(AST)							
3B0450000023272	GPT(ALT)							
3B0900000023271	γ-GT(γ-GTP)							
1A020000001911	尿糖							
1A010000001911	尿蛋白							

健診結果ヘッダ表示欄

- ・健診結果に関する受診者の情報と、検査結果
- 日、判定結果を表示する表示欄。
- ・各表示欄を編集不可にする。

健診結果表

- ・健診結果を表示する表。
- ・編集不可にする。

特定健診システム(仮称)

健診結果表示

被保険者証等記号	1000	被保険者証等番号	525	受診者氏名	竹内 太郎			
健診パターン	特定健診	検査機関No.	1	総合コメント				
検査実施日	2007/11/30							
メタリックシンドローム判定 <input type="checkbox"/> (0:未測定 1:基準該当 2:予備群該当 3:非該当 4:測定不能) 判定結果 <input checked="" type="checkbox"/> (0:未判定 1:積極的支援 2:動機づけ支援 3:正常 4:判定不能)								
項目コード	項目名	検査センター項目コード	検査結果	下限値	上限値	H/L	判定	コメント
9N00100000000000	身長							
9N00600000000000	体重							
9N01100000000000	BMI							
9N01616010000000	腰囲(実測)							
9N05600000000000	既往歴							
9N0561604000000	(具体的な既往歴)							
9N06100000000000	自覚症状							
9N06116080000000	(所見)							
9N06600000000000	他覚症状							
9N06616080000000	(所見)							
9A75100000000000	収縮期血圧(1回目)							
9A76100000000000	拡張期血圧(1回目)							
9N14100000000000	採血時間(食後)							
3F0150000023271	中性脂肪(トリグリセリド)							
3F0700000023271	HDLコレステロール							
3F0770000023271	LDLコレステロール							
3B0350000023272	GOT(AST)							
3B0450000023272	GPT(ALT)							
3B0900000023271	γ -GT(γ -GTP)							
1A0200000001911	尿糖							
1A0100000001911	尿蛋白							

前のデータ 印刷 終了

印刷ボタン

- 特定健診受診結果通知表を印刷するボタン。

修正ボタン

- 健診結果の修正画面を呼び出すためのボタン。

終了ボタン

- 本画面を閉じるためのボタン。

前のデータ、次のデータボタン

- 一覧に表示されていた健診結果の前後のデータを呼び出すためのボタン。

9-2-3 項目移送表

検査結果データ入力の検査結果入力画面の項目移送表を参考にする。

9-2-4 処理

9-2-5 修正処理

処理開始タイミング

ユーザがログインボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 検査結果入力画面を呼び出す。
- (2) ユーザが検査結果を修正後、本画面に戻る。
- (3) ユーザが修正した内容を、本画面の表示内容に反映させる。
- (4) ユーザが修正した内容を、本画面の呼び出し元の画面（受診者検索画面）の検索結果に反映させる。

処理の詳細については、検査結果データ入力の検査結果入力画面を参考すること。

9-2-6 印刷処理

処理開始タイミング

ユーザが印刷ボタンを押下する。

処理フロー

表示されている健診結果の特定健診受診結果通知表を印刷する。

通知表のフォーマットについては、健診結果表示・自動判定画面の印刷処理を参照。

10 請求・HL7出力

- 請求先（保険者・代行機関）への請求データを作成し、HL7データを出力する。

対象の受診者を決定するために、条件を指定して検索を行う。検索項目、ボタンの説明は以下の通り。

※検索条件により、複数もしくは一人の検索結果になる。

- ① 《受診券番号》 … 入力された受診券番号に一致する受診者を検索する
 - ②、③ 《保険証記号・番号》 … 入力された保険証記号・番号に一致する受診者を検索する
 - ④、⑤ 《検査実施日》 … 入力された検査実施日の範囲に含まれる受診者を検索する
※ From、To 欄デフォルトは当日
 - ⑥、⑦ 《HL7出力日》 … 入力された標準フォーマット変換日の範囲に含まれる受診者を検索する
※ From、To 欄デフォルトは空白
 - ⑧ 《保険者番号》 … 選択された保険者番号に一致する受診者を検索する
※ (A)に名称を表示する。
 - ⑨ 《請求機関番号》 … 選択された請求機関番号(=代行機関)に一致する受診者を検索
※ (B)に名称を表示する。
 - ⑩ 《氏名カナ》 … 入力された氏名のフリガナの一部が含まれる受診者を検索する
※比較する際は、DB上と入力値両方の半角変換及び空白文字カットなどの処理を行った上で検索処理を行う事。
 - ⑪ 《種別コード》 … 種別コードは下記種別一覧よりプルダウンメニューに表示し選択させる。
※デフォルトは1を表示
 - ⑫ 《実施区分》 … 実施区分は下記一覧よりプルダウンメニューに表示し選択させる。
 - ⑬ 《請求区分》 … 請求区分は下記一覧よりプルダウンメニューに表示し選択させる。

-
-
- ⑭《請求データ編集》 … 請求処理が行われた後、決済データの内容を修正を行う画面を呼び出す。
 「請求データ編集」の頁を参照。
 - ⑮《請求処理》 … チェックのある受診者を対象に請求・集計処理を行う。
 - ⑯《HL7 出力》 … HL7 フォーマットに変換しファイル出力する。
 - ⑰《HL7 外部コピー》 … HL7 フォーマットのファイルを外部メディア (USB メモリ、CD 等) へ
 コピーする。
 - ⑱《キャンセル》 … 何も行わずにメニューに戻る。
 - ⑲《終了》 … メニューに戻る。
-
- ⑳《チェック欄》 … 検索後決済処理を行う対象者をチェックで選択する。
-
- 《検索》 … ①～⑯までの検索条件により検索を行う。
 - 《全選択》 … 検索後、決済処理を行う一覧の左端にあるチェックを全行に入れる。
 ※押すたびに「全選択」「全解除」とする。

※請求処理が完了していないと、HL7 出力ボタンが押せないようにする。

また、一度請求ボタンが押下されたら、一覧のチェック欄は使用不可に。

その後、検索ボタンを押下するかすれば、一覧のチェックボタンを使用可にする。

※種別区分の一覧

コード名	コード	内 容
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関
	3	代行機関から保険者
	4	保険者から代行機関(未決済データの場合)
	5	保険者から代行機関(決済済データの場合)
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関
	8	保険者から保険者
	9	その他
	10	保険者から国(支払基金)
	11	代行機関から保険者へ確認依頼
	12	予備
	13	予備

※請求区分の一覧

コード名	コード	内 容
請求区分コード	1	基本的な健診
	2	基本的な健診+詳細な健診
	3	基本的な健診+追加健診項目
	4	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目
	5	人間ドック

※実施区分の一覧

コード名	コード	内 容
実施区分コード	1	特定健診情報
	2	特定保健指導情報
	3	国(支払基金)への実施結果報告
	4	他の健診結果受領分

10-1 請求処理

- ・ 使用するテーブル

個人情報データテーブル (A)

- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号
- ・ 氏名
- ・ 生年月日
- ・ 窓口負担種別 (金額か割合の種別)
- ・ 窓口負担金額 (金額 or %)

決済データテーブル (B)

- ・ 特定健診機関番号
- ・ 実施年月日
- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号
- ・ HL7 変換日時

決済データ詳細テーブル (C)

- ・ 特定健診機関番号
- ・ 実施年月日
- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号

※決済データテーブルと決済データ詳細テーブルは下記のキーにより紐付けする。

決済データテーブル (A)

- ・ 特定健診機関番号
- ・ 実施年月日
- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号

決済データ詳細テーブル (B)

- ・ 特定健診機関番号
- ・ 実施年月日
- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者証等記号
- ・ 被保険者証等番号

医療保険者情報データテーブル (D)

- ・ 保険者番号
- ・ 委託料単価
- ・ 貧血検査コード
- ・ 単価 (貧血)
- ・ 窓口負担金額 (基本的な健診)

健診項目マスター テーブル (E)

- ・ 保険者番号
- ・ 項目コード
- ・ 単価

健診パターンマスター テーブル (F)

- ・ 健診パターン No.

健診パターン詳細 テーブル (G)

- ・ 健診パターン No.
- ・ 項目コード

結果データ特定 テーブル (H)**結果データその他 テーブル (I)**

※以下、「個人情報データテーブル」を**A**、「決済データテーブル」を**B**、
「決済データ詳細テーブル」を**C**、「医療保険者情報データテーブル」を**D**、
「健診項目マスターテーブル」を**E**、「健診パターンマスター テーブル」を**F**、
「健診パターン詳細テーブル」を**G**、「結果データ特定テーブル」を**H**、
「結果データその他テーブル」を**I**と読み替える。

処理について

1. 検索ボタンを押すことにより、指定した条件で**A.**を検索する。

対象となった**A.**と**B.**を実施年月日、保険者番号、被保険者証等記号、被保険者証等番号をキーにして検索し、**B.HL7**変換日時に値がセットされている**A.**が含まれている場合には、「HL7出力済みの受診者が含まれています、実行しますか?」とメッセージを表示し実行の確認を促す。

※**B.HL7**変換日時に値がセットされているデータはすでに決済処理とHL7変換が完了しているので本来は対象外となる。そのため本当に実行するかを確認させる。HL7変換日のある受診者を再度変換する場合というのは(保険者や代行機関からエラーとして戻ってくる対象者に対しデータを修正し、再度請求・HL7出力し)返戻処理を行うことを考慮している。

2. 対象者一覧を表示し、請求処理ボタンを押すことにより**B.**と**C.**にデータをセットする。

※両テーブルにセットするデータは後述の項目移送表を参照すること。

項目移送表「決済データテーブル」(T_KESAI)

項目名	OUT	IN	内容
特定健診機関番号	システムで使用している特定健診機関番号	TKIKAN_NO	
実施区分	画面より取得	JISI_KBN	
実施年月日	画面より取得	KENSA_YMD	
種別コード	画面より取得	SYUBETU_CD	
請求区分	画面より取得	SEIKYU_KBN	
保険者番号	※※1	HOKENJYA_NO	
被保険者証等記号	A.KIGO	KIGO	
被保険者証等番号	A.NUM	NUM	
委託料単価(個別・集団)区分	D.ITALU_KBN	ITALU_KBN	
単価(基本的な健診)	D.TANKA_KIHON	TANKA_KIHON	
貧血検査コード	D.HINKETU_CD	HINKETU_CD	
単価(貧血検査)	D.TANKA_HINKETU	TANKA_HINKETU	
心電図検査コード	D.SINDENZU_CD	SINDENZU_CD	
単価(心電図検査)	D.TANKA_SINDENZU	TANKA_SINDENZU	
眼底検査コード	D.GANTEI_CD	GANTEI_CD	
単価(眼底検査)	D.ANKA_GANTEI	TANKA_GANTEI	
窓口負担種別(基本的な健診)	A.MADO_FUTAN_K_SYUBETU	MADO_FUTAN_K_SYUBETU	
窓口負担金額(基本的な健診)	A.MADO_FUTAN_KIHON	MADO_FUTAN_KIHON	
窓口負担種別(詳細な健診)	A.MADO_FUTAN_S_SYUBETU	MADO_FUTAN_S_SYUBETU	
窓口負担金額(詳細な健診)	A.MADO_FUTAN_SYOUSAI	MADO_FUTAN_SYOUSAI	
窓口負担種別(追加健診)	A.MADO_FUTAN_T_SYUBETU	MADO_FUTAN_T_SYUBETU	
窓口負担金額(追加健診または人間ドック)	A.MADO_FUTAN_TSUIKA	MADO_FUTAN_TSUIKA_DOC	
単価(合計)	※1 システムで計算してセット	TANKA_GOUKEI	
窓口負担金額(合計)	※2 システムで計算してセット	MADO_FUTAN_GOUKEI	
請求金額	※3 システムで計算してセット	SEIKYU_KINGAKU	
HL7 変換日時	※4 HL7 出力処理でシステムでセット	HENKAN_NITIJI	

※※1 A.SIHARAI_DAIKOU_BANGO と A.HKNJANUM の値がセットされている方をセット。両方セットされていれば、

A.SIHARAI_DAIKOU_BANGO を優先してセットする。

※1 全ての単価を合計しセット

※2 全ての窓口負担金額を合計してセット

※3 単価(合計) - 窓口負担金額(合計)を引いた額をセット

※4 HL7 出力時に日付をシステムでセットします。

※※ 「決済データテーブル」(T_KESAI) の項目 (表の IN 項目) に OUT 項目からデータを移送する。

項目移送表「決済データ詳細テーブル」(T_KESAI_SYOUSAI)

項目名	OUT	IN	内容
特定健診機関番号	システムで使用している特定健診機関番号	TKIKAN_NO	
実施年月日	画面より取得	KENSA_YMD	
保険者番号	※※1	HOKENJYA_NO	
被保険者証等記号	A.KIGO	KIGO	
被保険者証等番号	A. NUM	NUM	
追加健診コード	※1	TUIKA_KENSIN_CD	
単価(追加健診)	※2	TANKA_TUIKA_KENSIN	

※※ 「決済データ詳細テーブル」(T_KESAI_SYOUSAI) の項目（表の IN 項目）に OUT 項目からデータを移送する。

※※1 A.SIHARAI_DAIKOU_BANGO と A.HKNJANUM の値がセットされている方をセット。両方セットされれば、A.SIHARAI_DAIKOU_BANGO を優先してセットする。

※1 追加健診コードは下記の方法により取得

1. A.保険者番号、A.被保険者証等記号、A..被保険者証等番号と、I.保険者番号、I.被保険者証等記号、I..被保険者証等番号および I.検査実施年月日で I.を検索し、検索できた I.項目コードをセットする。

※2 単価（追加健診）は下記の方法により取得

1. A.保険者番号、A.被保険者証等記号、A..被保険者証等番号と、I.保険者番号、I.被保険者証等記号、I..被保険者証等番号および I.検査実施年月日で I.を検索し、検索できた I.保険者番号、I..項目コードと E.保険者番号、E..項目コードにより E.を検索し、E.単価をセットする。

※ 決済データ詳細テーブルは受診者一人につき追加の検査数分作成する

10-2 集計処理

- HL7 フォーマットで提出するために集計処理を行う。

特定健診を行った受診者の請求データを保険者や請求先に提出するために集計を行う。

決済データテーブルと決済データ詳細テーブルから集計されていないデータを抽出し、集計データテーブルに集計値を格納する。

対象となるデータは、決済データテーブルの HL7 変換日時に値のセットされていないレコードを対象とする。

処理の考え方

- ・使用するテーブル

決済データテーブル (A)

- ・特定健診機関番号
- ・実施年月日
- ・保険者番号
- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号
- ・HL7 変換日時

決済データ詳細テーブル (B)

- ・特定健診機関番号
- ・実施年月日
- ・保険者番号
- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号

※決済データテーブルと決済データ詳細テーブルは下記のキーにより紐付けする。

決済データテーブル (A)

- ・特定健診機関番号
- ・実施年月日
- ・保険者番号
- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号

決済データ詳細テーブル (B)

- ・特定健診機関番号
- ・実施年月日
- ・保険者番号
- ・被保険者証等記号
- ・被保険者証等番号

集計データテーブル (C)

- ・保険者番号
- ・検査実施年月日
- ・実施区分
- ・特定健診者受診者数（今回集計する特定健診の受診者数＝決済データテーブルの対象レコード数）
- ・特定健診単価総計（決済データの単価の合計と決済データ詳細の単価の合計を集計）
- ・特定健診窓口総計（決済データの窓口負担金の合計を集計）
- ・特定健診請求総計（決済データの請求金額の合計を集計）

※以下、「決済データテーブル」を A、「決済データ詳細テーブル」を B、「集計データテーブル」を C と読み替える。

※請求処理が完了している場合のみ HL7 変換ボタンが押せるようとする。

HL7 変換ボタンを押すことにより以下の処理を行う。

※※HL7 への変換は請求先ごと（この場合は、A.保険者番号ごと）に作成する必要がある。

以下の処理及び HL7 変換は A.保険者番号ごとに繰り返す。

1. C. を TRUNCATE (全件クリア) する。
2. 「A. 特定健診機関番号」と「B. 特定健診機関番号」、
 「A. 実施年月日」と「B. 実施年月日」、
 「A. 保険者番号」と「B. 保険者番号」、
 「A. 被保険者証等記号」と「B. 被保険者証等記号」、
 「A. 被保険者証等番号」と「B. 被保険者証等番号」

をつき合わせ、「A. 単価（合計）」「A. 窓口負担金額（合計）」「A. 請求金額」「B. 単価」を取得する。

※「B. 単価」については、受診者一人あたり複数存在する可能性があるため、マージしておくこと。

3. 「C. 特定健診受診者数」に A. のレコード件数をセット。
 「C. 特定健診単価総計」に「A. 単価（合計）」+「B. 単価」（マージ済み）をセット
 「C. 特定健診窓口総計」に「A. 窓口負担金額（合計）」をセット
 「C. 特定健診請求総計」に「A. 請求金額」をセット
 「A. HL7 変換日時」にシステム日付 (YYYY/MM/DD) をセット

※上記金額をセットする 3 項目は、対象となる A. のレコード件数分繰り返す。

項目移送表

集計データテーブル (T_SYUKEI)

項目名	IN	OUT	内容	備考
保険者番号	A. 保険者番号	HOKENJYA_NO		番号
検査実施年月日	A. 実施年月日	KENSA_YMD		年月日
実施区分	1	KENSA_JISI_KUBUN	1 をセット	固定値
特定健診受診者数	A. のレコード件数	KENSA_JISI_SOUSU	レコード件数	金額
特定健診単価総数	A. 単価（合計）」+「B. 単価」（マージ済み）	KENSA_TANKA_SOKEI	全件マージ	金額
特定健診窓口総計		KENSA_MADO_SOKEI	全件マージ	金額
特定健診請求総計	A. 請求金額	KENSA_SEIKYU_SOKEI	全件マージ	金額

決済データテーブル (T_KESAI)

項目名	IN	OUT	内容	備考
HL7 変換日時	システム日付	HENKAN_NITIJI	YYYY/MM/DD	年月日

10-3 HL7変換およびファイル出力

- 健診結果データを HL7 フォーマットに変換する。所定のフォーマットに変換後、命名規則にしたがってファイルに出力する。

標準フォーマットである、HL7 (HL7CDA R2) への変換を行い、データ受診者（保険者等、請求・報告先）へ送信するためのデータを作成する。

HL7 フォーマットファイル出力に関しての詳細に関しては、最新ドキュメントが適宜更新されるので Web にある資料を確認して作成に当たること。なお、Zip ファイルについては、暗号化する。暗号化の詳細については、別途記載する。

参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）」, 2007

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html> .

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」, 2007

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshō/iryouseido01/info03d.html>

[3] 財団法人地方自治情報センター、全国地方公共団体コード、<http://www.lasdec.nipon-net>

◆HL7 への変換に関してのファイル仕様書は下記サイトより最新のドキュメントを参照すること。

「健診データの電子的管理の整備に関するホームページ (<http://tokuteikenshin.jp/>)」に掲載されている「特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様（案）提出用データアーカイブ仕様」http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/arc_doc_v0104.pdf (2007/12/03 現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意！) を参照すること。

◆健診情報ファイル（XML 出力形式）仕様に関してのドキュメントは

http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/hc08_doc_v1_25-20071201.pdf

(2007/12/03 現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意！) を参照すること。

◆OID ファイル（コード表と OID 管理番号との対応表）に関してのドキュメントは

<http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/OID-20071201.xls>

(2007/12/03 現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意！) を参照すること。

◆XML 用の健診項目コード表（厚労省手引書付属資料 7 に XML 用情報を追加）に関してのドキュメント

<http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/XMLhc08tab20071201.xls>

(2007/12/03 現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意！) を参照すること。

10-3-1 HL7 フォーマット出力データについて

◆出力に使用するファイルの関連に関する資料

<http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/techdoc-help.pdf>

を参照すること。

項目移送表

※別紙 HL7 項目移送.xls を参照のこと。

◆ (XML 出力形式) 仕様に関するドキュメントは

http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/hc08_doc_v1_25-20071201.pdf

(2007/12/03 現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意！) を参照すること。

付属資料7で複数の連続する項目にマークがある場合の取扱い方

1 複数セルが結合されその中にひとつのマーク(○など)がある場合の取扱い方

付属資料7に出現する項目の順序に従い、上位(表を上から下に見ていく場合において、より上の行に記載されるほう)の項目を優先してただひとつのデータをその項目に格納するものとする。他の項目にはデータは格納しないこと。付属資料7に出現する項目の順序のうち、内臓脂肪面積は腹囲(実測)の直前に移動すること、血圧については収縮期、拡張期ともに、「その他」「2 回目」「1 回目」の順に、それぞれ修正される。

2 複数セルがごとにマークが連続するが、同一の検査で手法だけが異なる場合の取り扱い方

眼底所見のように同じ検査で検査方法が異なる項目同士において、マークがそれぞれについている場合があるが、これについては、すべての項目が必要という意味ではなく、いずれか1 個以上の項目にデータを格納すればよい。

10-3-2 HL7出力ファイルの命名規則について

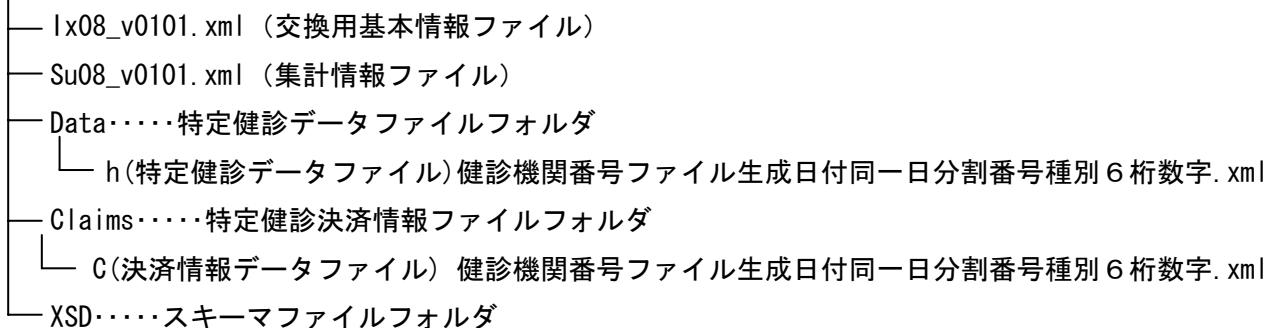
本章では、特定健診に関する提出用ファイルの命名規則（概要）を示す。

詳しくは、「健診データの電子的管理の整備に関するホームページ (<http://tokuteikenshin.jp/>)」に掲載されている「特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様（案）提出用データアーカイブ仕様」を（2007/12/03 現在最新はarc_doc_v0104.pdf）参照のこと。

特定健診命名規則（概要）

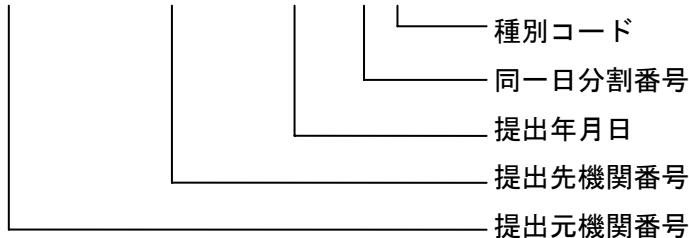
※提出先機関番号は、決済情報データの保険者番号

提出元機関番号_提出先機関番号_提出年月日同一日分割番号_種別コード……ルートフォルダ

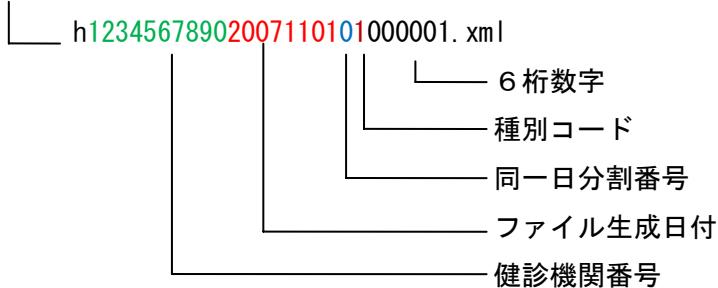


特定健診・保健指導コード体系（例示）

1234567890_12345678_200711010_1 ……ルートフォルダ

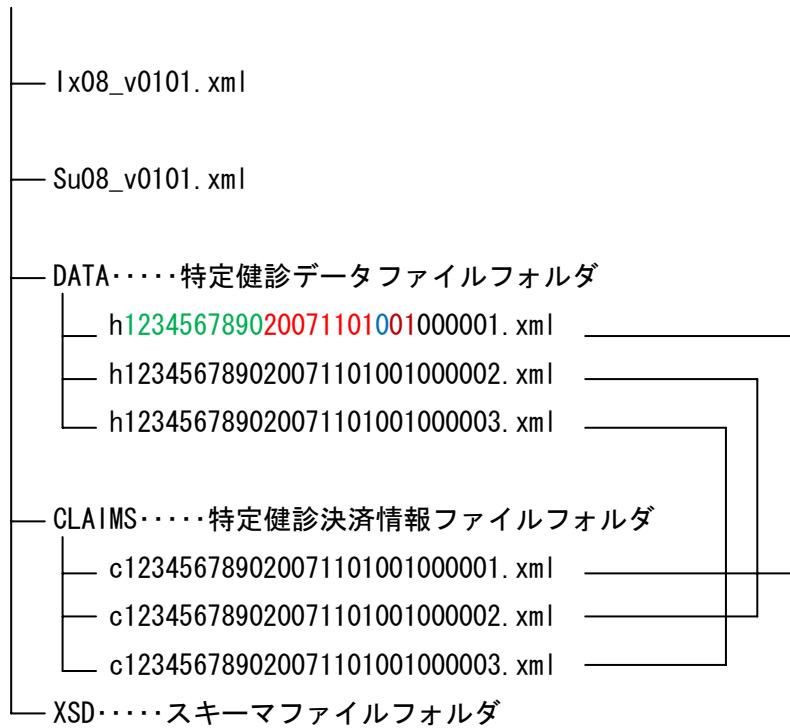


DATA………特定健診データファイルフォルダ



特定健診命名（例）

1234567890_12345678_200711010_1ルートフォルダ



10-4 請求データ編集

本プログラムは、請求処理を行った後、決済データを修正するためのものである。

10-4-1 画面レイアウト及び機能

10-4-1-1 起動時の画面

The screenshot shows the '特定健診システム(仮称)' application window with the title '決済データ入力'. At the top, there are input fields for '受診券整理番号' (13000100001), '受診者氏名' (高橋 太郎), '生年月日' (昭和35.12.9), '性別' (男性), '検査実施日' (2007/11/20), and 'HL7変換日' (2007/11/21). Below these are several dropdown menus and buttons labeled A through Q. A large grid table occupies the center of the screen, with columns for '項目番号', '項目名', and '入力値'. The first three rows of this grid are highlighted with blue numbers ①, ②, and ③. At the bottom of the window, there are buttons for '登録' (Register), 'キャンセル' (Cancel), and '終了' (End).

【ボタン機能の説明】

- 《登録》 … 確認ダイアログを出し、“はい”が選択された場合に更新を行う。
- 《キャンセル》… 確認ダイアログを出し、“はい”が選択された場合には、この入力画面を終了して、請求・HL7出力の検索画面へ戻る。
- 《終了》 … 確認ダイアログを出し、“はい”が選択された場合には、データの更新も行ったう上で、請求・HL7出力の検索画面へ戻る。

【処理の流れ】

- 請求・HL7出力で選択された受診者の情報を、「受診券整理番号」・「受診者氏名」・「生年月日」・「性別」・「検査実施日」・「HL7変換日」(これらを以下まとめて主キーと表現する)を表示しておく。
- 次に、決済データから主キー項目を用いてデータを読み込み表示を行う。続けて、決済データ詳細テーブルからも主キー項目を用いてデータを読み込み、該当があれば図中の「①」～「③」の領域へ続けて表示を行う。
- 表示がされれば、入力値の欄へ任意の項目について修正を行う。

10-4-2 項目移送表

移送先 : T_KESAI

対応番号	項目名	データ取得元	D B 上の定義名	桁数
A	委託料単価(個別・集団)区分	決済テーブルより表示	ITAKU_KBN	1
B	単価(基本的な健診)	決済テーブルより表示	TANKA_KIHON	9
C	貧血検査コード	決済テーブルより表示	HINKETU_CD	1
D	単価(貧血検査)	決済テーブルより表示	TANKA_HINKETU	9
E	心電図検査コード	決済テーブルより表示	SINDENZU_CD	1
F	単価(心電図検査)	決済テーブルより表示	TANKA_SINDENZU	9
G	眼底検査コード	決済テーブルより表示	GANTEI_CD	1
H	単価(眼底検査)	決済テーブルより表示	TANKA_GANTEI	9
I	窓口負担種別(基本的な健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_K_SYUBETU	1
J	窓口負担金額(基本的な健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_KIHON	6
K	窓口負担種別(詳細な健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_S_SYUBETU	1
L	窓口負担金額(詳細な健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_SYOUSAI	6
M	窓口負担種別(追加健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_T_SYUBETU	1
N	窓口負担金額(追加健診)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_TSUIKA_DOC	6
O	単価(合計)	決済テーブルより表示	TANKA_GOUKEI	9
P	窓口負担金額(合計)	決済テーブルより表示	MADO_FUTAN_GOUKEI	9
Q	請求金額	決済テーブルより表示	SEIKYU_KINGAKU	9

移送先 : T_KESAI_SYOUSAI (追加データがあれば移送する)

項目No.	項目名	データ取得元	D B 上の定義名	桁数
①	追加健診コード	画面表示から取得	TUIKA_KENSIN_CD	17
②				
③	単価	手入力	TANKA_TUIKA_KENSIN	9

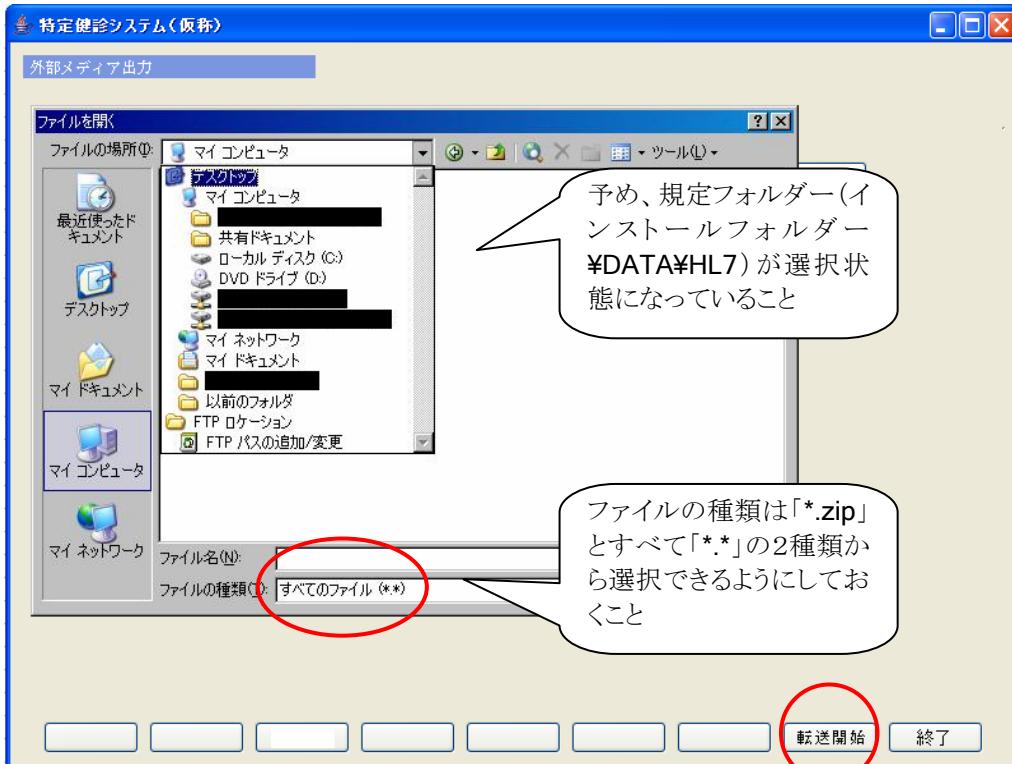
10-5 外部メディア出力

本プログラムは特定健診に関し、変換後HL7データを外部メディアへ転送するものである。

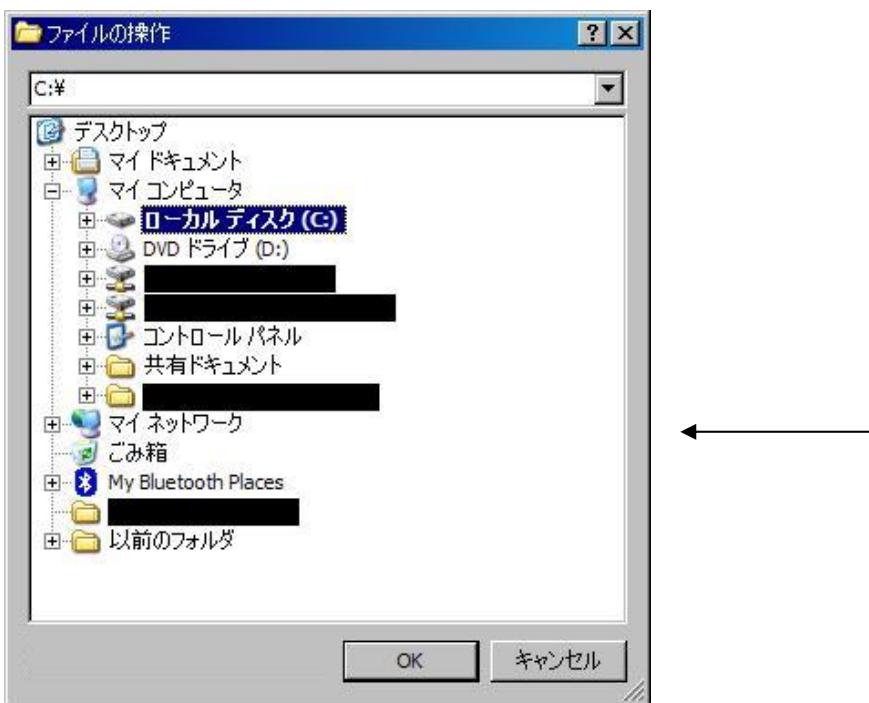
HL7外部コピーボタンを押すことにより以下の処理を行う。

10-5-1 各画面毎の動作について

10-5-2 起動時の状態



10-5-3 転送先ドライブの指定例



(処理の流れ)

- ・起動時は、上記画面の様に規定フォルダー（インストールフォルダー¥DATA¥HL7）が予め選択されている、その中のファイルが表示されている状態にしておく事。
- ・ファイルの種類は、Zip ファイル（「*.zip」）を規定値で、その他にすべてのファイル（「*.*」）も選べられるようにしておく事。
- ・もし可能であれば、ファイルの並び順は降順とする事。何故ならば、日付順に HL7 データが作られる関係上、大量の HL7 データが出来た場合、ファイル選択が簡便になる為。
- ・ユーザーが転送するファイルを選択し、画面右下の「転送開始」ボタンを押下すると、転送先フォルダーの選択ダイアログを表示、ユーザーに選択させる。
- ・選択させた後、転送先ドライブの指定ダイアログ（別図参照）を表示させ、転送先を選択し終わったら、どのドライブに対してコピーを行い、終了すればその旨のメッセージを表示させ、請求・HL7 出力画面へ戻る。

※ コピーを行う際には、転送先ドライブの空き容量をチェックし、不足している場合はそのメッセージを表示させ、現在の画面に留まっておく。

11 機関情報登録画面

11-1 画面デザイン

11-1-1 各部名称、役割、動作

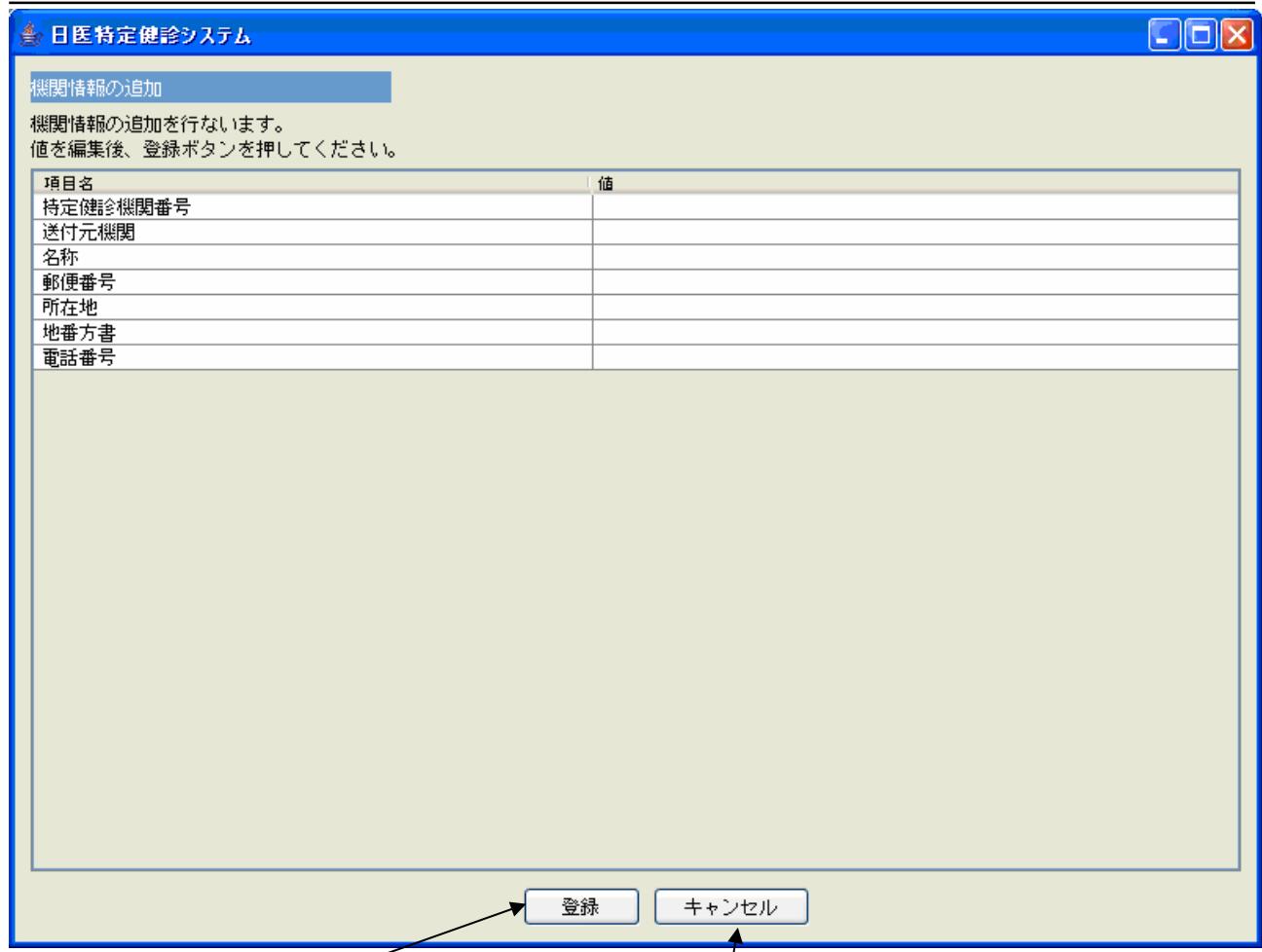
画面全体

- ・機関情報の登録（追加・変更）を行なう画面。
- ・機関情報メンテナンス画面から呼び出される。
- ・システム管理ユーザが利用する。
- ・本システムの規定フォームを使用する。

項目名	値
持定期間機関番号	
送付元機関	
名称	(1)
郵便番号	
所在地	
地番方書	
電話番号	

機関情報表

- ・ユーザが登録されている機関情報を確認するための表。
- ・項目名の列のセルは編集不可。
- ・機関情報変更処理の場合、特定健診機関番号の値のセルを編集不可にし、それ以外の値のセルを編集可能にする。機関情報追加処理の場合は、全ての値のセルを編集可能にする。
- ・値の列の初期値は、すべて空。
- ・ユーザがセルをダブルクリックするか、編集可能なセルにフォーカスがあるときに Enter キーを押下した場合、編集状態にする。
- ・画面の表示直後、値の列の一番上のセルを選択状態にする。
- ・カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- ・カラムの並び替えを許可しない。



登録ボタン

- 入力した機関情報をデータベースに追加登録するためのボタン。

キャンセルボタン

- 機関情報の登録を行なわず、画面を閉じるためのボタン。

11-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output
①	特定健診機関番号	(手入力)	健診機関情報データ.特定健診機関番号
	送付元機関	(手入力)	健診機関情報データ.送付元機関
	名称	(手入力)	健診機関情報データ.名称
	郵便番号	(手入力)	健診機関情報データ.郵便番号
	所在地	(手入力)	健診機関情報データ.所在地
	地番方書	(手入力)	健診機関情報データ.地番方書
	電話番号	(手入力)	健診機関情報データ.電話番号

表示と入力チェックは、対応するテーブルの項目の型に合わせて適切に行なうこと。

11-2 処理**11-2-1 登録処理****処理開始タイミング**

ユーザが登録ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) ユーザの入力値を、項目移送表で対応する項目のデータ型と制約に合うようにチェックする。テーブルに追加できない値の場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (2) 登録ボタンを押したことを、呼び出し元が取得できる状態にする。
- (3) 本画面を閉じる。

11-2-2 キャンセル処理**処理開始タイミング**

ユーザがキャンセルボタンを押下する。

処理フロー

- (1) キャンセルボタンを押したことを、呼び出し元が取得できる状態にする。
- 本画面を閉じる。

12 健診パターンメンテナンス

本プログラムは健診機関毎に、健診項目の組み合わせを定義したり、定義済みパターンを修正する為のメンテナンス画面である。ここで定義されたパターンを別画面の結果記入シートで活用される。

12-1 画面レイアウト及び機能

12-1-1 起動時の状態

No.	パターン名称	備考
1	特定健診	
2	特定健診 + 追加の健診	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【ボタン処理の説明】

《新規追加》 … パターンNo.は自動発番（先頭からの空き番号）とし、パターン名称の入力が行えるようにする。パターン名称の入力が終われば、確認メッセージの表示を行い、“はい”が選択された場合、健診パターンマスタへ登録し、編集画面へ遷移する。

《複製》 … 既に登録済みのパターンを別名称にて複製する。

《削除》 … 確認メッセージを表示し、“はい”が選択されれば、選択パターン番号に対応する「健診パターンマスタ」及び「健診パターン詳細」を削除する。

《終了》 … 確認メッセージを表示し、“はい”が選択されればプログラムを終了し、メニュー画面へ戻る。

【処理の流れ】

- ・ 健診パターンマスタより、データを読み込み一覧表示する。表示する項目は「パターンNo.」「パターン名称」及び「備考」の3項目とする。
※ 出荷時には、ユーザーの入力軽減を図る意味で、画面説明図の3項目は予め入力を済ませておく事。「別添資料一② 配布時に初期設定しておくテーブル項目表」の健診パターン詳細の表

に入力しておくべきデータの例があるのでそれを入力しておく。

- ※ 表示されていない項目を選択された場合は、警告メッセージを表示して受け付けないようにする。

12-1-2 パターン編集画面

特定健診システム(仮称)

健診パターンメンテナンス

パターン名 (001) 特定健診	
《選択パターンの内容》	
項目コード	項目名
9N5010000000000	メタボリックシンドローム判定
9N5060000000000	保健指導レベル
9N5110000000000	医師の診断(判定)
9N5160000000000	健診診断を実施した医師の氏名
9N7010000000000	服薬1(血圧)
9N7060000000000	服薬2(血糖)
9N7110000000000	服薬3(脂質)
9N7160000000000	既往歴1(脳血管)
9N7210000000000	既往歴2(心血管)
9N7260000000000	既往歴3(腎不全・人工透析)
9N7310000000000	貧血
9N7360000000000	喫煙
9N7410000000000	20歳からの体重変化
9N7460000000000	30分以上の運動習慣
9N7510000000000	歩行又は身体活動
9N7560000000000	歩行速度
9N7610000000000	1年間の体重変化
9N7660000000000	食べ方1(早食い等)
9N7710000000000	食べ方2(就寝前)
9N7760000000000	食べ方3(夜食/間食)
9N7810000000000	食習慣

《健診項目マスターの内容》

項目コード	項目名
9N0260000000000	肥満度
9N0510000000000	業務歴
3B0700000023271	ALP
3C0150000023271	血清クレアチニン
3C0200000023271	血清尿酸
3A0100000023271	総蛋白
3A0150000023271	アルブミン
3A0160000023271	A/G
5C0950000023023	血清フェリチン
3D0100000019261	空腹時血糖
3D0101299019261	随時血糖
3D0450000019062	HbA1c
1A1000000001911	尿潜血
1A1051607001662	尿沈渣(所見の有無)
1A1051608001662	尿沈渣(所見)
1A0300000001903	比重
2A0400000019301	ヘマトクリット値
2A0300000019301	三差白血球カウント
2A0200000019301	赤血球数
2A0201610019301	貧血検査(実施理由)
2A0600000019301	MCV

← →

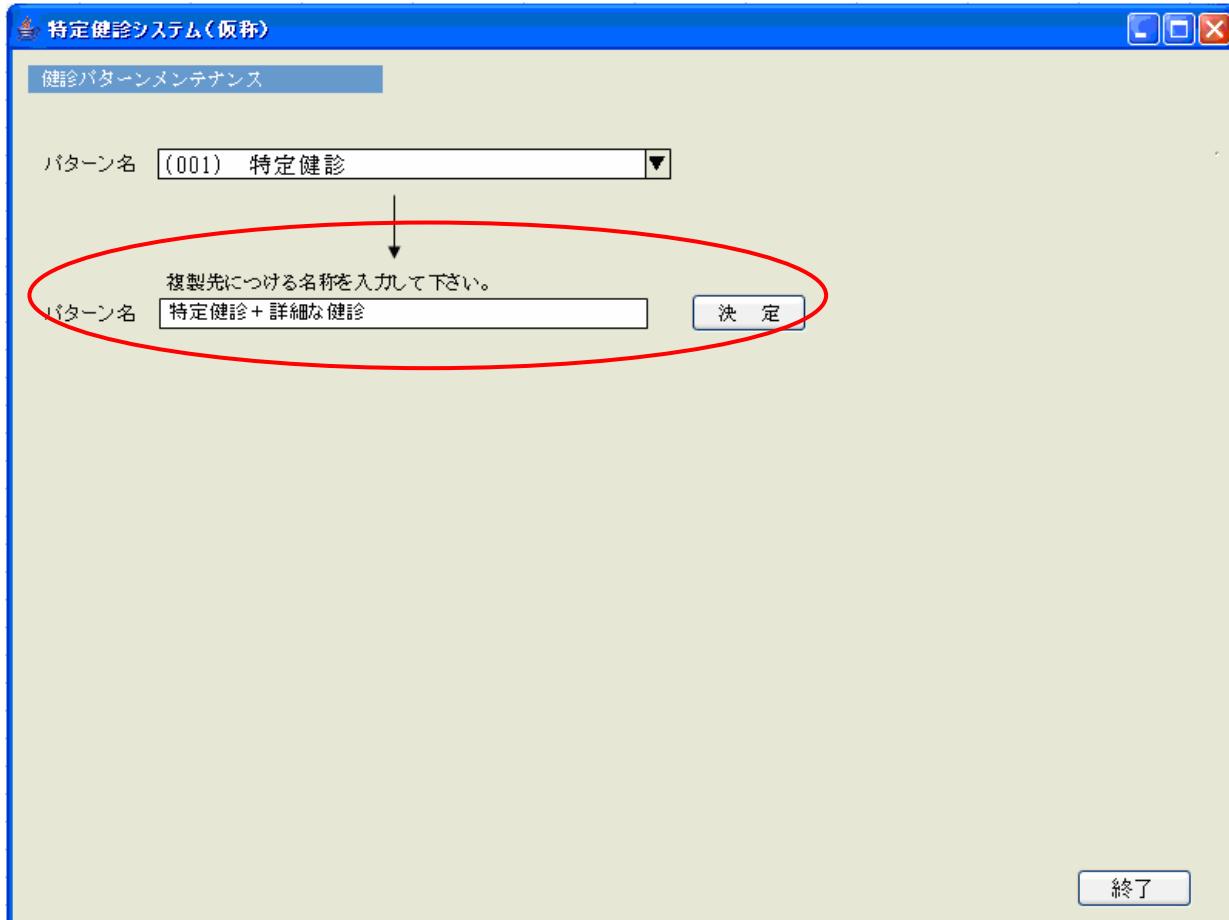
登録 キャセル 終了

【ボタン処理の説明】

- 《←》 … 選択行の内容を左側の枠内の最終行へ追加し、右側の選択行から表示を削除する。
- 《→》 … 選択行の内容を右側の枠内の所定の行へ追加し、左側の選択行から表示を削除する。
- 《登録》 … 健診パターン詳細テーブルへ更新する。
- 《取消》 … 左枠内の表示を消し、右枠内の表示は再度健診項目マスターの内容を再表示し、入力可能な状態にする
- 《終了》 … 確認メッセージを表示し、“はい”が選択されればプログラムを終了し、DBへ更新した上でメンテメニュー画面へ戻る。

【処理の流れ】

- ・ 「パターン名」の欄には、「起動時の状態」で選択もしくは新規で作成されたパターンNo.と名称を表示しておく。
 - ・ 左側の枠には、該当パターン番号に対応する健診パターン詳細テーブルの内容を表示する。
 - ・ 右側の枠には、健診項目マスターの内容を表示しておく。
- ※ 但し、左側の項目と重複するものについては、表示しない。

12-2 パターンの複製画面

- 起動時の画面から、「複製」ボタンが押下されると、赤丸で囲った表示を出す。
- 複製先に付ける名称が入力できる様に入力欄へフォーカスを当てておく。
- 「決定」ボタンが押下された場合、健診パターンマスタの選択元番号を呼び出し、登録するときに、健診パターンNo.を複製先番号に置き換えて登録する。

12-3 項目移送表**12-3-1 起動時の状態での移送**

(移送先 : T_KENSHIN_P_M)

項目No.	項目名	データの取得方法	DB取得元	桁数
①	No.	手入力もしくは新規追加時は自動発番	K_P_NO	3
②	パターン名称	手入力	K_P_NAME	200
③	備考	手入力	BIKOU	200

12-3-2 パターン編集画面での移送表

(移送先 : T_KENSHIN_P_S)

項目No.	項目名	データの取得方法	DB取得元	桁数
①	パターンNo.	起動時の状態で選択されたパターンNo.	K_P_NO	3

②	項目コード	選択パターンの内容にある項目コード	KOUMOKU_CD	17
	項目並び順	更新時常に1オリジンで、以降+1にて自動付番する事。	LOW_ID	3

13 健診項目マスターメンテナンス

本プログラムは特定・追加健診項目に関する下限・上限値、各基準値の入力・修正を行うものである。

13-1 画面レイアウト及び機能

【ボタン処理の説明】

《登録》 … 健診項目マスターへ更新する。

《終了》 … 確認メッセージを表示し、“はい”が選択されれば終了しメニューへ戻る。

【処理の流れ】

- 保険者番号の選択ボックス内に、医療保険者データテーブルよりデータを読出して、保険者番号順に並べ替えを行った状態で項目追加しておく。
表示例：“(保険者番号)▲保険者名称”（※「▲」は全角スペースを表す）
- 選択ボックスからメンテナンスを行う保険者番号を選択する。
- 選択された保険者番号のデータを健診項目マスターテーブルより読み込み、表示する。

※ 必須フラグは、「1:特定健診用 2:その他健診」の数字入力とする。数字入力のチェックを行うこと。

※ “項目コード”、“項目名”的2項目については、表示固定とする。横スクロールした場合に、一緒に表示が移動しないように配慮する事。その上で、項目の横幅については適切な幅に設定しておく事。

※ 登録時に、必須項目の入力チェックを行うこと。

※ 予め入力して整備しておく初期データは、特定健診サイト(<http://tokuteikenshin.jp/>)内にある、

「厚労省手引書付属資料7 (医療保険者への送付用) 2007.12.06版」のxlsファイルにある

「個票(健診情報)071028」を参照し、出荷時に登録しておく事。

13-2 項目移送表**13-2-1 表示画面内の移送**

(移送先 : T_KENSHIN_MASTER)

項目No.	画面上の項目名	データ取得方法	DB上の定義名	桁数
①	項目コード	手入力	KOUMOKU_CD	17
②	項目名	手入力	KOUMOKU_NAME	200
③	必須フラグ	手入力	HISU_FLG	1
④	下限値	手入力	KAGEN	10
⑤	上限値	手入力	JYOUGEN	10
⑥	基準値(共通)	手入力	KIYUNITI_KYOTU	10
⑦	基準値(男性)	手入力	KIYUNITI_DANSEI	10
⑧	基準値(女性)	手入力	KIYUNITI_JYOSEI	10
⑨	単位	手入力	TANI	10
⑩	基準値範囲	手入力	KIYUNTI_HANI	20
⑪	単価	手入力	TANKA_KENSIN	9
⑫	検査方法	手入力	KENSA_HOUHOU	200
⑬	備考	手入力	BIKOU	200

14 医療保険者情報マスタメンテナンス

14-1 機能概要

本プログラムは、医療保険者情報の登録及び修正を行う画面である。

14-2 画面レイアウト及び機能

14-2-1 保険者一覧選択画面

メニューより遷移された状態は下図の表示になる。登録済み保険者の一覧が表示され、その中からメンテナンスを行う保険者を選択し、変更画面へと遷移する。

【機能ボタンの説明】

《決定》 … 一覧の中から選択された保険者を決定し、変更画面へ遷移する。

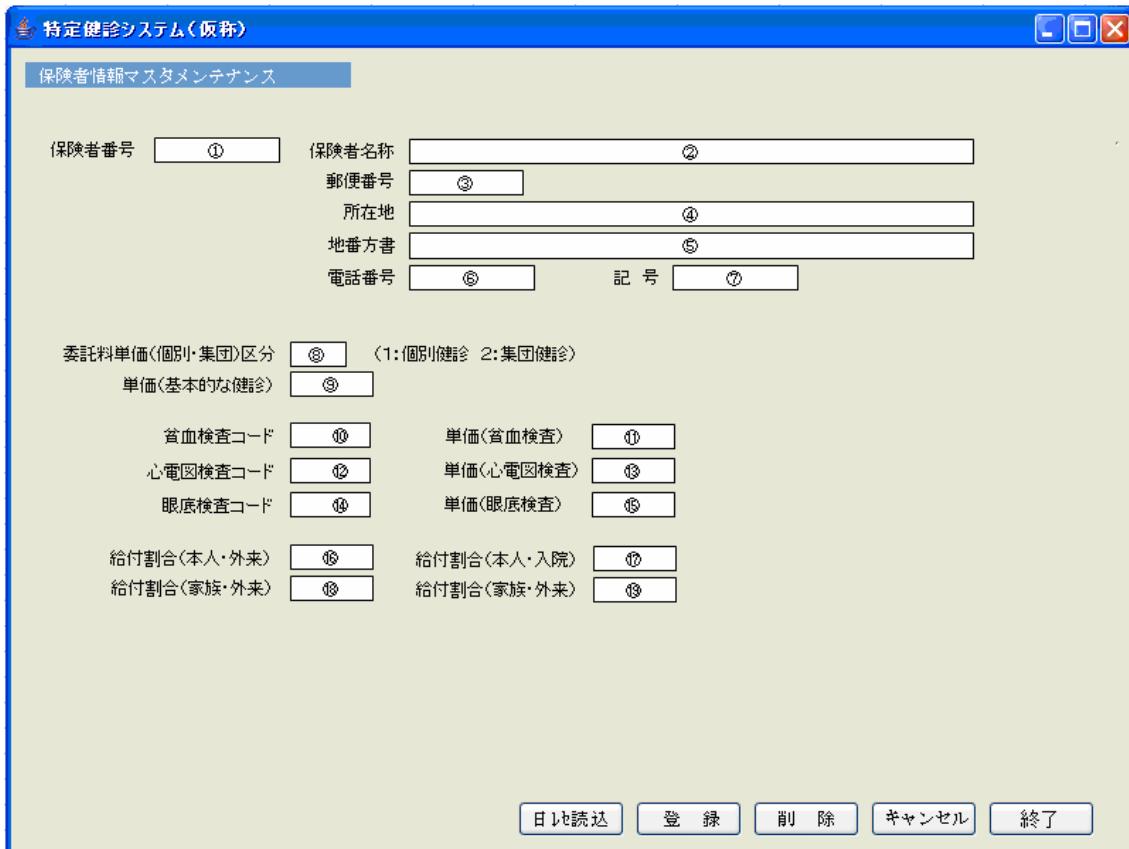
『終了』 … 確認メッセージを表示の上、“はい”が選択されれば、メンテナンスマニュアルへ戻る

【処理の流れ】

- ・ 保険者情報テーブルより、保険者番号順に並べ替えを行いテーブル内全てのデータについて、「保険者番号」「保険者名称」「郵便番号」「所在地」「電話番号」の項目を横に並べて表示する。

14-2-2 保険者情報変更画面

一覧画面から保険者が特定され遷移されてきた時、下図の表示になる。。



【機能ボタンの説明】

- 《日レセ読み》 … 日医標準レセプトソフトと連動可能な場合、このボタンを押すことで日医標準レセプトデータベースから必要な項目を取得して表示させる。
 詳細は、「日医標準レセプト連携について」の項目を参照すること。
 - 《登録》 … 医療保険者情報データへ更新する。更新後は、そのままの状態で待機する。
 - 《削除》 … 確認メッセージを表示の上、“はい”が選択されれば、該当データを削除する。
 削除する際には、医療保険者テーブルと健診項目マスターの当該保険者のデータと一緒に削除すること。
 - 《キャンセル》 … 確認メッセージを表示の上、“はい”が選択されればメンテナンスマニューへ戻る
 - 《終了》 … 確認メッセージを表示の上、“はい”が選択されれば登録の上、メンテナンスマニューへ戻る
- ※ 貧血検査コード、心電図検査コード、眼底検査コードはそれぞれ 1、2、3 を表示しておく。
 コードは現状固定値。

【処理の流れ】

- ・ 保険者番号を入力する。医療保険者情報テーブルより検索を行い、該当があればそれを表示し、無ければ保険者名称ヘフォーカスを当てて入力可能な状態にする。
但し、ここで「日医レセプト連携について」記載通りの処理を行い、連携した結果を表示する。
- ・ 以降、画面表示の項目番号順に入力を進めていく。
- ・ 「**委託料単価区分**」の項目については、入力範囲が決まっている為、入力チェックを行い、不正な数字が入力されないように考慮する事。

※ データ登録時の処理フロー

- ・ 入力された保険者番号で、医療保険者情報テーブルを検索する。
- ・ 検索された結果、該当があれば更新を行い、無ければ追加する。
- ・ 続けて、健診項目マスタから入力された保険者番号で検索する。
- ・ 検索された結果、該当があればそのままにする。無ければ、健診項目マスタから検索キーとして「99999999」を使用し、共通データを読み込んだ上で、入力された保険者番号に置き換え、健診項目マスタへ追加する。

※ 「貧血検査コード」「心電図検査コード」「眼底検査コード」の一覧

コード	名称
1	貧血検査
2	心電図検査
3	眼底検査

■ 画面表示時に、それぞれのコードを表示しておく

14-3 項目移送表

(移送先 : T_HOKENJYA)

項目No.	画面上の項目名	日医レセ連動無	日医レセ連動有	DB上の定義名	桁数
①	保険者番号	手入力	HKNJANUM	HKNJANUM	8
②	保険者名称	手入力	HKNJANAME	HKNJANAME	200
③	郵便番号	手入力	POST	POST	7
④	所在地	手入力	ADRS	ADRS	200
⑤	地番方書	手入力	BANTI	BANTI	200
⑥	電話番号	手入力	TEL	TEL	15
⑦	記号	手入力	KIGO	KIGO	80
⑧	委託料単価(個別・集団)区分	手入力		ITAKU_KBN	1
⑨	単価(基本的な健診)	手入力		TANKA_KIHON	9
⑩	貧血検査コード	固定値		HINKETU_CD	1
⑪	単価(貧血検査)	手入力		TANKA_HINKETU	9
⑫	心電図検査コード	固定値		SINDENZU_CD	1
⑬	単価(心電図検査)	手入力		TANKA_SINDENZU	9
⑭	眼底検査コード	固定値		GANTEI_CD	1
⑮	単価(眼底検査)	手入力		TANKA_GANTEI	9
⑯	給付割合(本人・外来)	手入力	HON_GAKYURATE	HON_GAKYURATE	6
⑰	給付割合(本人・入院)	手入力	HON_NYUKYURATE	HON_NYUKYURATE	6
⑱	給付割合(家族・外来)	手入力	KZK_GAIKYURATE	KZK_GAIKYURATE	6
⑲	給付割合(家族・入院)	手入力	KZK_NYUKYURATE	KZK_NYUKYURATE	6

15 検査機関検査項目コードマスターメンテナンス

本プログラムは、検査機関から提出されるデータについて、独自に付加されている項目コードを JLAC10 コードに変換することができるようとする為のマスタメンテナンス画面である。

15-1 画面レイアウト及び機能

【ボタン機能の説明】

- 《新規追加》 … 新しい検査センターコードを追加登録する。

《登録》 … 検査センター項目マスタへ更新する。画面はそのまま待機しておく。

《削除》 … 「削除」ボタンが押下された場合は、検査結果データ特定テーブルから検査センターコードによるデータ検索を行い、該当が無かった場合のみ検査センタ項目マスタからそのエントリーを削除すること。該当があった場合は、警告メッセージを表示し、エントリーの削除は行わないこと。

【処理の流れ】

《共通の処理》

- ・ 検査センタ項目マスタから、検査センターコードと名称をグループ化した上で読み出し、検査センターコードの順で「①」の選択ボックス内に表示しておく。

《新規入力ボタンが押されない場合》

- ・ 検査センタコードを選択ボックスより選択する。
- ・ 選択されたコードに対して、検査センタ項目マスタから検索を行う。
 - ※ 検索結果によって下記の動作を行う。
 - 【検索有】 … 読込み表示を行う。
 - 【検索無】 … 健診項目マスタから、項目コード及び項目名を取得し、画面表示上の「項目コード(JLAC10)」と「項目名」へそれぞれ表示させる。

《新規入力ボタンが押された場合》

- ・ 検査センタ名称ヘフォーカスを当て、名称が入力できる状態にする。
- ・ 名称の入力が終わり、Enterキーが押下されれば、健診項目マスタから、項目コード及び項目名を取得し、画面表示上の「項目コード(JLAC10)」と「項目名」へそれぞれ表示させる。
 - ※ 項目コード(JLAC10)項目名の修正が行えないようにしておくこと。

15-2 画面サンプル



検査センター独自のコードを項目コード(JLAC10)に紐付けして下さい。

検査センター 項目コード	項目コード (JLAC10)	項目名
10001	9N001000000000001	身長
10002	9N006000000000001	体重
10003	9N011000000000001	BMI
10004	9N016160100000001	腹囲(実測)
10005	9N016160200000001	腹囲(自己判定)
10006	9N016160300000001	腹囲(自己申告)
10010	9N021000000000001	内臓脂肪面積
10011	9N026000000000002	肥満度
10012	9N051000000000049	柔軟性
10013	9N056000000000011	既往歴
10014	9N056160400000049	(具体的な既往歴)
10015	9N061000000000011	自覚症状
10016	9N061160800000049	(所見)
10017	9N066000000000011	他覚症状
10018	9N066160800000049	(所見)
10019	9N071000000000049	その他(家族歴等)
10020	9N076000000000049	視診(口腔内含む)
10021	9N081000000000049	打聽診
10022	9N086000000000049	触診(関節可動域含む)
10023	9N091000000000001	反復唾液嚥下テスト
10024	9A751000000000001	収縮期血圧(1回目)

登録 削除 キャンセル 終了

15-3 項目移送表

(移送先 : T_KENSACENTER_MASTER)

No.	画面上の項目名	データ取得方法	DB上の定義名	桁数
①	検査センターコード	選択ボックスより選択	KENSA_CENTER_CD	20
②	検査センタ名称	新規入力時のみ手入力	CENTER_NAME	200
③	検査センタ項目コード	手入力	CENTER_KOUMOKU_CD	5
	項目コード(JLAC10)	健診項目マスターから自動入力	KOUMOKU_NAME	200
	項目名		KOUMOKU_CD	17

※ 新規入力時の検査センターコードの取得については、先頭からの空き番号を取得し、それをキーとする。

16 支払代行マスターメンテナンス

16-1 マスタメンテ画面

16-1-1 画面デザイン

16-1-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- 支払代行機関情報のメンテナンス（追加、削除、変更）を行なう画面。
- 本システムの規定フォームを使用する。

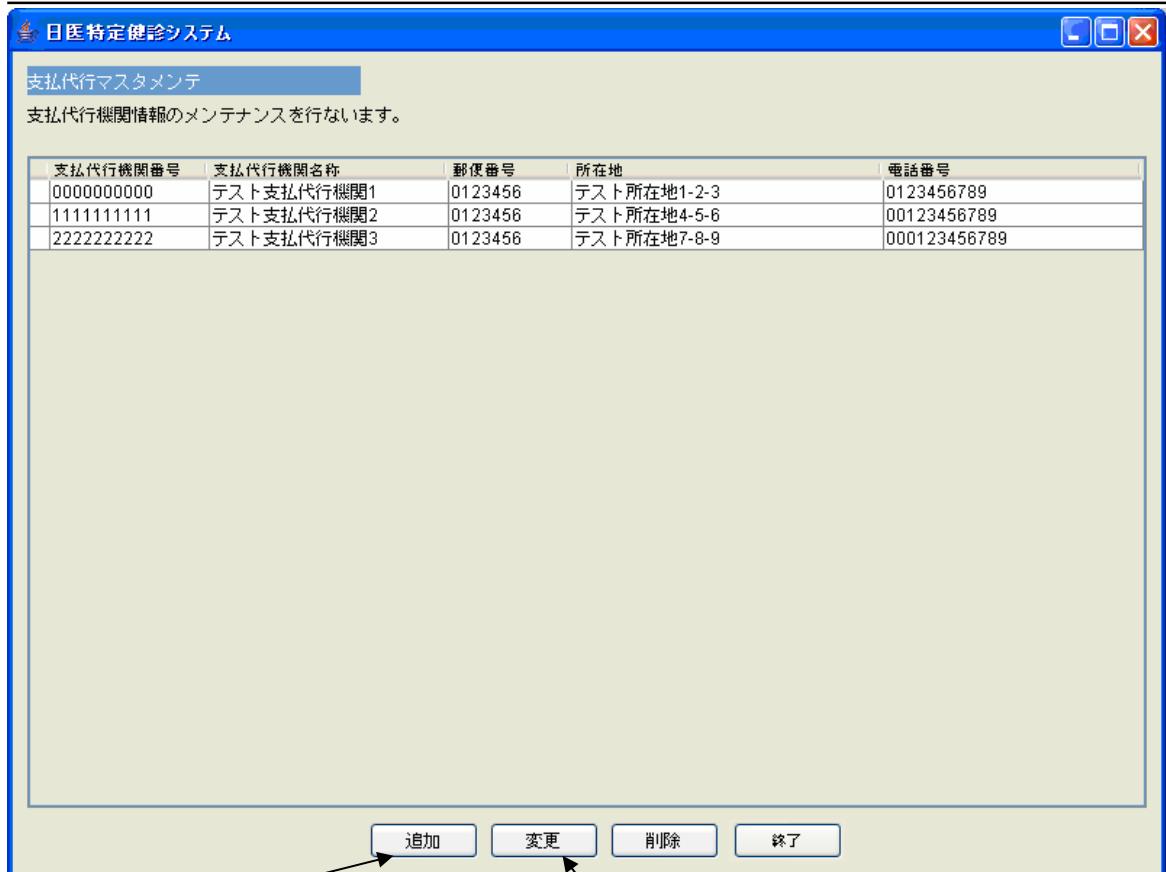
The screenshot shows a Windows application window titled '日医特定健診システム' (Nippon Medical Specific Health Examination System). The main title bar is '支払代行マスタメンテ' (ShiPaiDaXing Master Maintenance). Below the title bar, a message box displays the text: '支払代行機関情報のメンテナンスを行ないます。' (Performing maintenance on payment agency information). The main content area is a table grid with the following columns: '支払代行機関番号' (Payment Agency ID), '支払代行機関名称' (Payment Agency Name), '郵便番号' (Postal Code), '所在地' (Address), and '電話番号' (Phone Number). The data in the grid is as follows:

支払代行機関番号	支払代行機関名称	郵便番号	所在地	電話番号
0000000000	テスト支払代行機関1	0123456	テスト所在地1-2-3	0123456789
1111111111	テスト支払代行機関2	0123456	テスト所在地4-5-6	00123456789
2222222222	テスト支払代行機関3	0123456	テスト所在地7-8-9	000123456789

At the bottom of the window, there are four buttons: '追加' (Add), '変更' (Change), '削除' (Delete), and '終了' (End).

① 支払代行機関一覧表

- 支払代行機関の一覧を表示するための表。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択を可能にする。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、追加ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- データを持つセルの任意の場所をダブルクリックすると、支払代行機関情報変更画面を表示する。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。
- 各セルの編集を許可しない。
- 選択中の行の左端の列の値を「V」にする。
- 選択されていない行の左端の列の値を空にする。

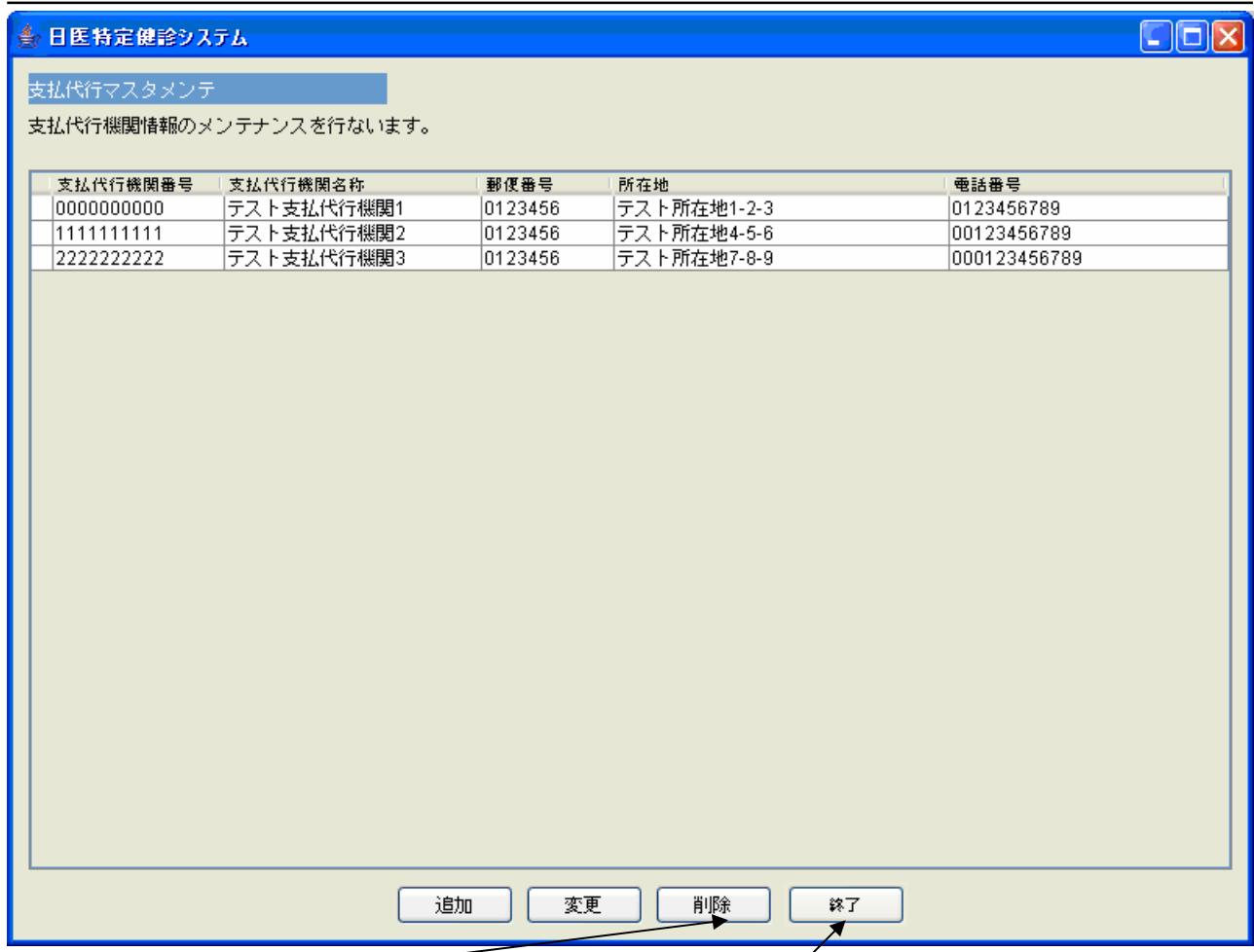


追加ボタン

- 支払代行機関情報の追加を行うためのボタン。
- ユーザが押下したとき、支払代行機関登録画面を表示する。

変更ボタン

- 支払代行機関情報の変更を行なうためのボタン。
- 初期状態は無効状態。
- 支払代行機関一覧表で 1 行だけを選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- 上記以外の場合は、無効状態にする。
- ユーザが押下したとき、支払代行機関登録画面を表示する。



削除ボタン

- 支払代行機関情報の削除を行なうためのボタン。
- 初期状態は無効状態。
- 支払代行機関一覧表で1行以上選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- 上記以外の場合は、無効状態にする。

終了ボタン

- 支払代行機関情報のメンテナンスを終了するためのボタン。
- ユーザが押下したとき、本画面を閉じる。

16-1-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input/Output
①	支払代行機関番号	支払代行データ.支払代行機関番号
	支払代行機関名称	支払代行データ.支払代行機関名称
	郵便番号	支払代行データ.郵便番号
	所在地	支払代行データ.所在地
	電話番号	支払代行データ.電話番号

16-1-2 処理**16-1-2-1 初期化処理****処理フロー**

- (1) 支払代行機関一覧表のデータをクリアする。
- (2) 項目移送表の Input の値を取得する。
- (3) 取得に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (4) 取得した値を支払代行機関一覧表に追加する。

16-1-2-2 追加処理**処理開始タイミング**

ユーザが追加ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 支払代行機関登録画面に初期値を設定する。
- (2) 支払代行機関登録画面をモーダルで表示する。
- (3) 支払代行機関登録画面で登録ボタンを押して画面を閉じた場合は、入力値をテーブルに追加する。
- (4) 支払代行機関登録画面で登録ボタンを押さずに画面を閉じた場合は、テーブルを更新しない。

16-1-2-3 変更処理**処理開始タイミング**

ユーザが変更ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 支払代行機関登録画面の各入力欄に項目移送表で対応する項目から値を取得した値をセットする。
- (2) 支払代行機関登録画面をモーダルで表示する。
- (3) 支払代行機関登録画面で登録ボタンを押して画面を閉じた場合は、入力値をテーブルに追加する。
- (4) 支払代行機関登録画面で登録ボタンを押さずに画面を閉じた場合は、テーブルを更新しない。

16-1-2-4 終了処理**処理開始タイミング**

ユーザが閉じるボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 本画面を閉じる。

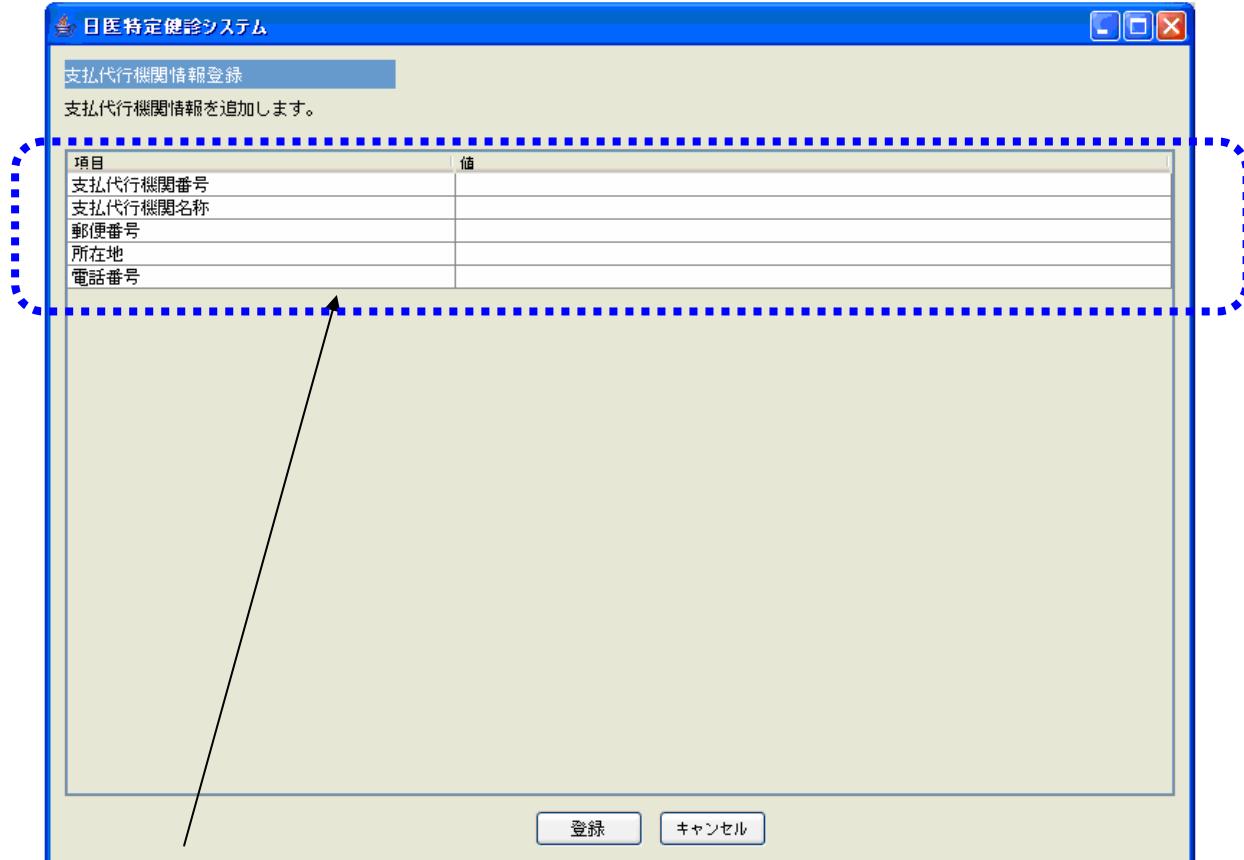
16-2 支払代行情報登録画面

16-2-1 画面デザイン

16-2-1-1 各部名称、役割、動作

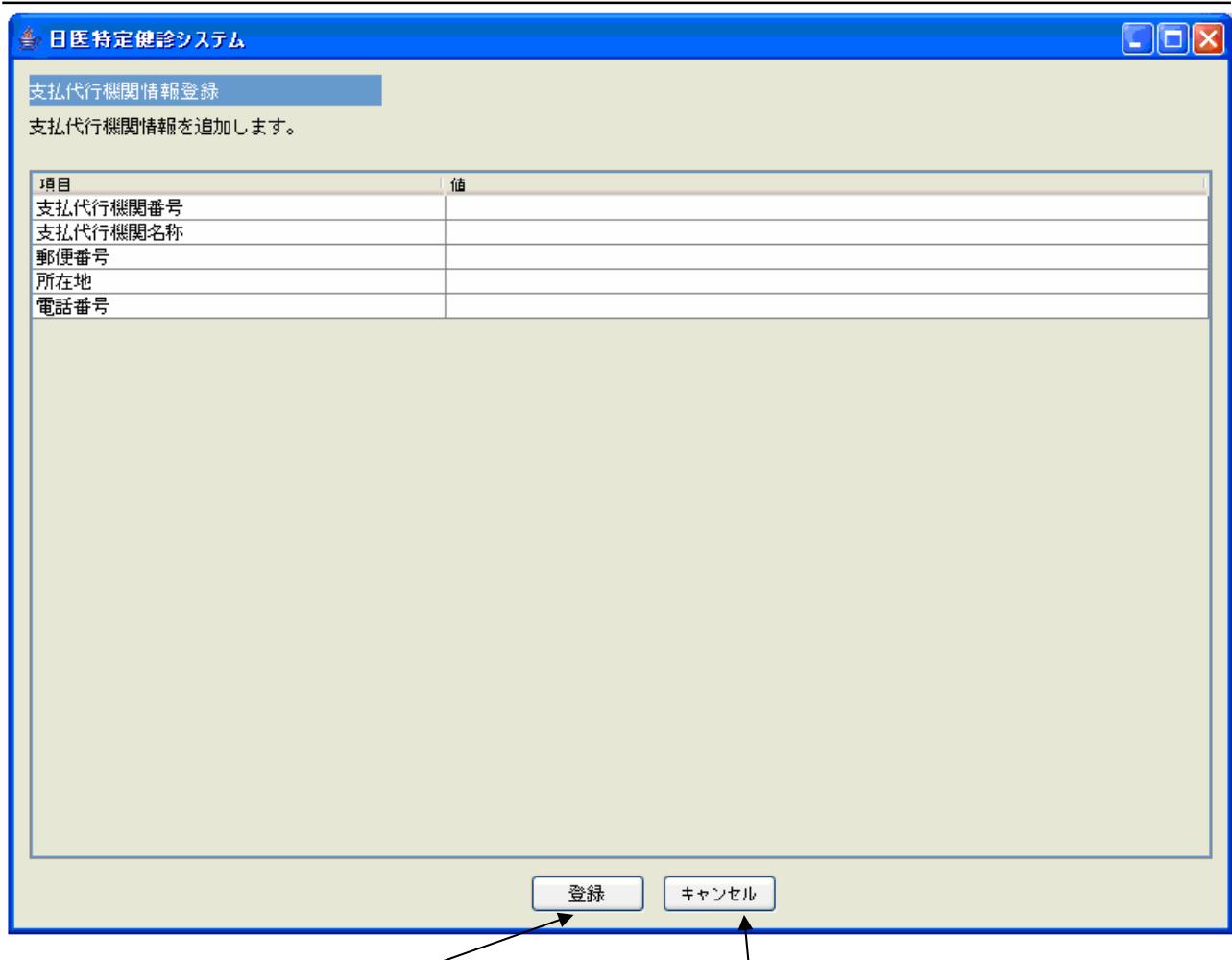
画面全体

- 支払代行機関情報の登録（追加、変更）を行なう画面。
- 本システムの規定フォームを使用する。



① 支払代行機関情報一覧表

- 支払代行機関の情報の一覧を表示するための表。
- 項目名の列のセルは編集不可。
- 支払代行情報追加処理の場合、値のセルは編集可能。
- 支払代行情報変更処理の場合、支払代行機関番号の値の列のセルは編集不可。それ以外の値のセルは編集可能。
- ユーザがセルをダブルクリックするか、セルにフォーカスがあるときに Enter キーを押下したとき、編集状態にする。
- 画面の表示直後、値の列の一番上のセルを選択状態にする。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。



登録ボタン

- 入力した機関情報をデータベースに登録するためのボタン。

キャンセルボタン

- 入力した機関情報の登録を行なわず、画面を閉じるためのボタン。

16-2-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input/Output
①	支払代行機関番号	支払代行データ.支払代行機関番号
	支払代行機関名称	支払代行データ.支払代行機関名称
	郵便番号	支払代行データ.郵便番号
	所在地	支払代行データ.所在地
	電話番号	支払代行データ.電話番号

表示と入力チェックは、対応するテーブルの項目のデータ型と制約に合わせて適切に行なうこと。

16-2-2 処理**16-2-2-1 登録処理****処理開始タイミング**

ユーザが登録ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) ユーザの入力値を、項目移送表で対応する項目のデータ型と制約に合うようにチェックする。テーブルに追加できない値の場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (2) 登録ボタンを押したことを、呼び出し元が取得できる状態にする。
- (3) 本画面を閉じる。

16-2-2-2 キャンセル処理**処理開始タイミング**

ユーザがキャンセルボタンを押下する。

処理フロー

- (1) キャンセルボタンを押したことを、呼び出し元が取得できる状態にする。
- (2) 本画面を閉じる。

17 システム利用者メンテナンス

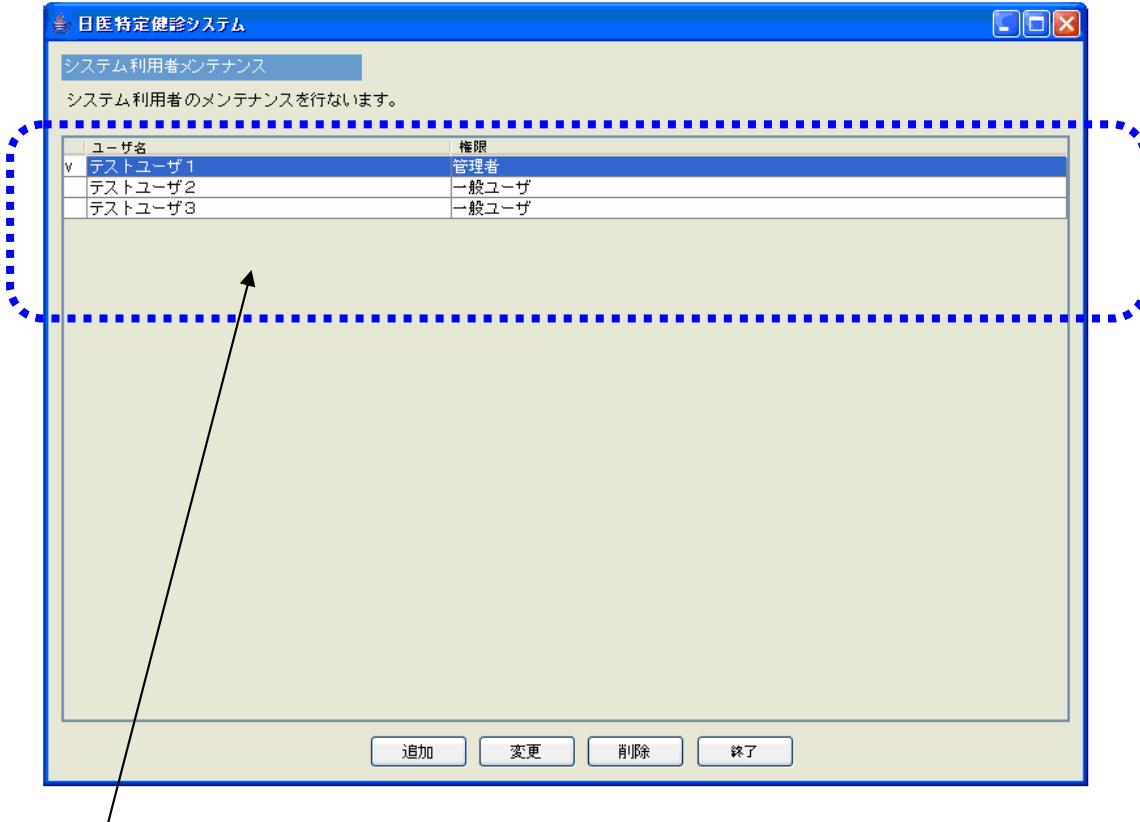
17-1 メンテナンス画面

17-1-1 画面デザイン

17-1-1-1 各部名称、役割、動作

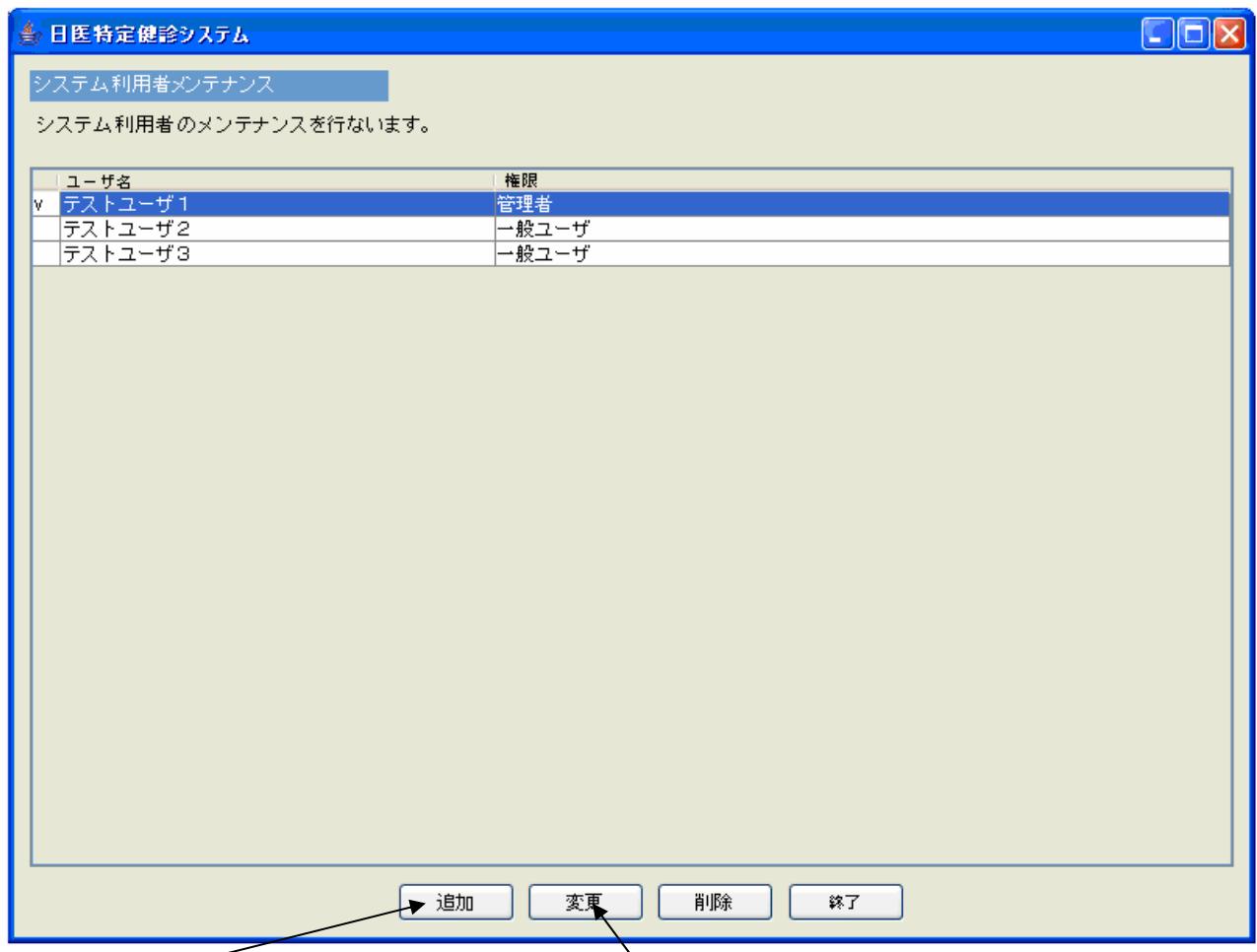
画面全体

- 特定健診システムの利用者情報のメンテナンス（追加、削除、変更）を行なう画面。
- 管理者権限を持つユーザが利用する。
- 本システムの規定フォームを使用する。



①ユーザー一覧表(説明 1)

- その機関に登録されているユーザ名の一覧を表示するための表。
- ユーザ名、権限を表示する。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択が可能。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、追加ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- セルの任意の場所をダブルクリックすると、ユーザ情報変更画面を表示する。
- 行を選択中に Enter キーを押下すると、ユーザ情報変更画面を表示する。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。
- 各セルの編集を許可しない。
- 選択中の行の左端の列の値を「V」にする。
- 選択されていない行の左端の列の値を空にする。

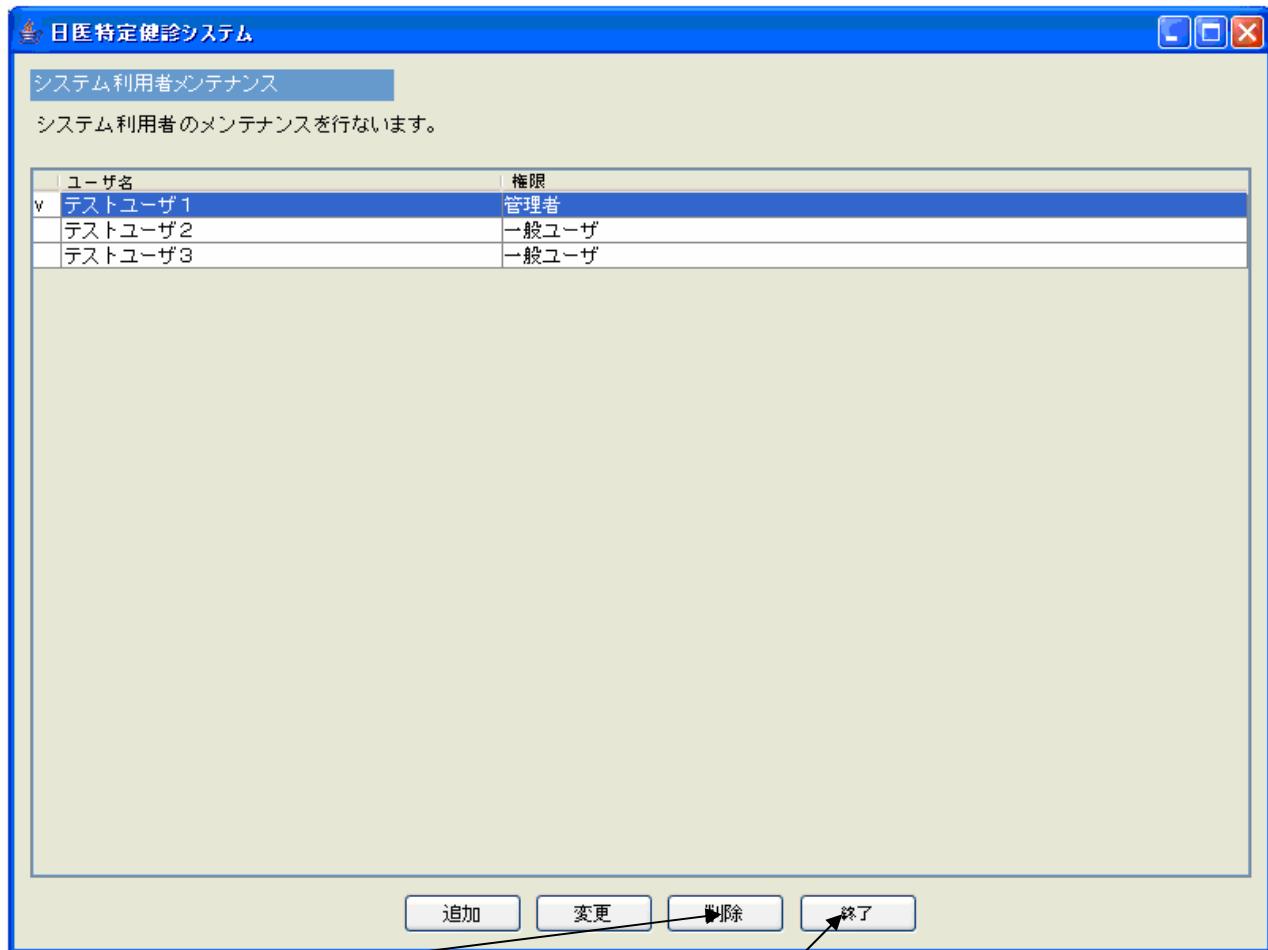


追加ボタン

- ユーザの追加を行なうためのボタン。
- ユーザが押下したとき、ユーザ情報登録画面を表示する。

変更ボタン

- ユーザ情報の変更を行なうためのボタン。
- 初期状態は無効状態。
- ユーザ一覧表で 1 行だけを選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- 上記以外の場合は、無効状態にする。
- ユーザが押下したとき、ユーザ情報登録画面を表示する。



削除ボタン

- ユーザ情報の削除を行なうためのボタン。
- 初期状態は無効状態。
- ユーザー一覧表で 1 行以上を選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- 上記以外の場合は、無効状態にする。

※管理者は最低一人必要なので、最後の管理者は削除できないようにする。

終了ボタン

- ユーザ情報のメンテナンスを終了するためのボタン。
- 押下したとき、本画面を閉じる。

17-1-1-2 項目移送表

項目名称	Input/Output	備考
ユーザ名	(機関DB) ユーザ管理データ.ユーザ名	
パスワード	(機関DB) ユーザ管理データ.パスワード	画面上にはパスワードを表示しない。
権限	(機関DB) ユーザ管理データ.権限	

17-1-1-3 権限

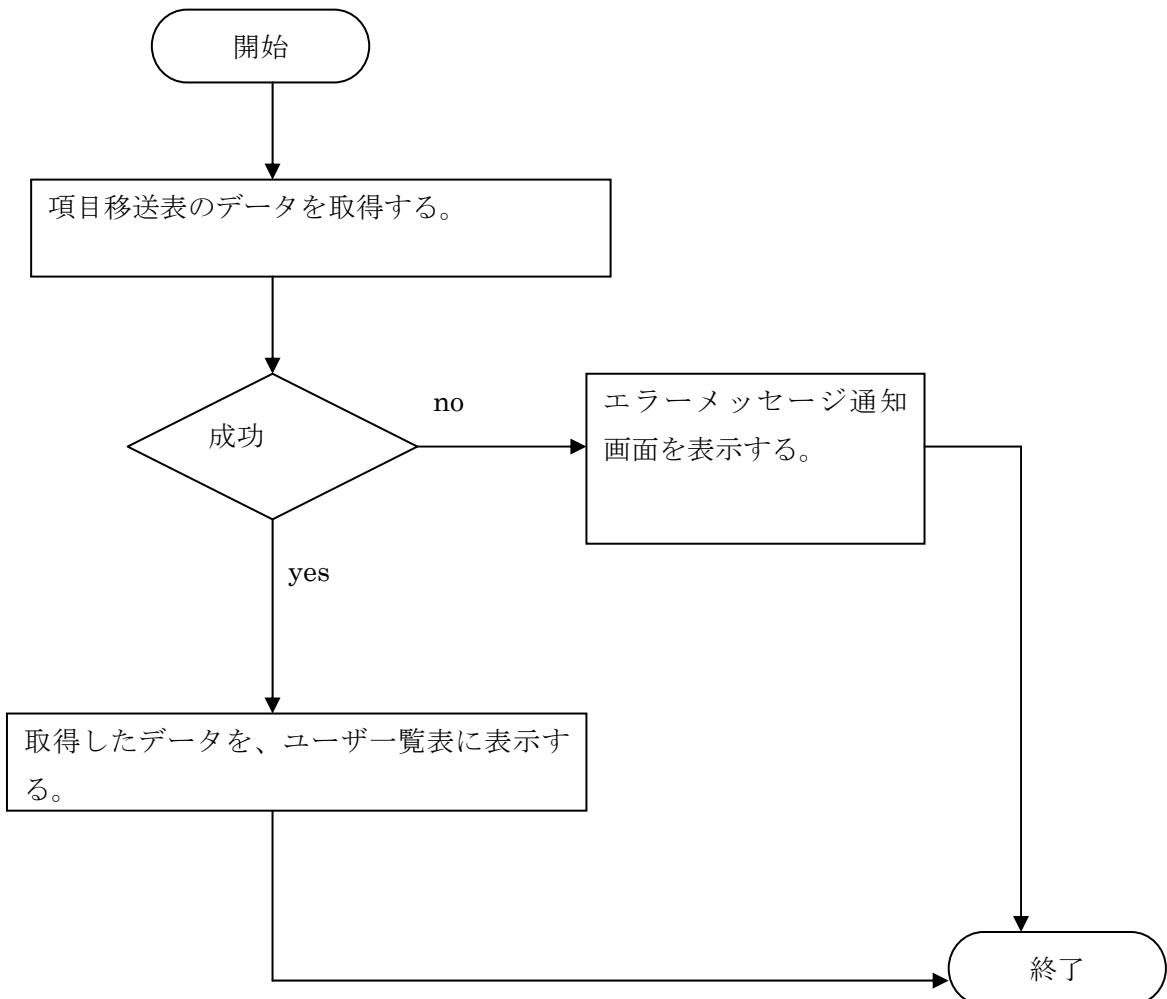
権限の定義を以下に記載する。

項目番	権限名	表示名	値	説明
1	管理者	管理者	1	機関毎の管理を行なう権限。
2	一般ユーザ	一般ユーザ	2	本システムの一般的な権限

機関 DB のユーザ管理データ.権限に、「値」列の値を使用する。

17-1-2 処理**17-1-2-1 初期化処理****処理開始タイミング**

画面表示処理呼び出し後、画面を表示する前。

処理フロー

17-1-2-2 追加処理**処理開始タイミング**

ユーザが追加ボタンを押下する。

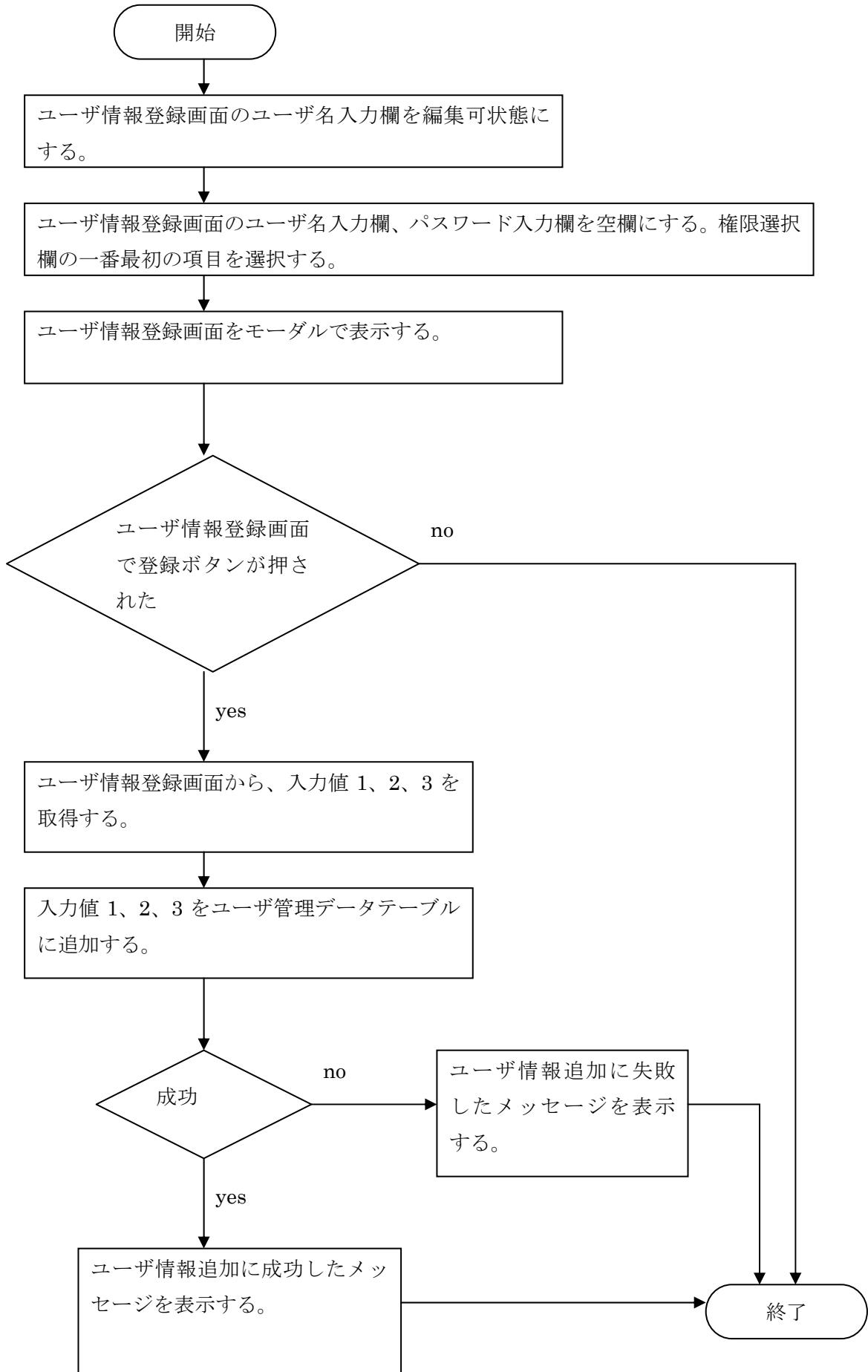
入力値一覧

項目番号	画面名	入力値名称	備考
1	ユーザ情報登録	ユーザ名	
2	ユーザ情報登録	パスワード	
3	ユーザ情報登録	権限	

テーブル項目一覧

項目番号	データベース名	テーブル名	項目名
1	機関DB	ユーザ管理データ	ユーザ名
2	機関DB	ユーザ管理データ	パスワード
3	機関DB	ユーザ管理データ	権限

処理フロー



17-1-2-3 変更処理**処理開始タイミング**

- ユーザが変更ボタンを押下する。
- データを持つ任意のセルをダブルクリックする。
- 1行を選択しているときに、Enter キーを押下する。

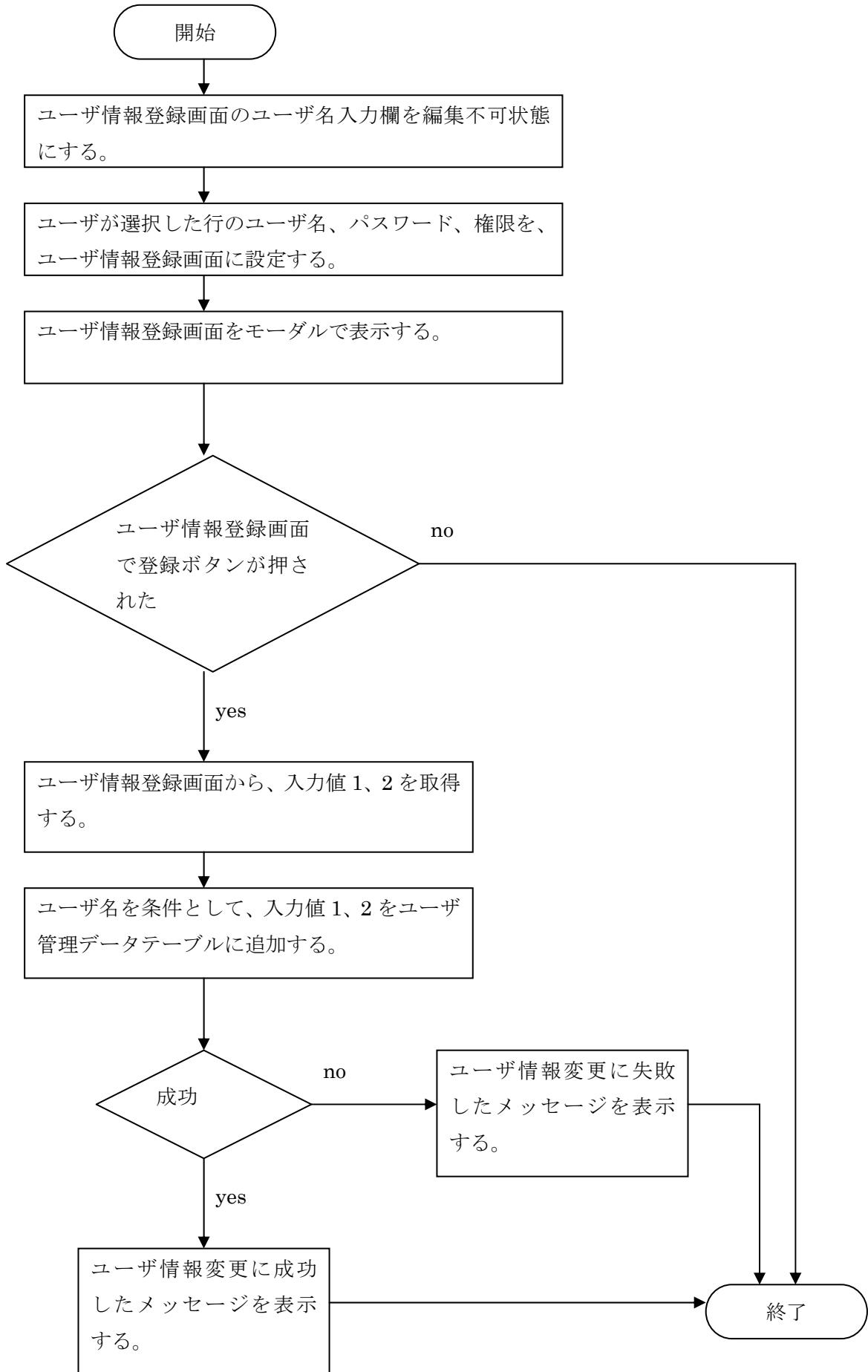
入力値一覧

項目番	画面名	入力値名称	備考
1	ユーザ情報登録	パスワード	
2	ユーザ情報登録	権限	

テーブル項目一覧

項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	機関DB	ユーザ管理データ	ユーザ名
2	機関DB	ユーザ管理データ	パスワード
3	機関DB	ユーザ管理データ	権限

処理フロー



17-1-2-4 削除処理**処理開始タイミング**

ユーザが削除ボタンを押下する。

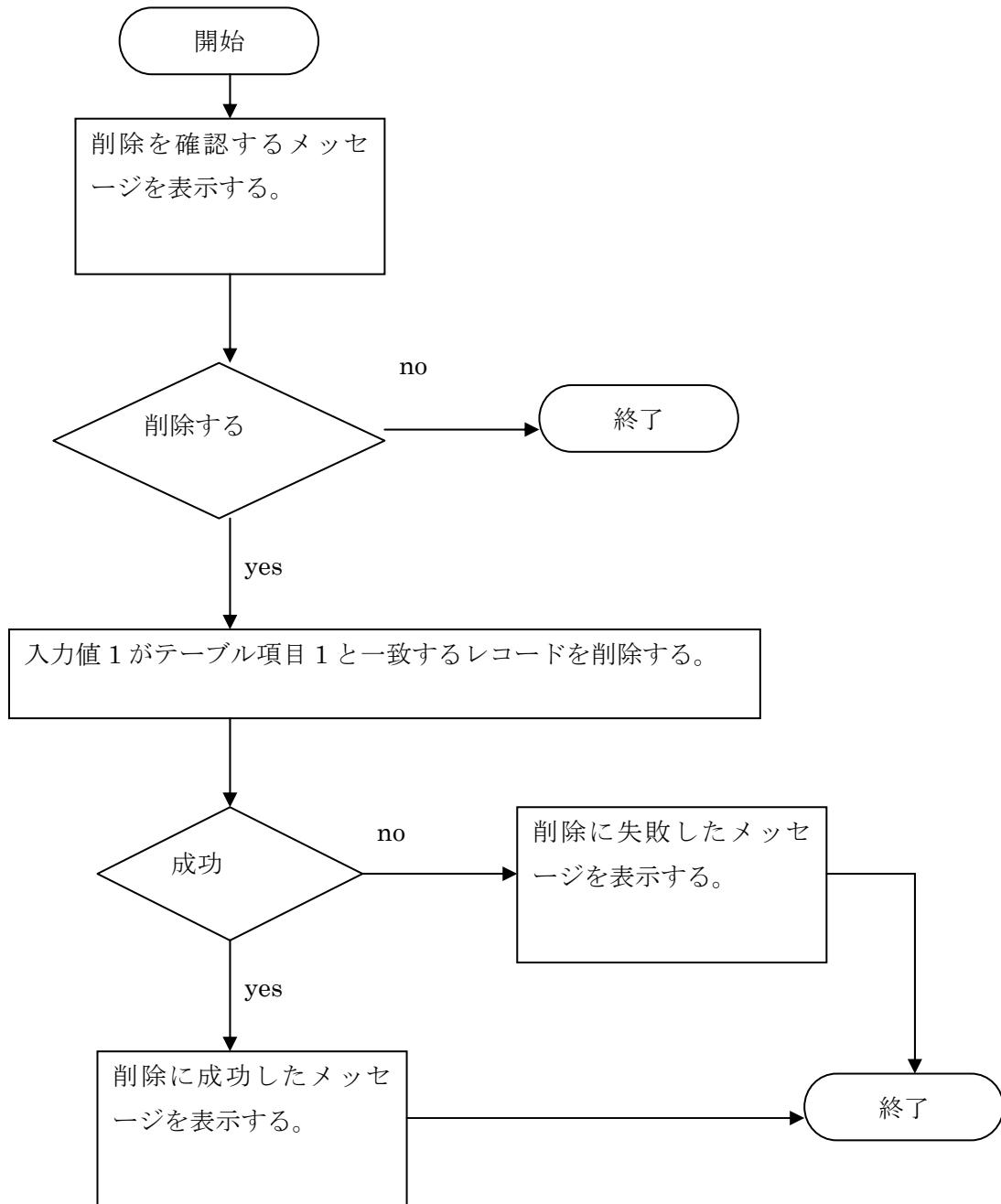
入力値一覧

項目番	画面名	入力値名称	備考
1	ユーザ情報登録	ユーザ名	
2	ユーザ情報登録	パスワード	
3	ユーザ情報登録	権限	

テーブル項目一覧

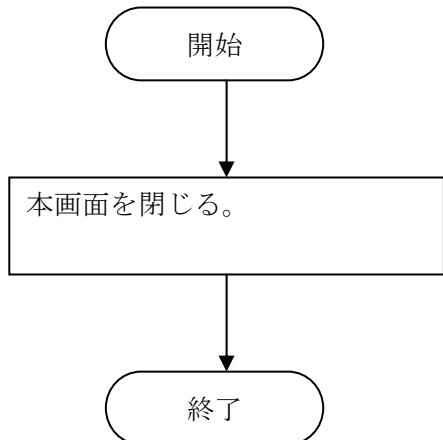
項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	機関DB	ユーザ管理データ	ユーザ名
2	機関DB	ユーザ管理データ	パスワード
3	機関DB	ユーザ管理データ	権限

処理フロー



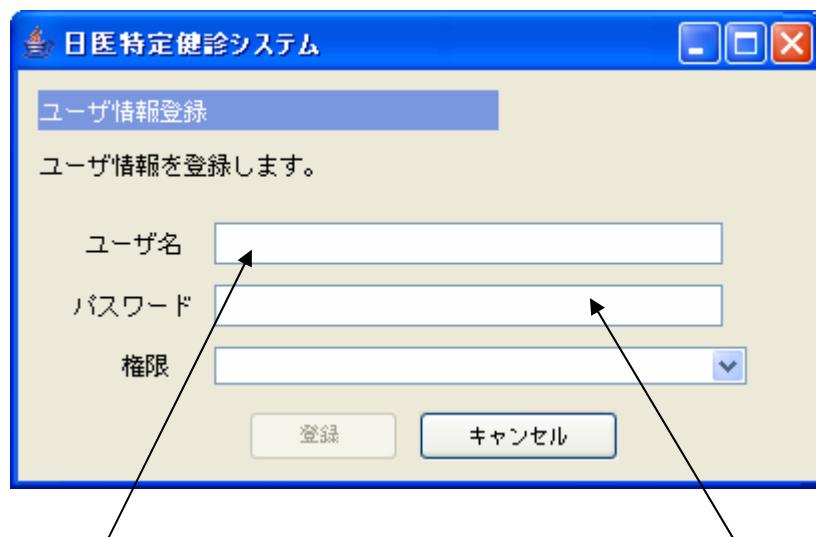
17-1-2-5 終了処理**処理開始タイミング**

ユーザが閉じるボタンを押下する。

処理フロー

17-2 ユーザ情報登録画面**17-2-1 画面デザイン****17-2-1-1 各部名称、役割、動作****画面全体**

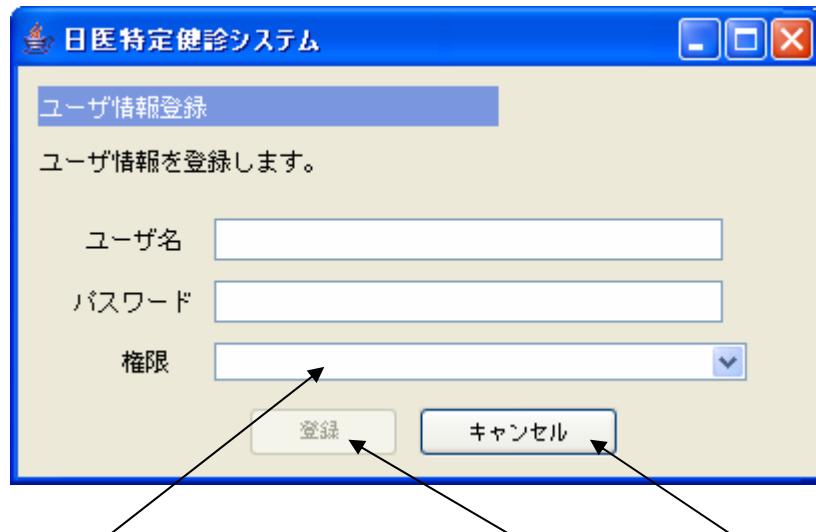
- 登録するためのユーザ情報を入力する画面。
- 管理者権限を持つユーザが利用する。
- 表示直後、ユーザ情報追加処理の場合は、ユーザ名入力欄にフォーカスを設定する。
ユーザ情報変更処理の場合はパスワード欄にフォーカスを設定する。
- ユーザは、画面の最大化、最小化、サイズ変更を行なうことができる。
- 最大化、または画面サイズ変更後、使用上問題が発生しないように適切にレイアウトを変更する。
- 画面サイズを小さく変更したときに、レイアウトが崩れないよう、画面の最小サイズを設定する。

**①ユーザ名入力欄**

- ユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- ユーザ情報追加処理の場合は、編集可能状態にする。
- ユーザ情報変更処理の場合は、編集不可状態にする。

②パスワード入力欄

- ユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- 入力した文字を「*」(アスタリスク)で表示する。
- 入力された文字を、ユーザがコピーできないようにする。
- Enterキーを押下すると、権限選択欄にフォーカスが移動する。



③権限設定欄

- 権限を選択するためのボタン。
- テキストの編集は不可。
- 非選択（何も選択していない）状態を許可しない。
- 「4-2 権限」の表の全ての表示名を選択可能項目とする。
- 選択項目を実装時に固定し、動的な変更を行なわない。

キャンセルボタン

- ユーザ情報のメンテナンス操作をキャンセルするためのボタン。
- ユーザが押下したとき、本画面を閉じる。

登録ボタン

- ユーザ情報を登録（追加、変更）するためのボタン。
- ユーザ名入力欄またはパスワード入力欄が空欄の場合は、このボタンを無効にする。
- ユーザ名入力欄とパスワード入力欄の両方が空欄でない場合は、このボタンを有効にする。
- 押下すると、入力値をチェックした後、本画面を閉じる。
- データベースの追加、更新処理は、本画面の呼び出し元で行なう。

表示例 1 (ユーザ情報追加処理)

表示例 2 (ユーザ情報変更処理)

17-2-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input/Output	備考
①	ユーザ名	(機関DB)ユーザ管理データ.ユーザ名	
②	パスワード	(機関DB)ユーザ管理データ.パスワード	
③	権限	(機関DB)ユーザ管理データ.権限	

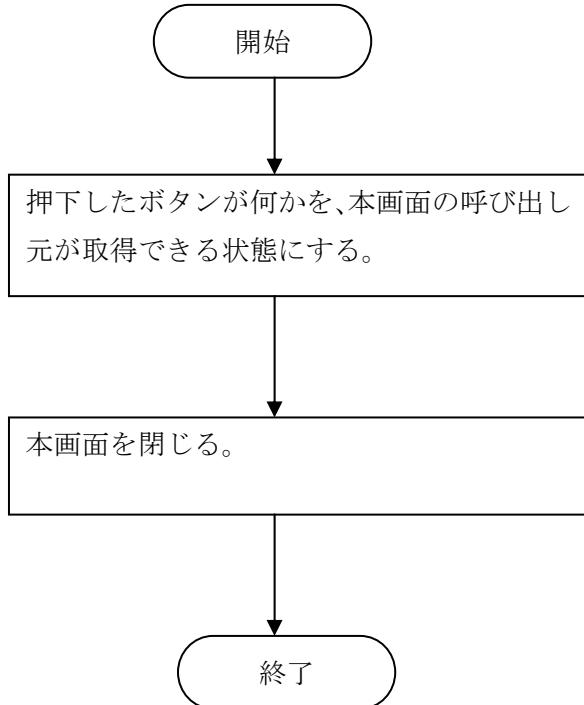
17-2-2 処理

17-2-2-1 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが、登録ボタンかキャンセルボタンを押下する。

処理フロー



18 複数機関情報メンテナンス

18-1 画面デザイン

18-1-1 各部名称、役割、動作

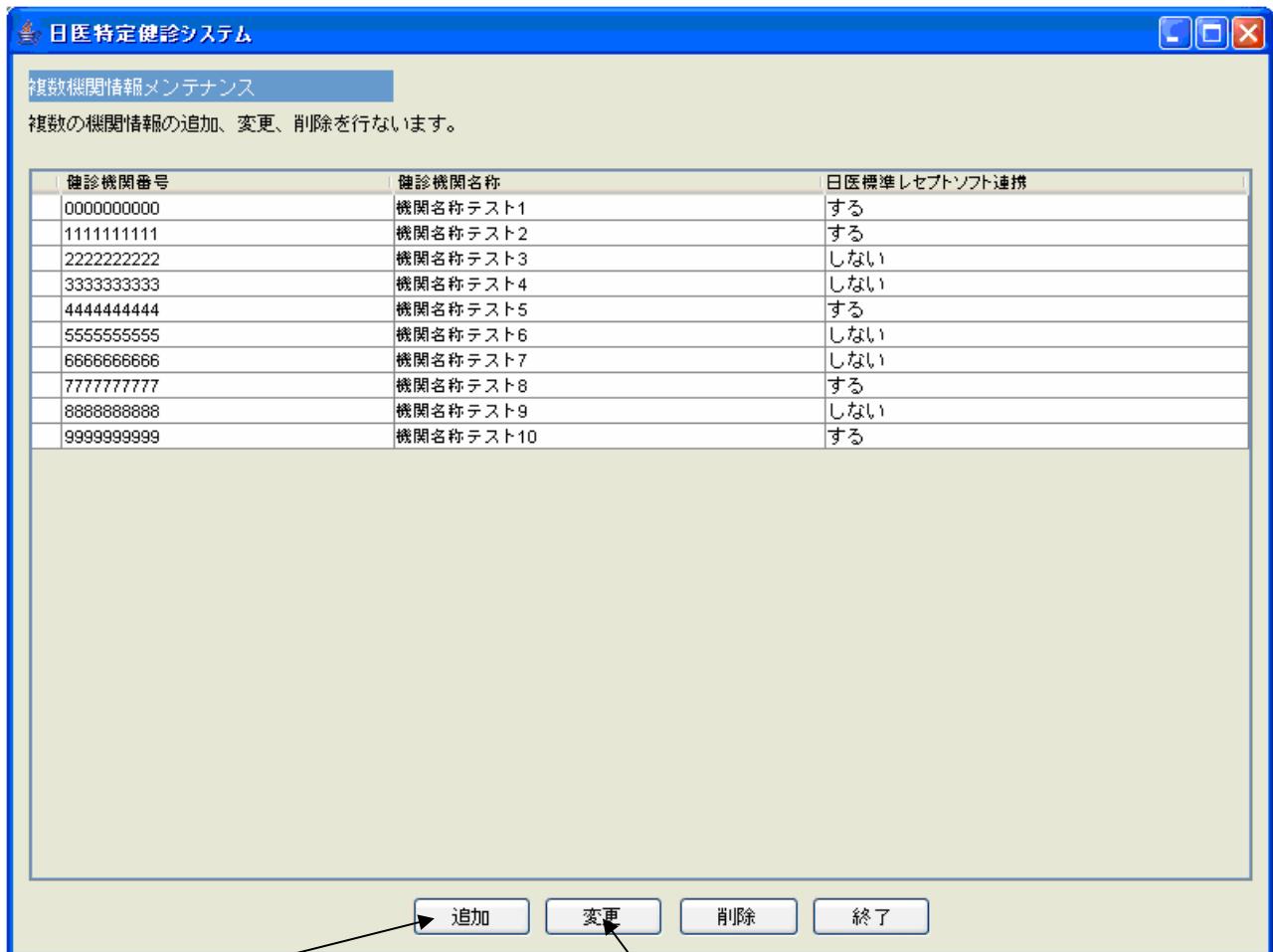
画面全体

- 複数の機関のメンテナンス（追加、削除、変更）を行なう画面。
- 通常、本システムを2件以上の機関で利用するときに使用する。
- システムDB側のメンテナンスを行なう。本システムのDB構成については、別添資料「特定健診DB詳細設計書」のP.4「1. 特定健診DB詳細設計について」を参照する。
- システム管理者権限を持つユーザが利用できる。
- 本システムの規定フォームを使用する。

健診機関番号	健診機関名称	日医標準レセプトソフト連携
0000000000	機関名称テスト1	する
1111111111	機関名称テスト2	する
2222222222	機関名称テスト3	しない
3333333333	機関名称テスト4	しない
4444444444	機関名称テスト5	する
5555555555	機関名称テスト6	しない
6666666666	機関名称テスト7	しない
7777777777	機関名称テスト8	する
8888888888	機関名称テスト9	しない
9999999999	機関名称テスト10	する

機関一覧表

- ユーザが機関番号と機関名称を確認するための表。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択が可能。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、追加ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- セルの任意の場所をダブルクリックすると、その機関の機関情報変更画面を表示する。
- 行を選択中にEnterキーを押下すると、その機関の機関情報変更画面を表示する。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。
- 各セルの編集を許可しない。

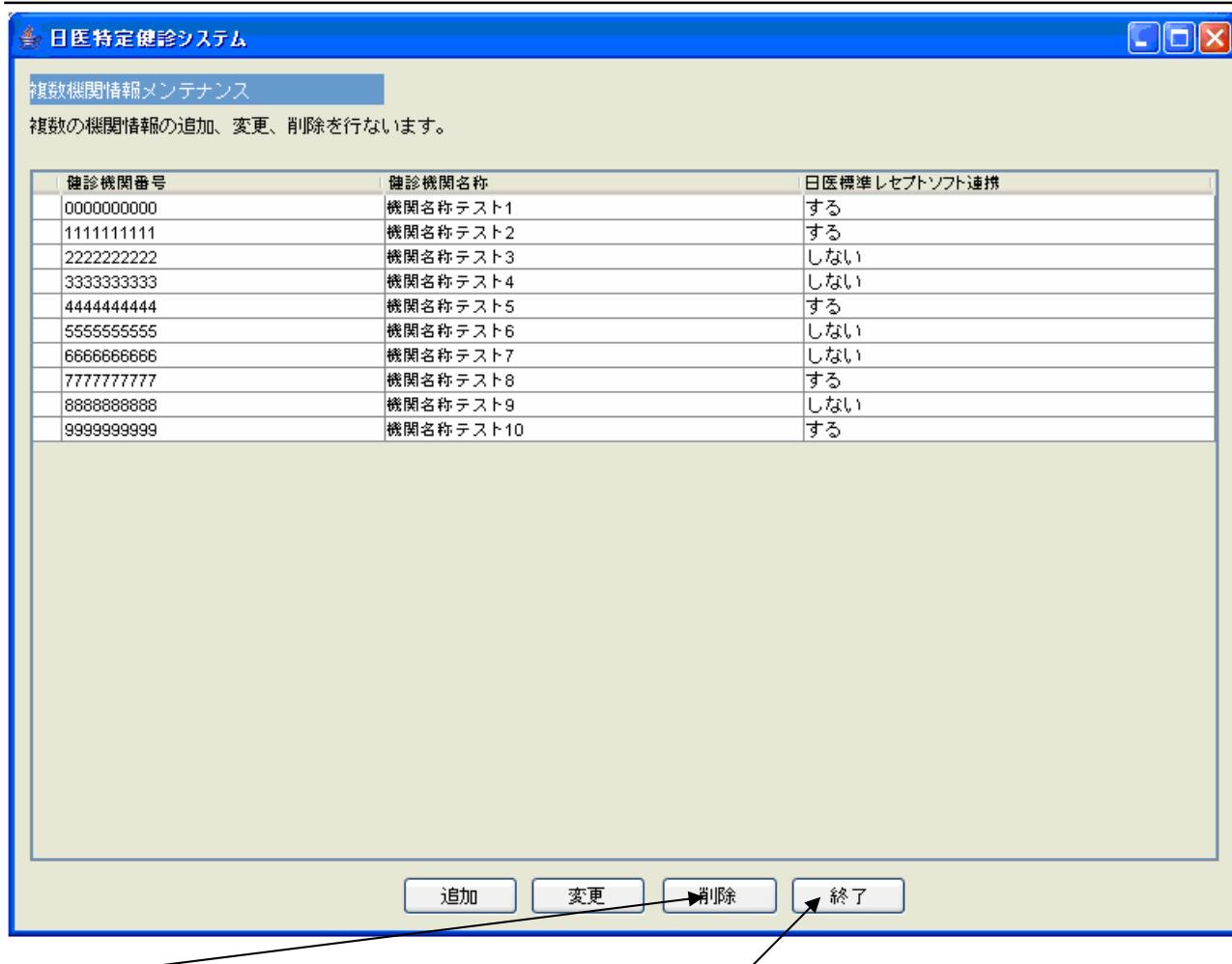


追加ボタン

- ・機関の追加を行なうためのボタン。
- ・ユーザが押下したとき、機関情報追加画面を表示する。

変更ボタン

- ・機関情報の変更を行なうためのボタン。
- ・初期状態は無効状態。
- ・機関一覧表で1行だけを選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- ・上記以外の場合は、無効状態にする。
- ・ユーザが押下したとき、機関情報変更画面を表示する。

**削除ボタン**

- 機関情報の削除を行なうためのボタン。
- 初期状態は無効状態。
- 機関一覧表で 1 行以上を選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- 上記以外の場合は、無効状態にする。

閉じるボタン

- 機関情報のメンテナンスを終了するためのボタン。
- ユーザが押下したとき、本画面を閉じる。

18-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output
(1)	複数機関番号	(システムDB)複数機関マスタ.特定健診機関番号	(無し)
(2)	複数機関名称	(システムDB)複数機関マスタ.名称	(無し)
(3)	日医標準レセプトソフト連携	(システムDB)複数機関マスタ.ORCA	(無し)

18-2 処理

18-2-1 初期化処理

処理フロー

- (1) 機関一覧表のデータをクリアする。
- (2) 項目移送表の Input の値を取得する。
- (3) 取得に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (4) 取得した値を機関一覧表に追加する。

18-2-2 追加処理

処理開始タイミング

ユーザが追加ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 機関登録画面に初期値を設定する。
- (2) 機関追加画面をモーダルで表示する。
- (3) 機関登録画面で登録ボタンを押して画面を閉じた場合、以下の処理を行なう。
 - (ア) 機関用のデータベースを新規に作成する。
 - (イ) 入力値をテーブルに追加する。
- (4) 機関登録画面で登録ボタンを押さずに画面を閉じた場合は、テーブルを更新しない。

18-2-3 変更処理

処理開始タイミング

ユーザが変更ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 機関登録画面の各入力欄に、項目移送表で対応する項目から値を取得した値を設定する。
- (2) 機関変更画面をモーダルで表示する。
- (3) 機関登録画面で登録ボタンを押して画面を閉じた場合は、入力値をテーブルに追加する。
- (4) 機関登録画面で登録ボタンを押さずに画面を閉じた場合は、テーブルを更新しない。

18-2-4 削除処理

処理開始タイミング

ユーザが削除ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 削除を実行して良いかユーザに確認するメッセージダイアログをモーダルで表示する。
- (2) ユーザが選択した機関の機関 DB を削除する。
処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (3) システム DB の複数機関マスタから、ユーザが選択した機関のレコードを削除する。
処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
- (4) 処理が終了したメッセージを表示して処理を終了する。

18-2-5 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが閉じるボタンを押下する。

処理フロー

- (1)複数機関情報メンテナンス画面を閉じる。

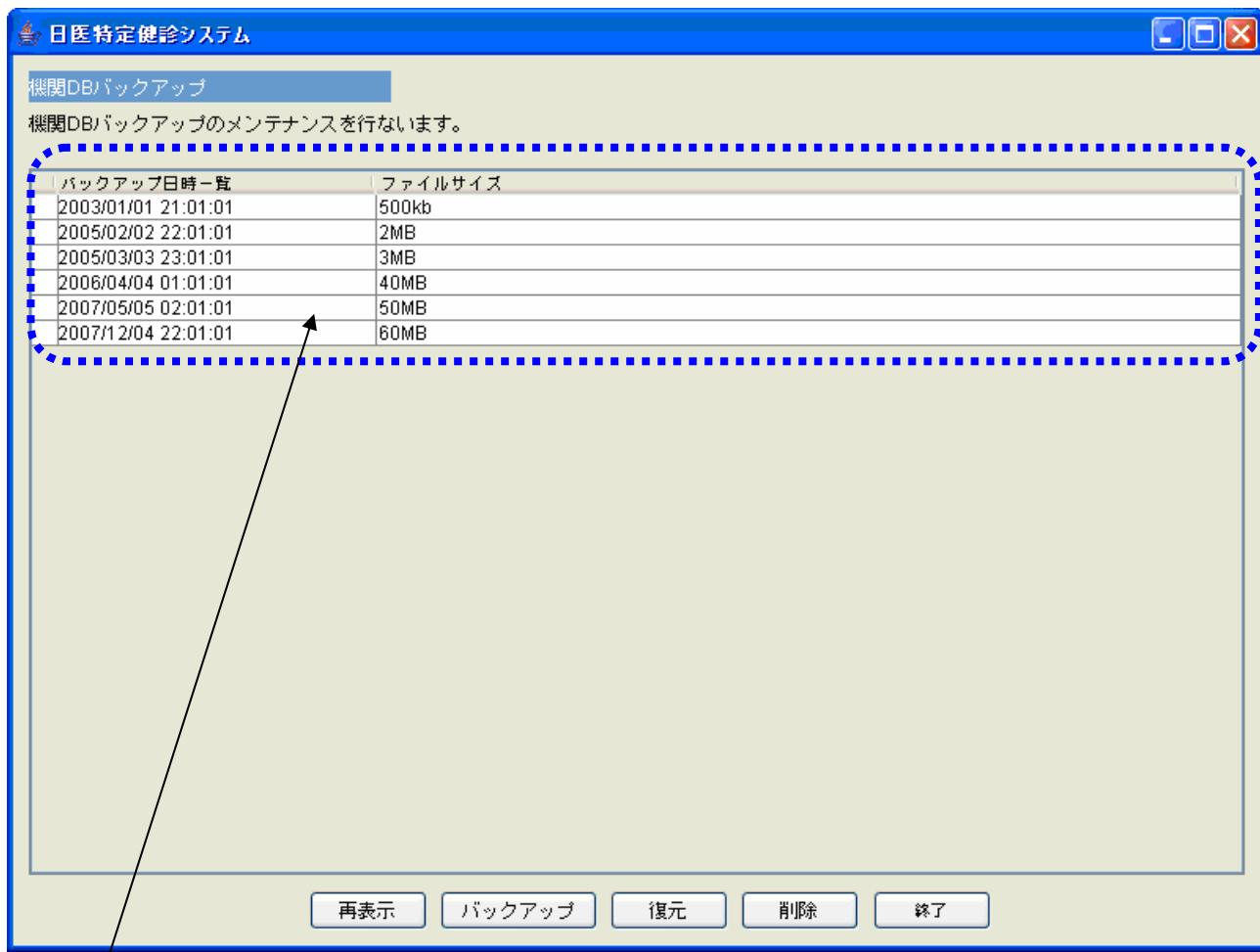
19 機関DBバックアップ

19-1 画面デザイン

19-1-1 各部名称、役割、動作

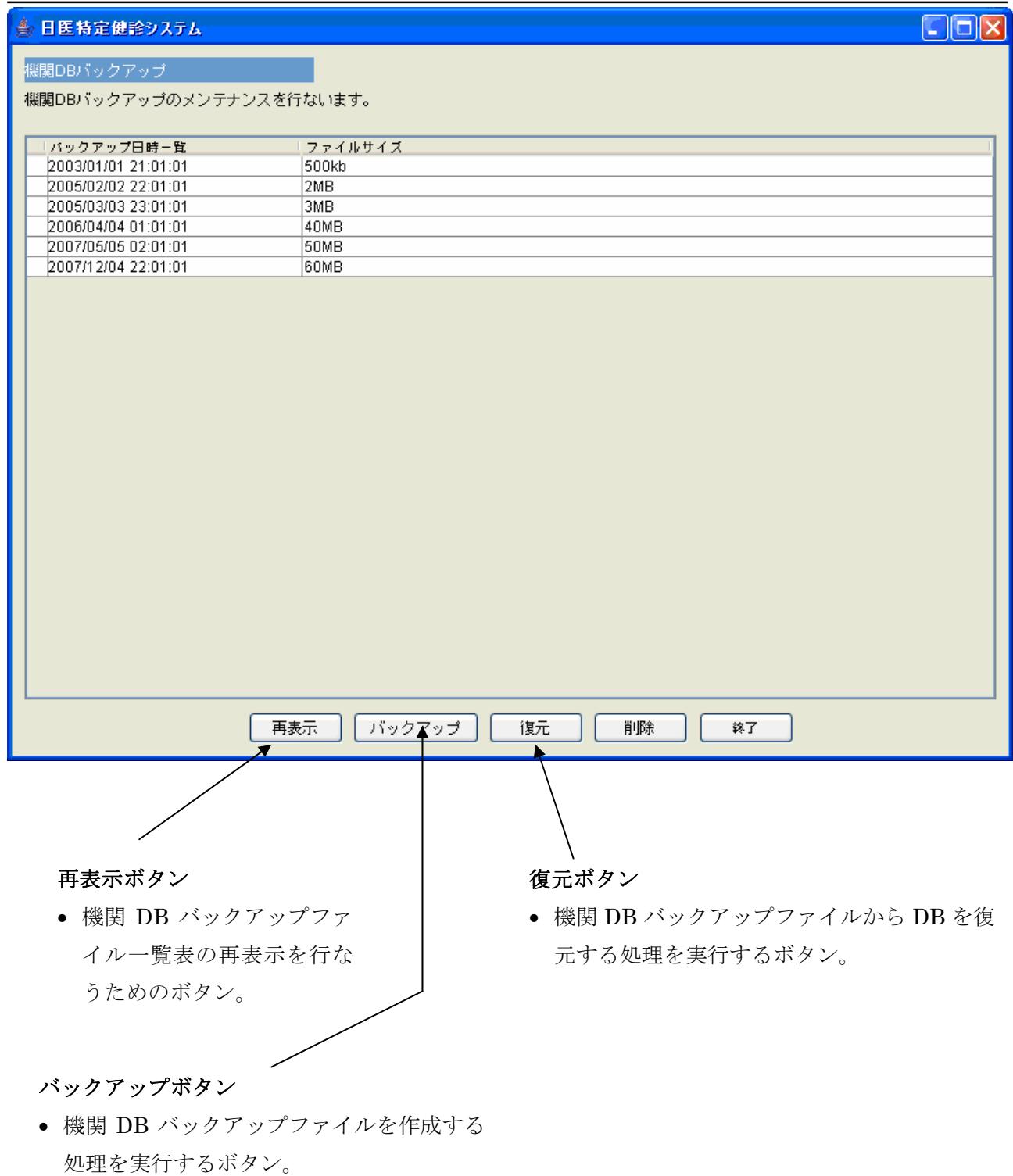
画面全体

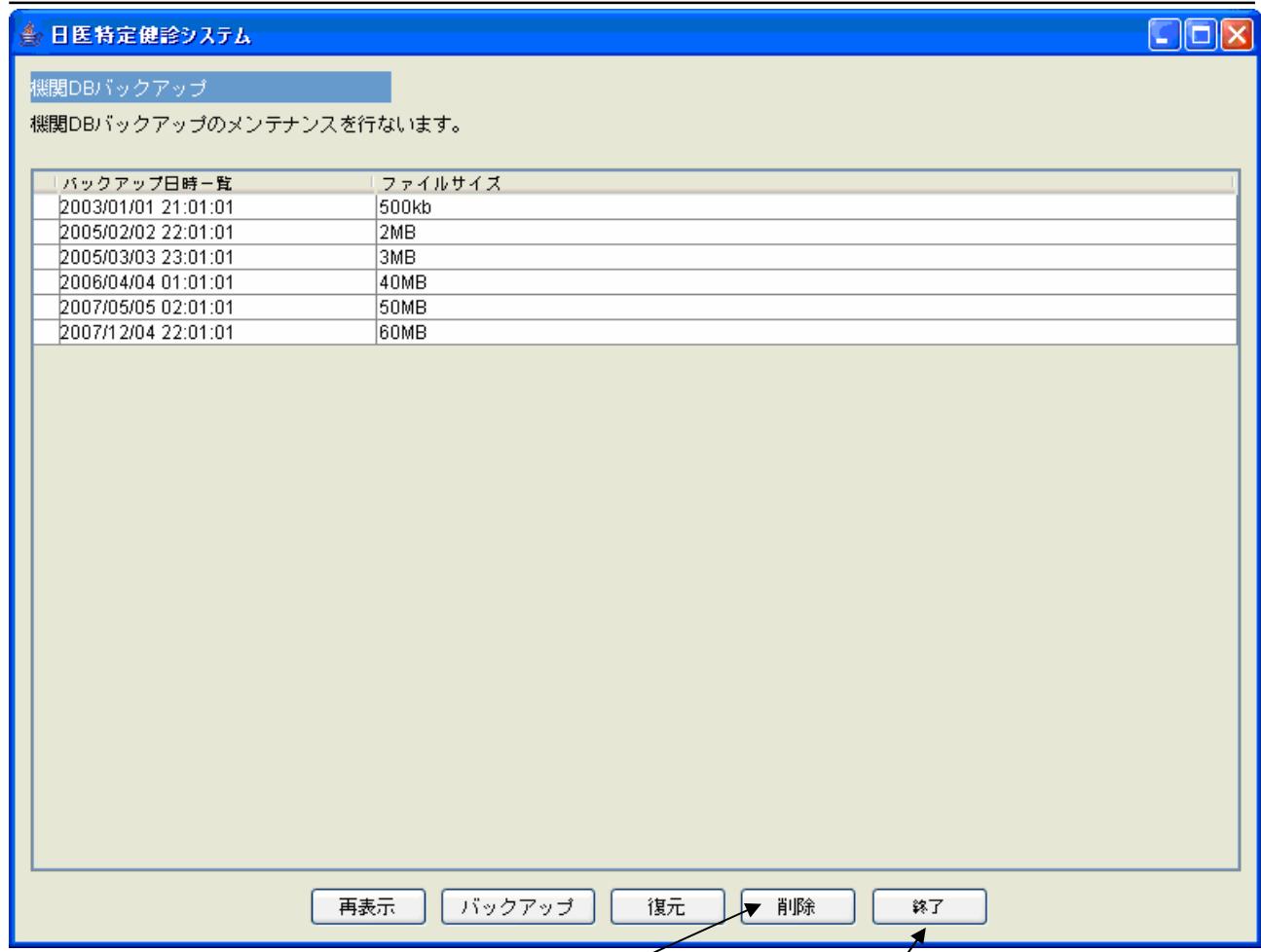
- 機関 DB のバックアップを行なう画面。システムの DB の構成については、別添資料「特定健診 D B 詳細設計書」の P.4 「1. 特定健康診査 DB 詳細設計について」を参照する。
- 機関毎の管理ユーザが使用する。
- 本システムの規定フォームを使用する。



①機関 DB バックアップ一覧表

- 機関 DB バックアップファイル情報の一覧を表示する表。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択が可能。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、再表示ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- セルの任意の場所をダブルクリックすると、処理は何も行なわない。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。
- 各セルの編集を許可しない。





再表示ボタン

- 機関 DB バックアップファイルを削除する処理を実行するボタン。

終了ボタン

- 本画面を閉じるボタン。

19-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output
①	バックアップ日時一覧	ファイル情報を参照して表示	(無し)
	ファイルサイズ	ファイル情報を参照して表示	(無し)

19-2 処理**19-2-1 バックアップファイル名規則**

バックアップファイルのファイル名規則を以下に記載する。

<システム ID>_<システムのバージョン番号>_<機関番号>_<タイムスタンプ>.<拡張子>

項目番	項目名	説明
1	システムID	システムDBのシステム設定テーブルで、ID=2のDATAの値。
2	システムのバージョン番号	
3	機関番号	機関DBの健診機関情報データーテーブルの特定健診機関番号。
4	タイムスタンプ	フォーマットは yyyyMMddHHmmss
5	拡張子	fdb

19-2-2 共通処理

各処理の直前に行なう処理

- (1) バックアップ対象のデータベースが起動していないことを確認する。
- (2) 起動している場合は、データベースを停止する。
- (3) 停止に失敗した場合は、エラーメッセージを表示し、処理を終了する。
- (4) バックアップディレクトリが存在するディスクの空き容量をチェックする。
空き容量が十分でない場合は、エラーメッセージを表示して、処理を終了する。

各処理の直後に行なう処理

- (1) 最初にデータベースを停止した場合は、起動する。

19-2-3 再表示処理

処理開始タイミング

ユーザが再表示ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) バックアップディレクトリから、ファイル名規則に従い機関 DB のバックアップファイルを検索する。
- (2) 各ファイルから、バックアップ日時、ファイルサイズを取得し、バックアップ一覧に表示する。
- (3) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示する。

19-2-4 バックアップ処理

処理開始タイミング

ユーザがバックアップボタンを押下する。

処理フロー

- (1) バックアップを行なうか確認メッセージを表示する。
- (2) バックアップを行なわない場合は、処理を終了する。
- (3) データベースファイルを、バックアップディレクトリにコピーする。
ファイル名は、ファイル名規則に従う。
- (4) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して、処理を終了する。
- (5) 処理が完了したメッセージを表示する。

19-2-5 復元処理

処理開始タイミング

ユーザが復元ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 復元前に現在の DB のバックアップを行なうか確認するメッセージを表示する。
- (2) バックアップを行なう場合、バックアップ処理を行なう。
- (3) 復元を行なうか確認するメッセージを表示する。
- (4) 復元しない場合は、処理を終了する。
- (5) DB ファイルをワークディレクトリに移動する。
- (6) 復元元ファイルを DB 用ディレクトリにコピーし、正しい名前にリネームする。
- (7) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
必要に応じて、ワークディレクトリに移動した DB ファイルを、元の場所に移動する。
- (8) ワークディレクトリの DB ファイルを削除する。
- (9) 処理が完了したメッセージを表示する。

19-2-6 削除処理

処理開始タイミング

ユーザが削除ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 削除するか確認するメッセージを表示する。
- (2) 削除しない場合は、処理を終了する。
- (3) 削除する場合は、ファイルを削除する。
- (4) 処理が完了したメッセージを表示する。

19-2-7 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー

本画面を閉じる。

20 システムメンテナンス

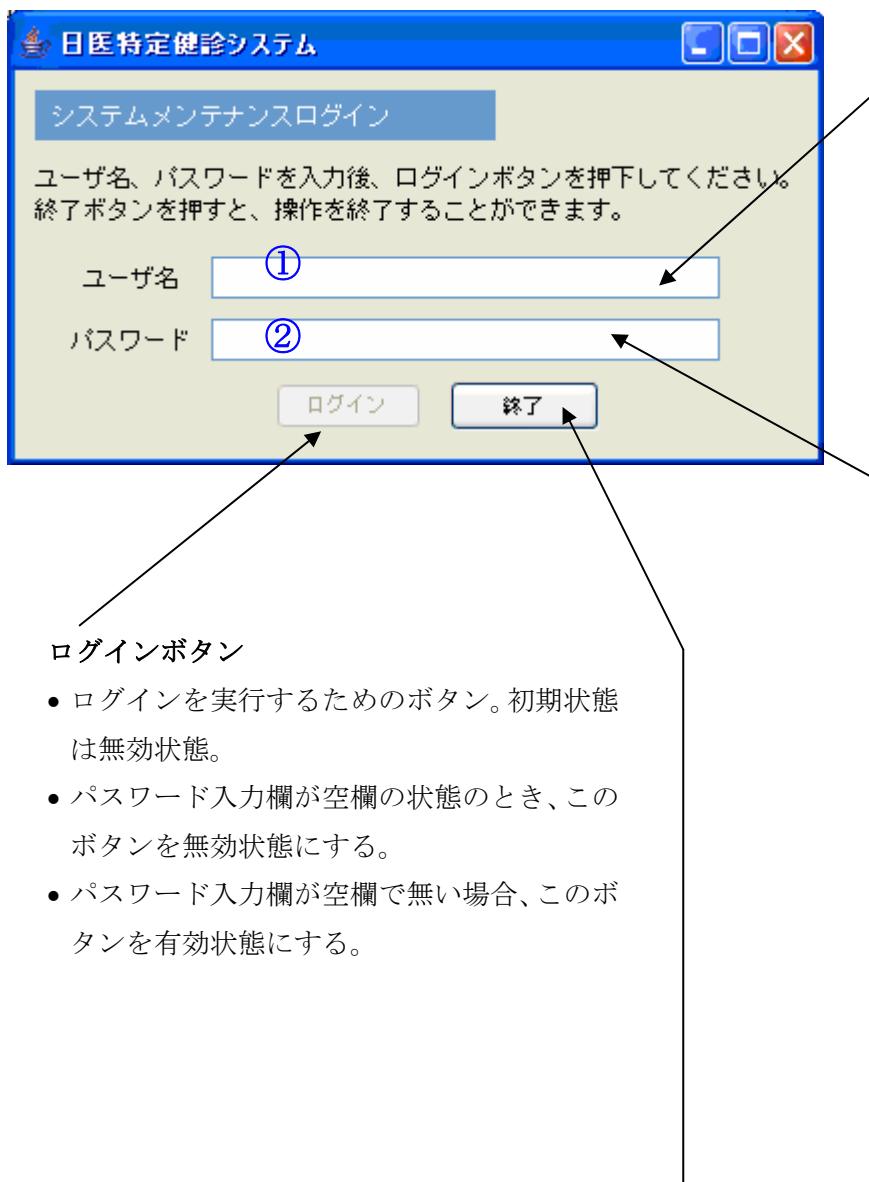
20-1 ログイン画面

20-1-1 画面デザイン

20-1-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- ユーザ名とパスワードを入力し、システムメンテナンス画面へのログインを実行する画面。
- 表示直後は、ユーザ名入力欄がフォーカスを持つ。
- ユーザは、画面の最大化、最小化、サイズ変更を行なうことができる。
- 最大化、または画面サイズ変更後、使用上問題が発生しないように適切にレイアウトを変更する。
- 画面サイズを小さく変更したときに、レイアウトが崩れないよう、画面の最小サイズを設定する。



ユーザ名入力欄

- ユーザがユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- Enter キーを押下したとき、パスワード入力欄にフォーカスを設定する。

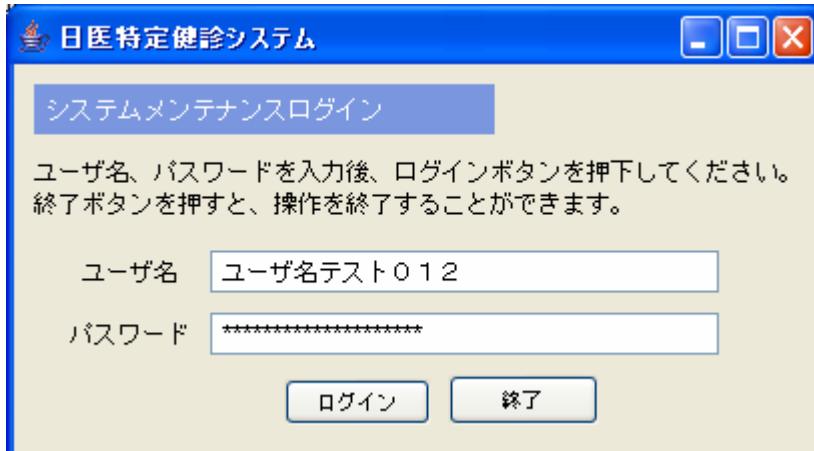
パスワード入力欄

- ユーザがパスワードを入力するためのテキストボックス。
- 入力した文字を「*」(アスタリスク)で表示する。
- 入力された文字を、ユーザがコピーできないようにする。
- Enter キーを押下したとき、ログインボタンにフォーカスを設定する。ログインボタンが無効の場合は、終了ボタンにフォーカスを設定する。

終了ボタン

ユーザが操作を終了するためのボタン。

画面表示サンプル



20-1-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output	備考
①	ユーザ名	(手入力)	(なし)	
②	パスワード	(手入力)	(なし)	

20-1-1-3 表示仕様

部位番号	項目名称	表示種類	入出力	文字種別	文字数	表示タイミング	初期値	備考
①	ユーザ名	テキスト フィールド	入力	全て	0-20	-	NULL	
②	パスワード	パスワード 用テキスト フィールド	入力	※備考参照	0-20	-	NULL	半角「*」(アスタリスク)のみ

20-1-1-4 入力チェック仕様

部位番号	項目名称	データ型 チェック	データ長 チェック	値の範囲 チェック	NULL チェック	チェックタイミング	備考
①	ユーザ名	なし	0-20	-	○	ログインボタン押下時	データ長は文字数
②	パスワード	なし	0-20	-	○	ログインボタン押下時	データ長は文字数

20-1-2 処理**20-1-2-1 システムメンテナンスログイン処理****処理開始タイミング**

ユーザがログインボタンを押下する。

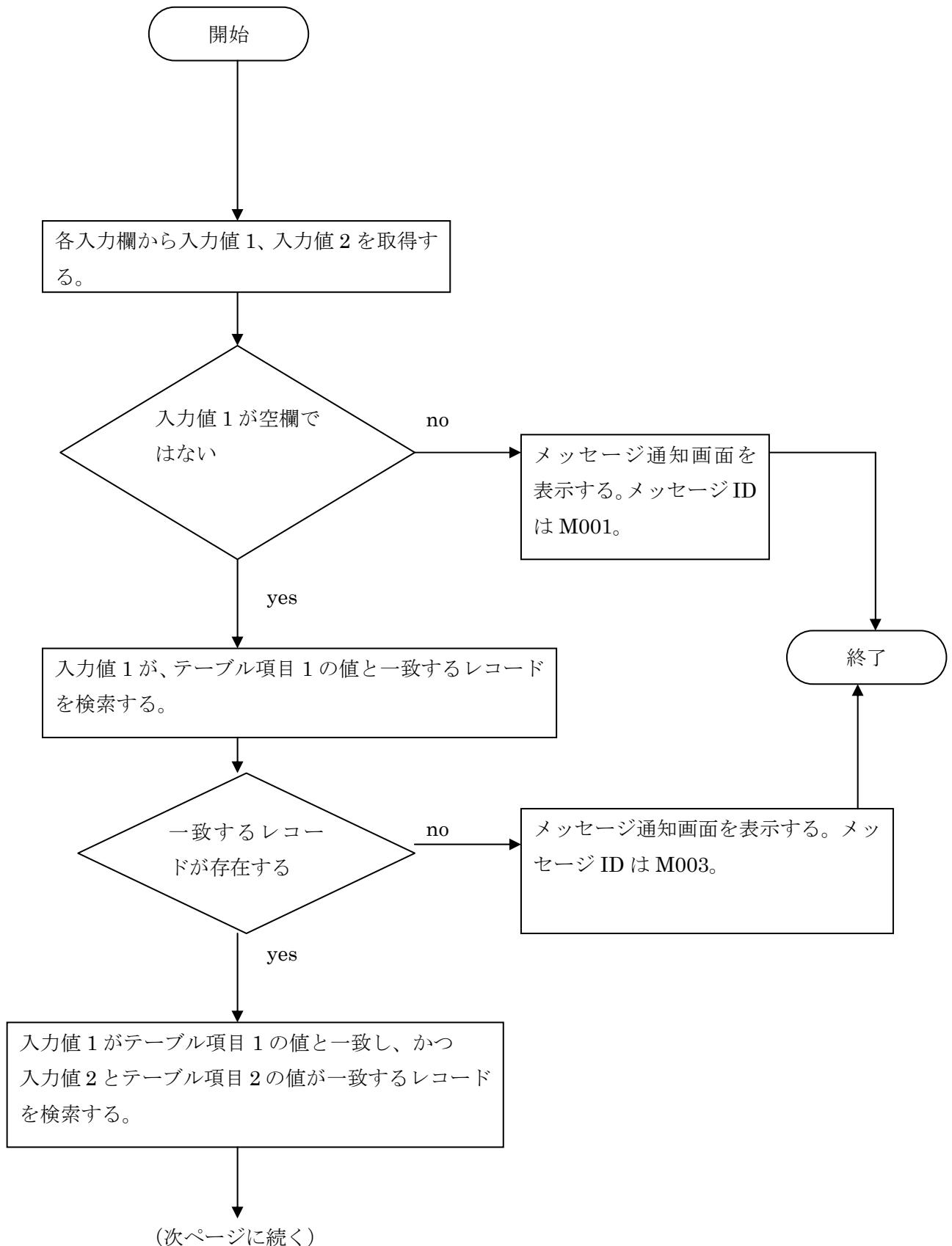
入力値一覧

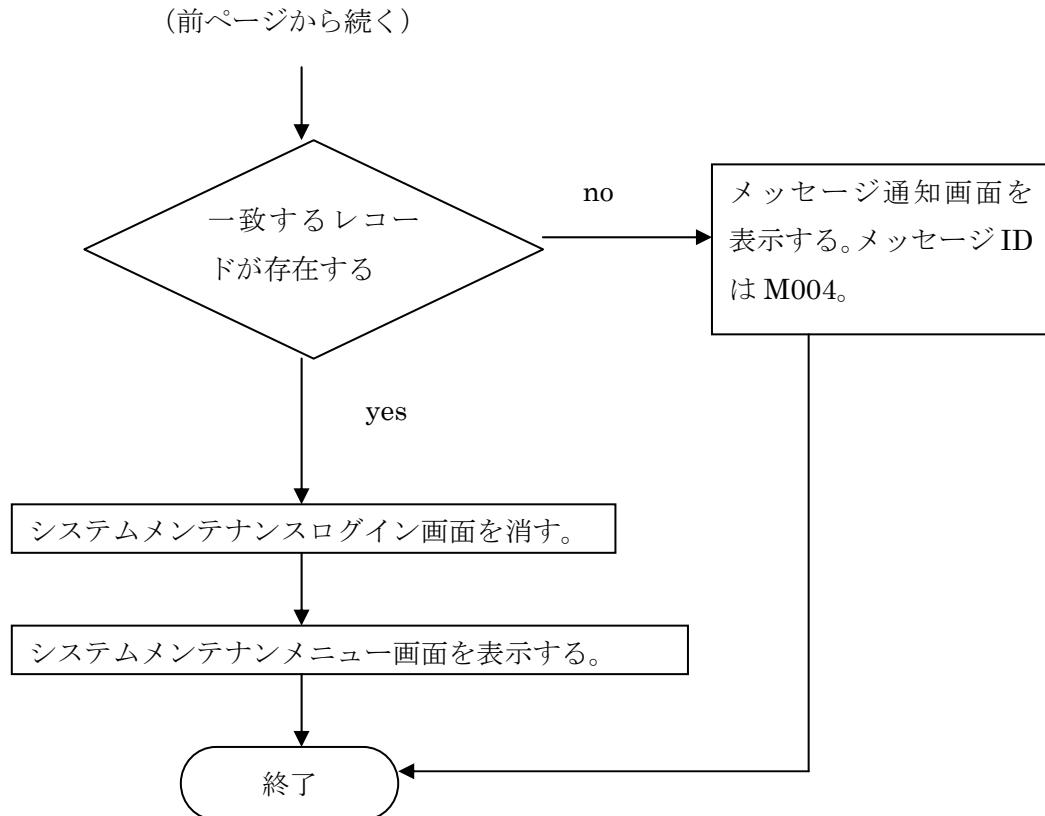
項目番	部位番号	入力値名称	備考
1	①	ユーザ名	プログラム終了までメモリ中に保持する。
2	②	パスワード	プログラム終了までメモリ中に保持する。

テーブル項目一覧

項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	システム DB	システムユーザ管理データ	ユーザ名
2	システム DB	システムユーザ管理データ	パスワード

処理フロー



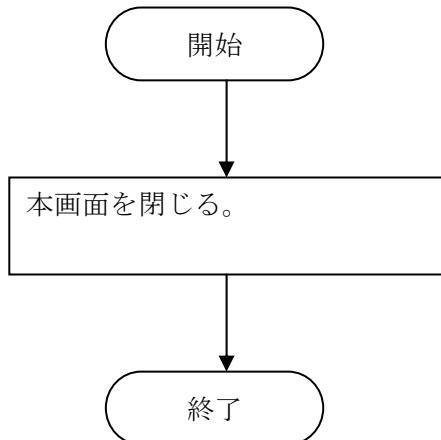


20-1-2-2 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー



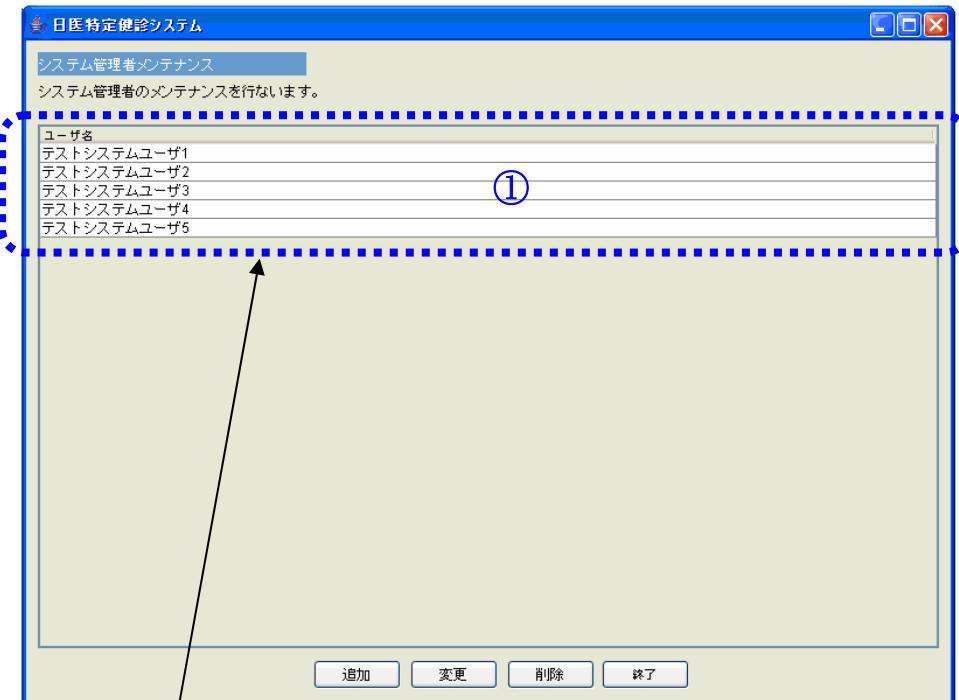
20-2 システム管理者メンテナンス画面

20-2-1 画面デザイン

20-2-1-1 各部名称、役割、動作

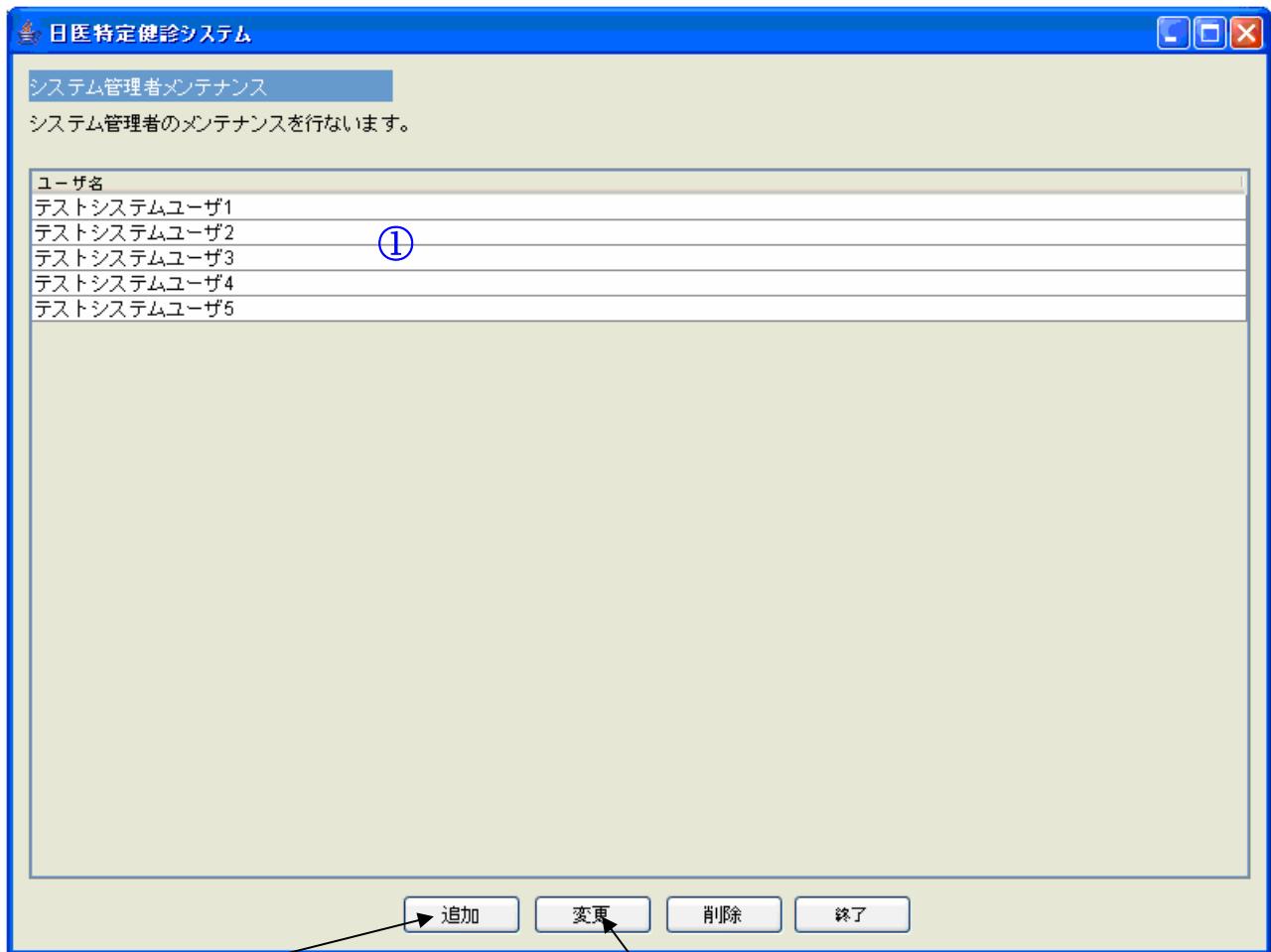
画面全体

- システム管理ユーザ情報のメンテナンス（追加、削除、変更）を行なう画面。
- メニューから呼び出される。
- 本システムの規定フォームを使用する。



システム管理ユーザー一覧表

- システムユーザ名の一覧を表示するための表。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択が可能。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、追加ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- セルの任意の場所をダブルクリックすると、システム管理ユーザ情報変更画面を表示する。
- 行を選択中に Enter キーを押下すると、システム管理ユーザ情報変更画面を表示する。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する。
- カラムの並び替えを許可しない。
- 各セルの編集を許可しない。
- 各列のヘッダ部分をクリックすると、その列の値（文字列）を使って、文字コード順に行を並び替える。
- クリックごとに、昇順、降順で交互に並び替える。
- 本画面の初期化後、最初にクリックしたときには、昇順で並び替える。

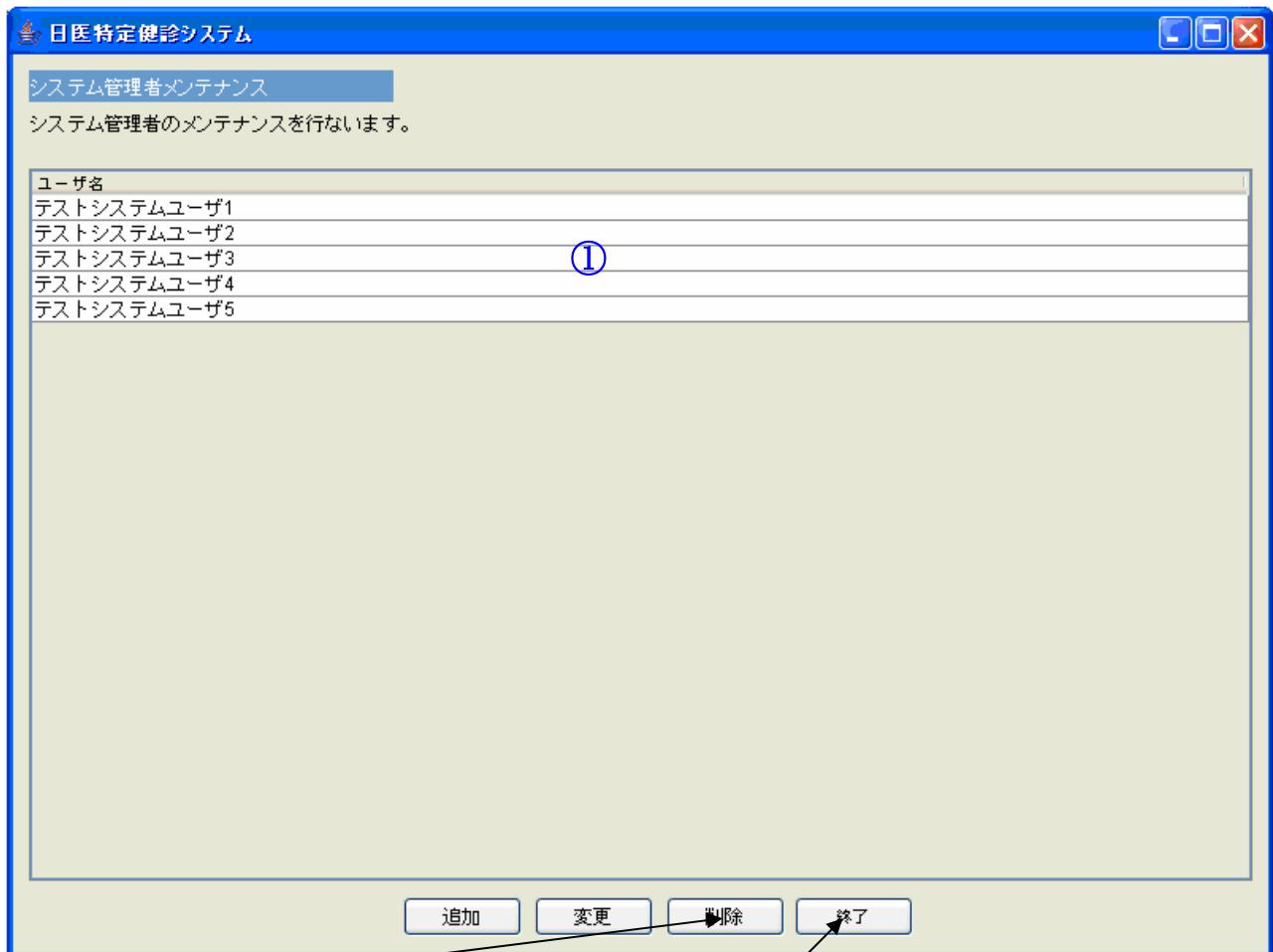


追加ボタン

- ・ システム管理ユーザの追加を行なうためのボタン。
- ・ ユーザが押下したとき、システム管理ユーザ登録画面を表示する。

変更ボタン

- ・ システム管理ユーザ情報の変更を行なうためのボタン。
- ・ 初期状態は無効状態。
- ・ システム管理ユーザー一覧表で 1 行だけを選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- ・ 上記以外の場合は、無効状態にする。
- ・ ユーザが押下したとき、システム管理ユーザ情報変更画面を表示する。

**④削除ボタン**

- ・ システム管理ユーザ情報の削除を行なうためのボタン。
- ・ 初期状態は無効状態。
- ・ システム管理ユーザー一覧表で 1 行以上を選択しているとき、このボタンを有効状態にする。
- ・ 上記以外の場合は、無効状態にする。

⑤終了ボタン

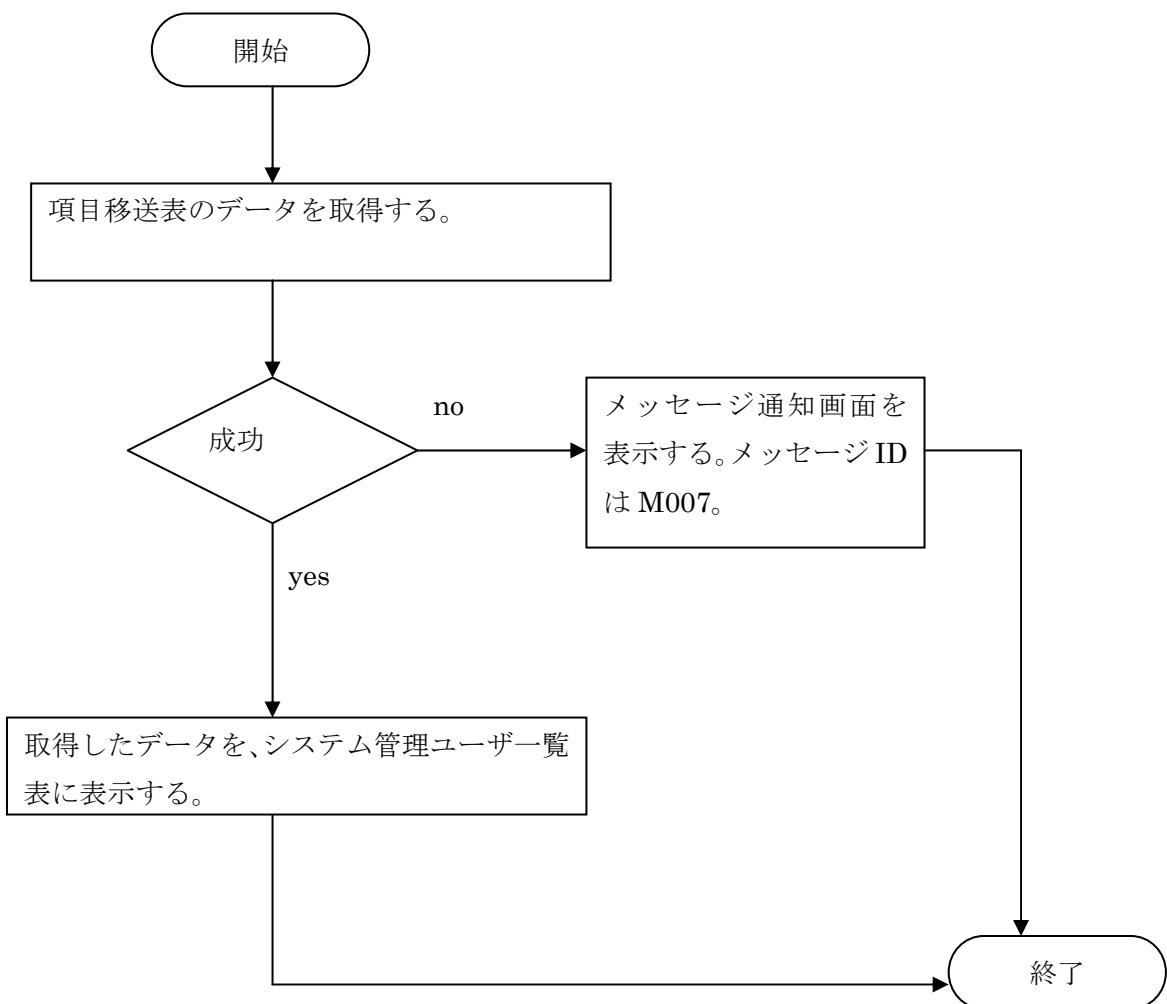
- ・ システム管理ユーザ情報のメンテナンスを終了するためのボタン。
- ・ ユーザが押下したとき、本画面を閉じる。

20-2-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output
①	ユーザ名	(無し)	(システムDB)システムユーザ管理テーブル.ユーザ名
	パスワード	(無し)	(システムDB)システムユーザ管理テーブル.パスワード

20-2-2 処理**20-2-2-1 初期化処理****処理開始タイミング**

画面を表示するタイミング。

処理フロー

20-2-2-2 追加処理**処理開始タイミング**

ユーザが追加ボタンを押下する。

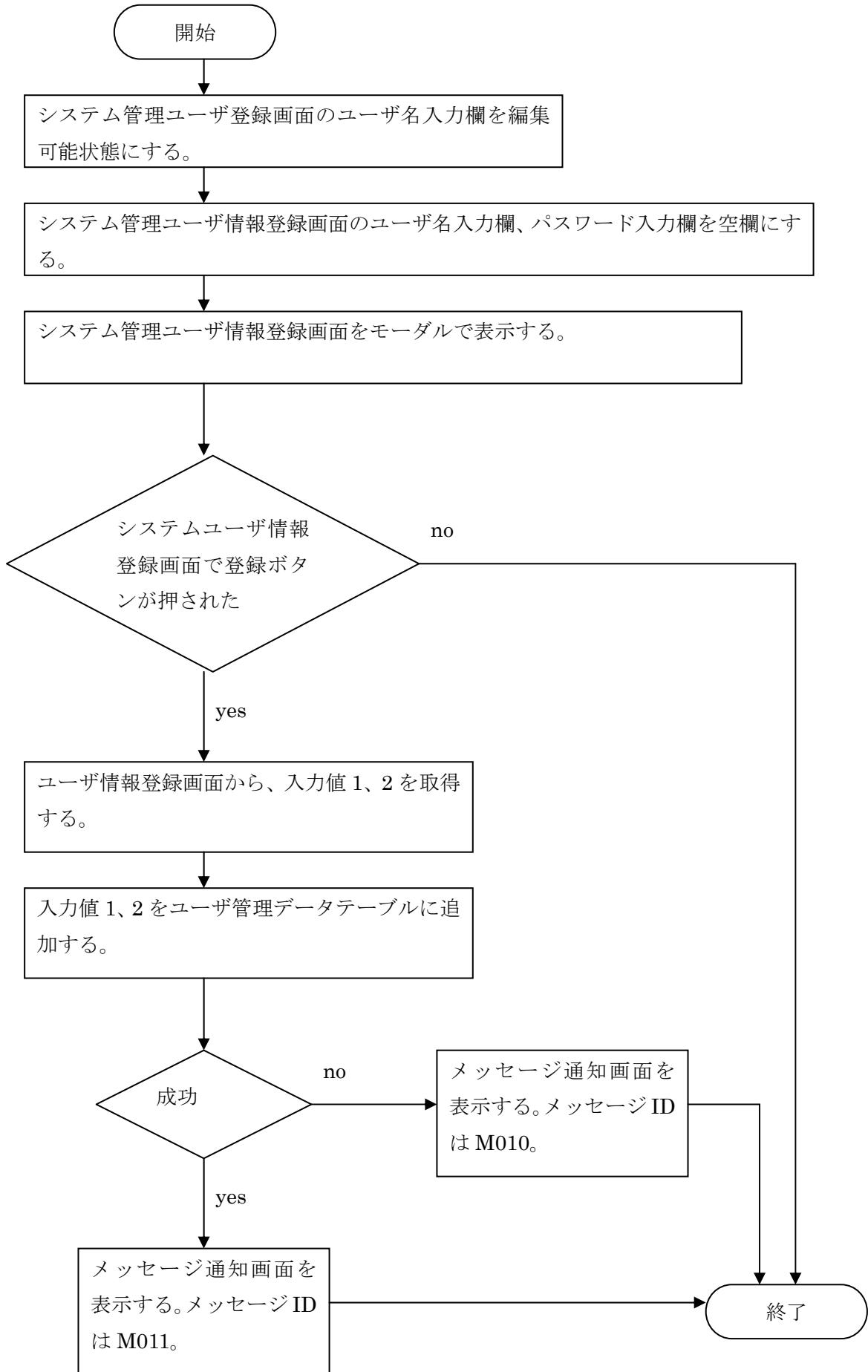
入力値一覧

項目番	画面名	入力値名称	備考
1	ユーザ情報登録	ユーザ名	
2	ユーザ情報登録	パスワード	

テーブル項目一覧

項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	システムDB	システムユーザ管理データ	ユーザ名
2	システムDB	システムユーザ管理データ	パスワード

処理フロー



20-2-2-3 変更処理**処理開始タイミング**

- ユーザが変更ボタンを押下する。
- データを持つ任意のセルをダブルクリックする。
- 1行を選択しているときに、Enter キーを押下する。

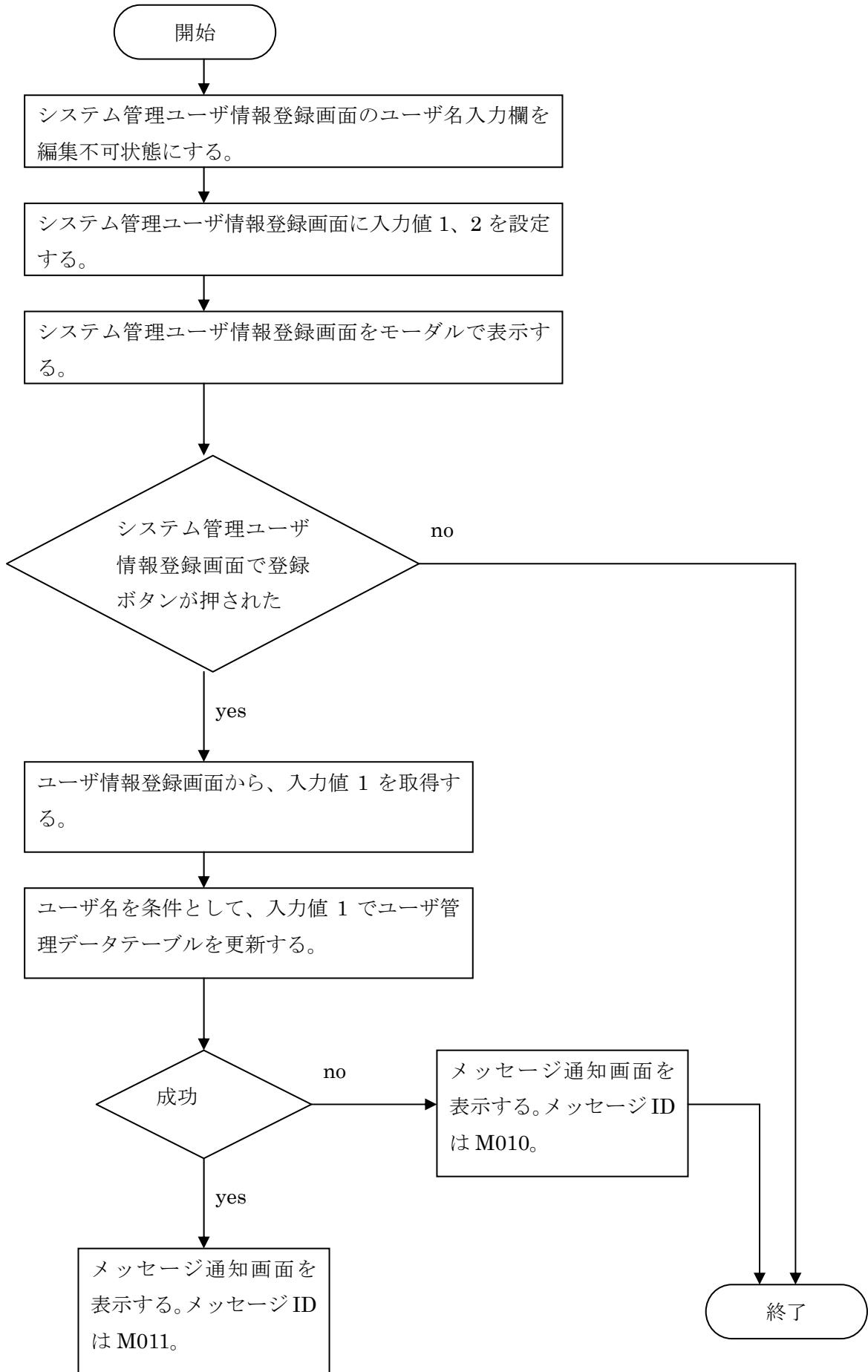
入力値一覧

項目番号	画面名	入力値名称	備考
1	システム管理ユーザ情報登録	パスワード	

テーブル項目一覧

項目番号	データベース名	テーブル名	項目名
1	システムDB	システムユーザ管理データ	ユーザ名
2	システムDB	システムユーザ管理データ	パスワード

処理フロー



20-2-2-4 削除処理**処理開始タイミング**

ユーザが削除ボタンを押下する。

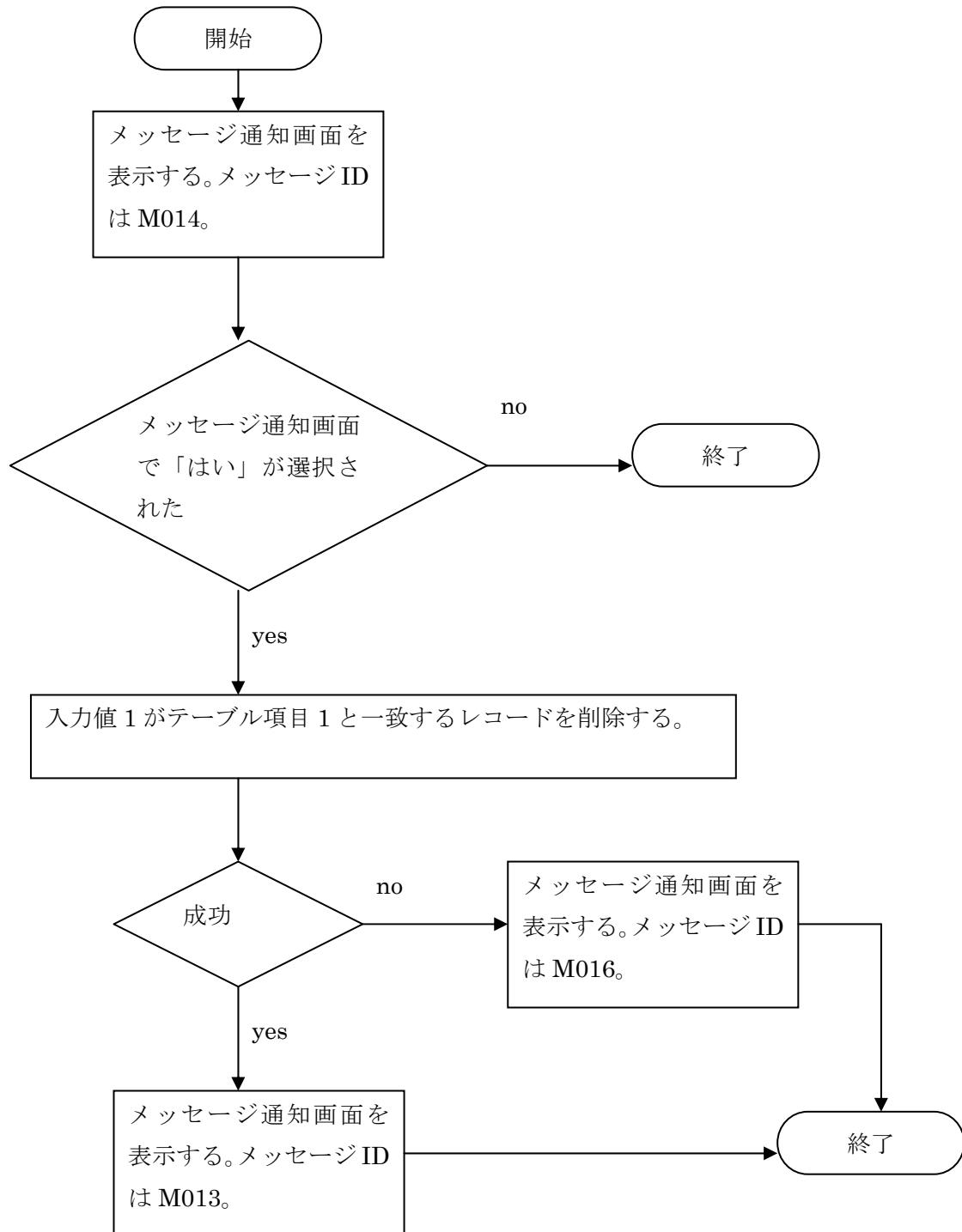
入力値一覧

項目番	画面名	入力値名称	備考
1	システム管理ユーザ情報登録	ユーザ名	
2	システム管理ユーザ情報登録	パスワード	

テーブル項目一覧

項目番	データベース名	テーブル名	項目名
1	システムDB	システムユーザ管理データ	ユーザ名
2	システムDB	システムユーザ管理データ	パスワード

処理フロー

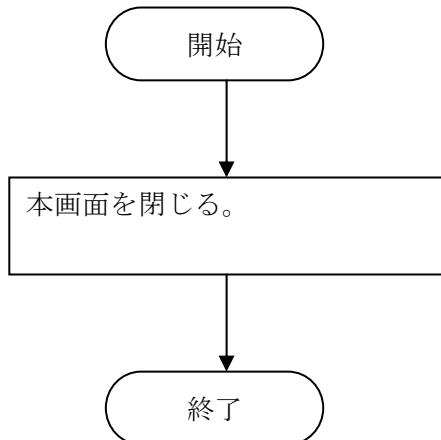


20-2-2-5 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー



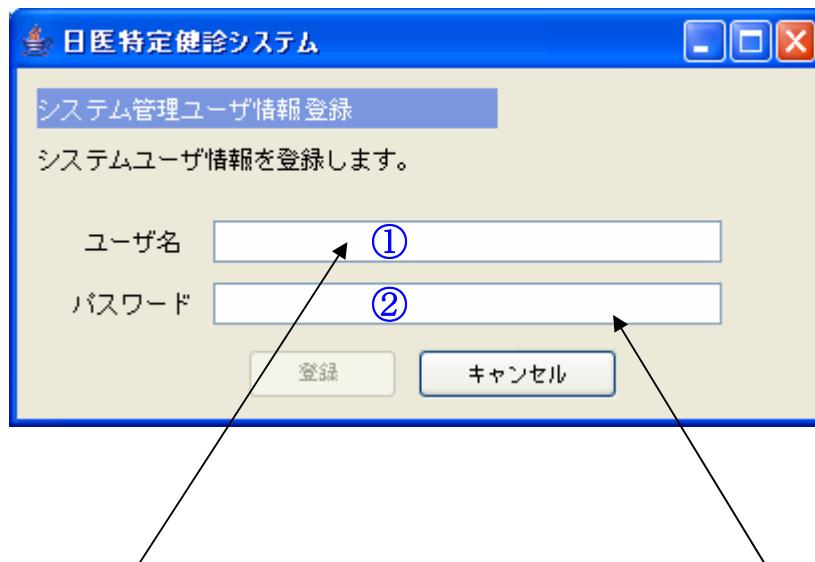
20-3 登録画面

20-3-1 画面デザイン

20-3-1-1 各部名称、役割、動作

画面全体

- システムユーザ情報の登録（追加、変更）を行なう画面。
- システム管理者権限を持つユーザが利用する。
- 表示直後、システム管理ユーザ情報追加処理の場合はユーザ名入力欄にフォーカスを設定する。
システム管理ユーザ情報変更処理の場合はパスワード選択欄にフォーカスを設定する。
- ユーザは、画面の最大化、最小化、サイズ変更を行なうことができる。
- 最大化、または画面サイズ変更後、使用上問題が発生しないように適切にレイアウトを変更する。
- 画面サイズを小さく変更したときに、レイアウトが崩れないよう、画面の最小サイズを設定する。

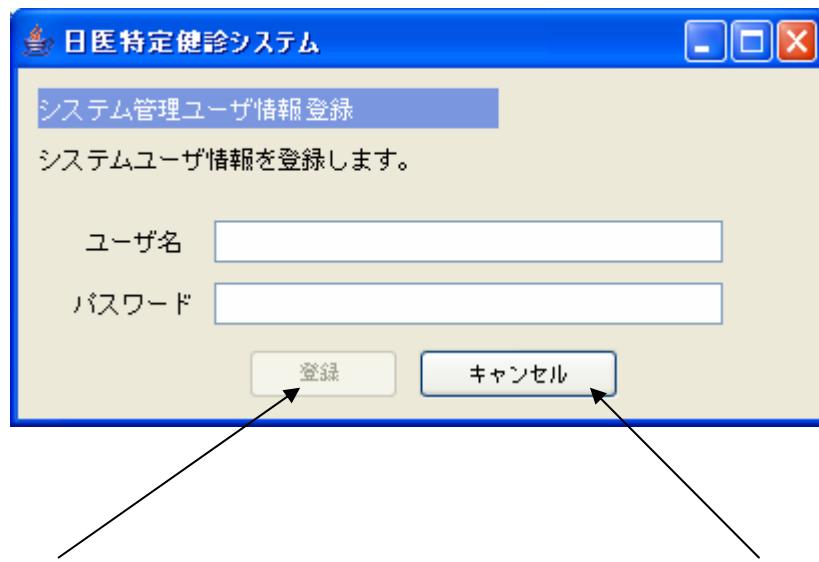


ユーザ名入力欄

- ユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- システム管理ユーザ情報追加処理の場合は、編集可能状態にする。
- システム管理ユーザ情報変更処理の場合は、編集不可状態にする。

パスワード入力欄

- ユーザ名を入力するためのテキストボックス。
- 入力した文字を「*」（アスタリスク）で表示する。
- 入力された文字を、ユーザがコピーできないようにする。
- Enterキーを押下すると、登録ボタンにフォーカスを移動する。登録ボタンが無効状態の場合は、キャンセルボタンにフォーカスを移動する。

**登録ボタン**

- ・システム管理ユーザ情報を登録（追加、変更）するためのボタン。
- ・ユーザ名入力欄が空欄の場合は、このボタンを無効にする。
- ・ユーザ名入力欄が空欄でない場合は、このボタンを有効にする。
- ・押下すると、入力値をチェックした後、本画面を閉じる。
- ・データベースの追加、更新処理は、本画面の呼び出し元で行なう。

キャンセルボタン

- ・システム管理ユーザ情報のメンテナンス操作をキャンセルするためのボタン。
- ・ユーザが押下したとき、本画面を閉じる。

20-3-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input/Output	備考
①	ユーザ名	(システムDB)システムユーザ管理データ.ユーザ名	
②	パスワード	(システムDB)システムユーザ管理データ.パスワード	

20-3-2 処理

20-3-2-1 初期化処理

処理開始タイミング

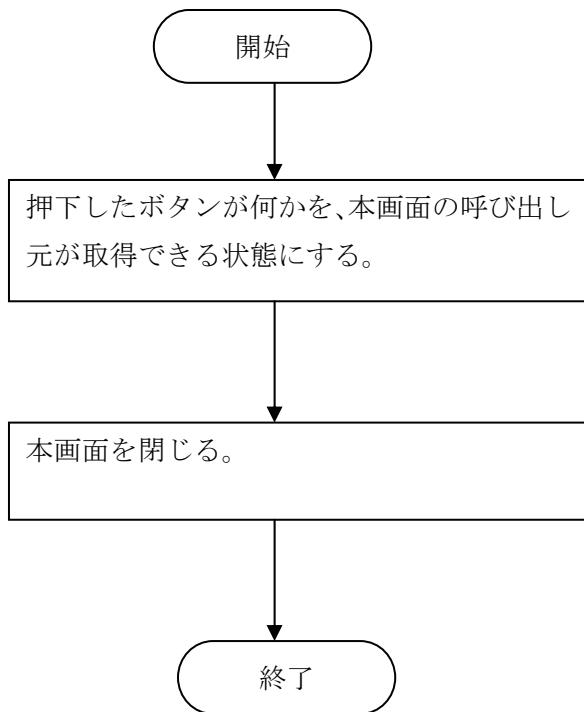
初期化処理は、本画面の呼び出し元で行なう。

20-3-2-2 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが、登録ボタンか終了ボタンを押下する。

処理フロー



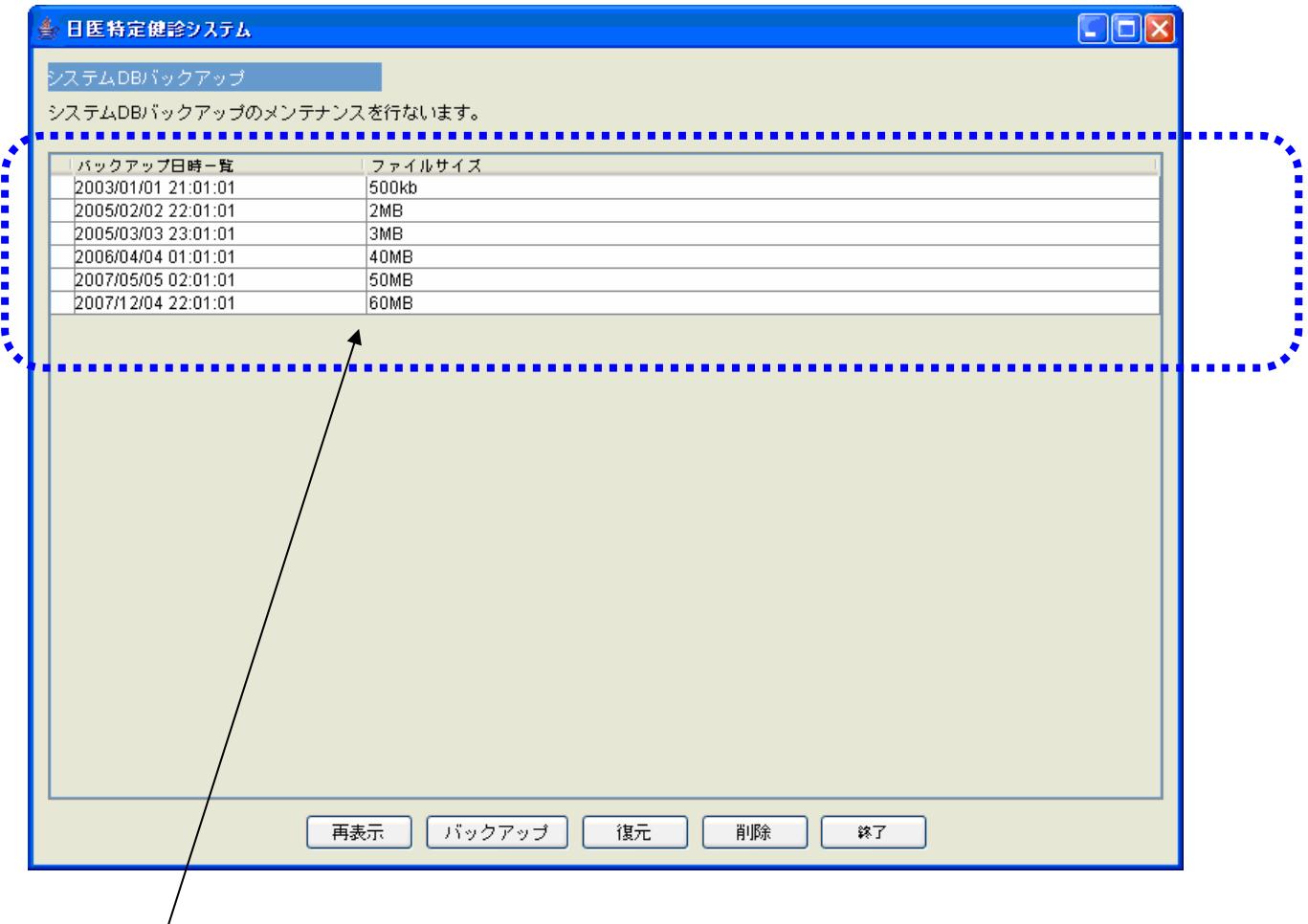
21 システムDBバックアップ

21-1 画面デザイン

21-1-1 各部名称、役割、動作

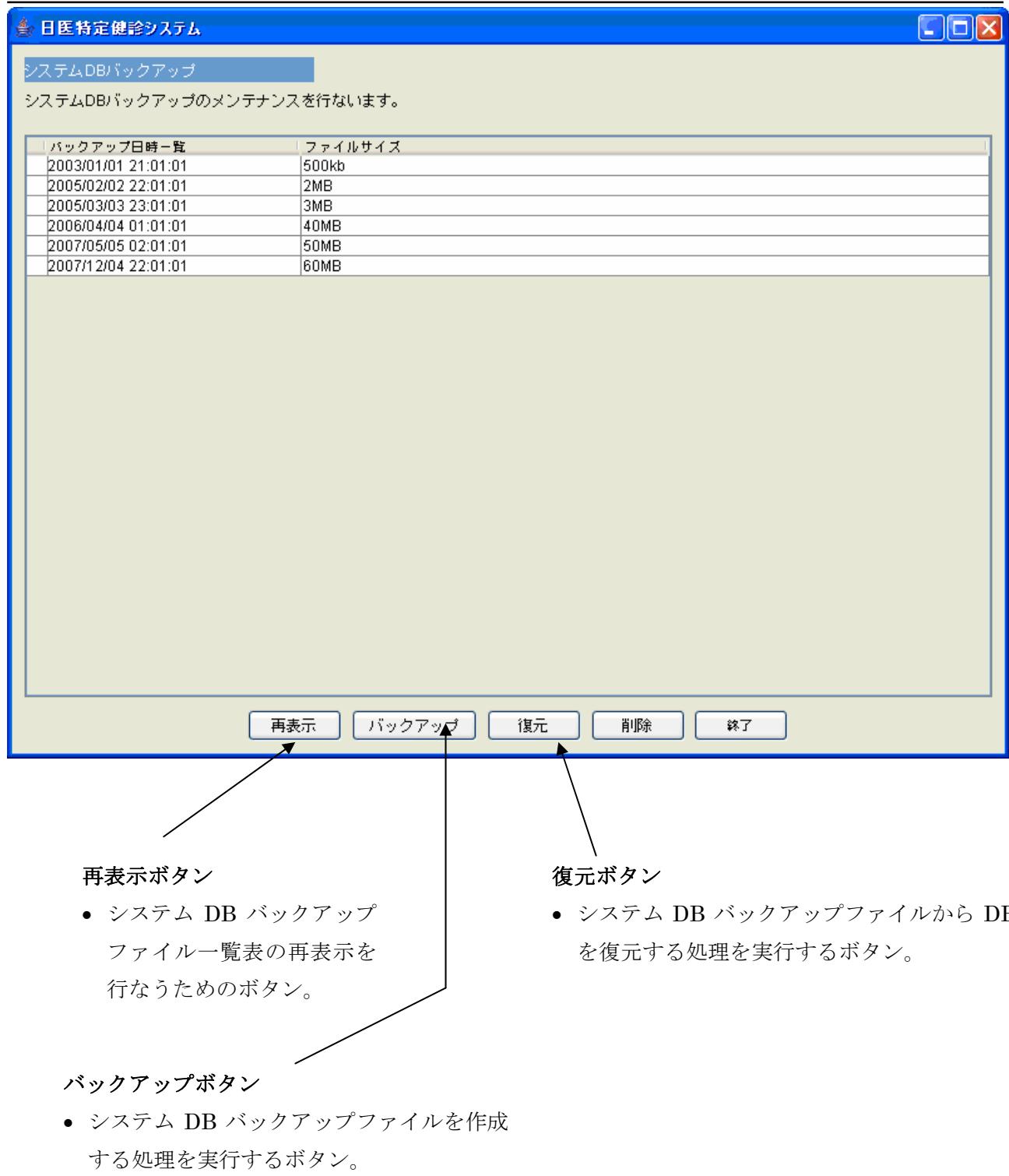
画面全体

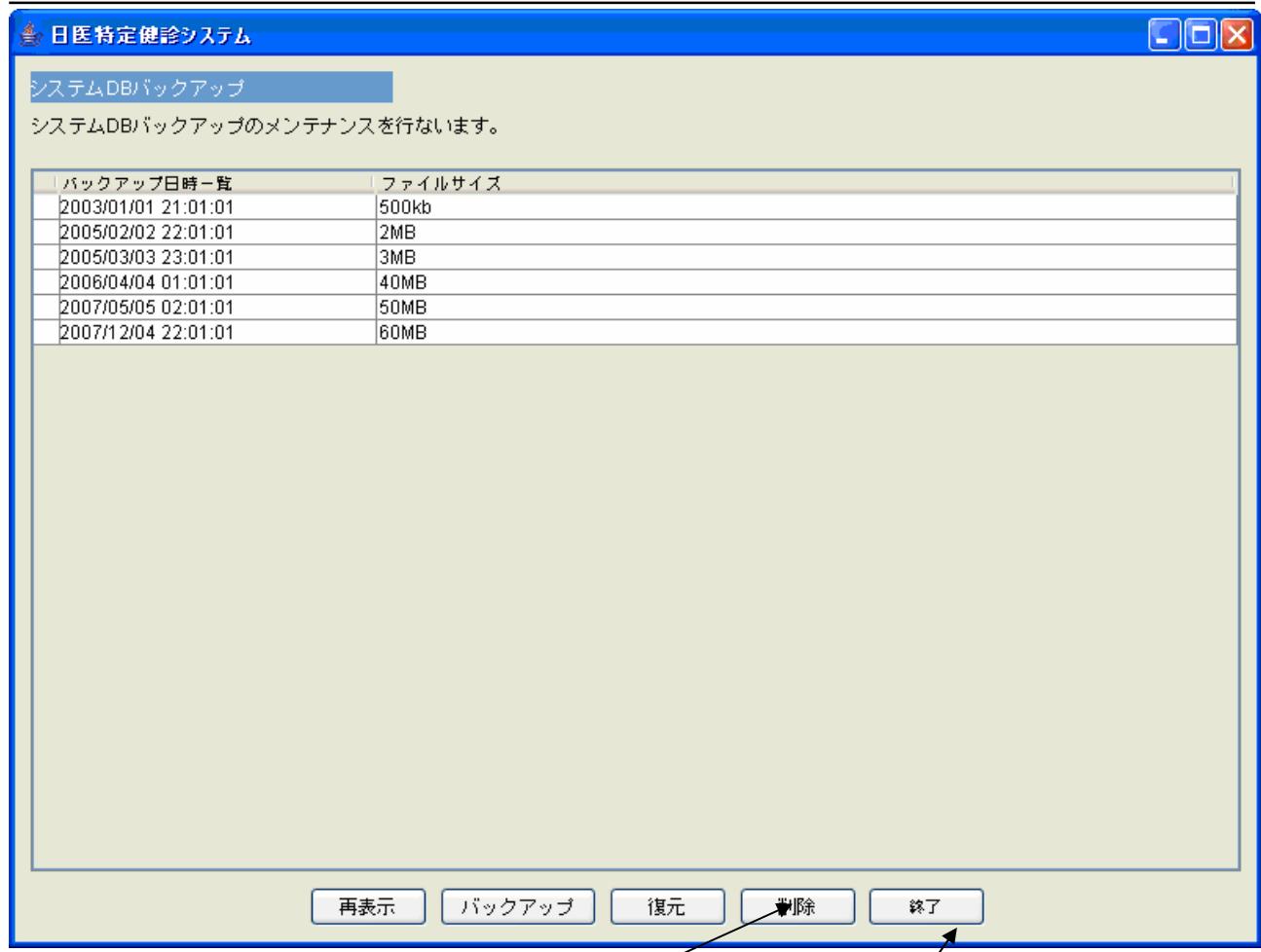
- システム DB のバックアップを行なう画面。本システムの DB 構成については、別添資料「特定健診 DB 詳細設計書」の P.4 「1. 特定健康診査 DB 詳細設計について」を参照する。
- システムメンテナンス用のユーザアカウントを持つ利用者のみが利用できる。
- 本システムの規定フォームを使用する。



①システム DB バックアップ一覧表

- システム DB バックアップファイル情報の一覧を表示する表。
- 行の選択のみが可能で、個別のセルを選択することはできない。
- 複数行選択が可能。
- 表示直後は、一番上の行を選択状態にする。行が存在しない場合は、再表示ボタンがフォーカスを持つ状態にする。
- セルの任意の場所をダブルクリックすると、処理は何も行なわない。
- カラムヘッダのサイズ変更を許可する機関 DB バックアップファイル一覧表の再表示を行なうためのボタン。





再表示ボタン

- システム DB バックアップファイルを削除する処理を実行するボタン。

終了ボタン

- 本画面を閉じるボタン。

21-1-2 項目移送表

部位番号	項目名称	Input	Output
①	バックアップ日時一覧	ファイル情報を参照して表示	(無し)
	ファイルサイズ	ファイル情報を参照して表示	(無し)

21-2 処理**21-2-1 バックアップファイル名規則**

バックアップファイルのファイル名規則を以下に記載する。

<システム ID>_<システムのバージョン番号>_system_<タイムスタンプ>.<拡張子>

項目番	項目名	説明
1	システムID	システムDBのシステム設定テーブルで、ID=2のDATAの値。
2	システムのバージョン番号	
3	タイムスタンプ	フォーマットは yyyyMMddHHmmss
4	拡張子	fdb

21-2-2 共通処理

各処理の直前に行なう処理

- (1) バックアップ対象のデータベースが起動していないことを確認する。
- (2) 起動している場合は、データベースを停止する。
- (3) 停止に失敗した場合は、エラーメッセージを表示し、処理を終了する。
- (4) バックアップディレクトリが存在するディスクの空き容量をチェックする。
空き容量が十分でない場合は、エラーメッセージを表示して、処理を終了する。

各処理の直後に行なう処理

- (1) 最初にデータベースを停止した場合は、起動する。

21-2-3 再表示処理

処理開始タイミング

ユーザが再表示ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) バックアップディレクトリから、ファイル名規則に従いシステム DB のバックアップファイルを検索する。
- (2) 各ファイルから、バックアップ日時、ファイルサイズを取得し、バックアップ一覧に表示する。
- (3) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示する。

21-2-4 バックアップ処理

処理開始タイミング

ユーザがバックアップボタンを押下する。

処理フロー

- (1) バックアップを行なうか確認メッセージを表示する。
- (2) バックアップを行なわない場合は、処理を終了する。
- (3) データベースファイルを、バックアップディレクトリにコピーする。
ファイル名は、ファイル名規則に従う。
- (4) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して、処理を終了する。
- (5) 処理が完了したメッセージを表示する。

21-2-5 復元処理

処理開始タイミング

ユーザが復元ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 復元前に現在の DB のバックアップを行なうか確認するメッセージを表示する。
- (2) バックアップを行なう場合、バックアップ処理を行なう。
- (3) 復元を行なうか確認するメッセージを表示する。
- (4) 復元しない場合は、処理を終了する。
- (5) DB ファイルをワークディレクトリに移動する。
- (6) 復元元ファイルを DB 用ディレクトリにコピーし、正しい名前にリネームする。
- (7) 処理に失敗した場合は、エラーメッセージを表示して処理を終了する。
必要に応じて、ワークディレクトリに移動した DB ファイルを、元の場所に移動する。
- (8) ワークディレクトリの DB ファイルを削除する。
- (9) 処理を完了したメッセージを表示する。

21-2-6 削除処理

処理開始タイミング

ユーザが削除ボタンを押下する。

処理フロー

- (1) 削除するか確認するメッセージを表示する。
- (2) 削除しない場合は、処理を終了する。
- (3) 削除する場合は、ファイルを削除する。
- (4) 処理を完了したメッセージを表示する。

21-2-7 終了処理

処理開始タイミング

ユーザが終了ボタンを押下する。

処理フロー

本画面を閉じる。

22(別添資料-1)健診パターン別健診項目一覧

■ (基本パターン)

項目コード	項目名
9N00100000000000	身長
9N00600000000000	体重
9N01100000000000	BMI
9N0161601000000	腹囲(実測)
9N05600000000000	既往歴
9N0561604000000	(具体的な既往歴)
9N06100000000000	自覚症状
9N0611608000000	(所見)
9N06600000000000	他覚症状
9N0661608000000	(所見)
9A75100000000000	収縮期血圧(1回目)
9A76100000000000	拡張期血圧(1回目)
9N14100000000000	採血時間(食後)
3F0150000023271	中性脂肪(トリグリセリド)
3F0700000023271	HDLコレステロール
3F0770000023271	LDLコレステロール
3B0350000023272	GOT(AST)
3B0450000023272	GPT(ALT)
3B0900000023271	γ -GT(γ -GTP)
3D0100000019261	空腹時血糖
3D0450000019062	HbA1c
1A0200000001911	尿糖
1A0100000001911	尿蛋白
9N50100000000000	メタボリックシンドローム判定
9N50600000000000	保健指導レベル
9N51100000000000	医師の診断(判定)
9N51600000000000	健康診断を実施した医師の氏名
9N70100000000000	服薬1(血圧)
9N70600000000000	服薬2(血糖)
9N71100000000000	服薬3(脂質)
9N71600000000000	既往歴1(脳血管)
9N72100000000000	既往歴2(心血管)
9N72600000000000	既往歴3(腎不全・人工透析)
9N73100000000000	貧血
9N73600000000000	喫煙
9N74100000000000	20歳からの体重変化
9N74600000000000	30分以上の運動習慣
9N75100000000000	歩行又は身体活動
9N75600000000000	歩行速度
9N76100000000000	1年間の体重変化
9N76600000000000	食べ方1(早食い等)
9N77100000000000	食べ方2(就寝前)
9N77600000000000	食べ方3(夜食/間食)
9N78100000000000	食習慣
9N78600000000000	飲酒
9N79100000000000	飲酒量
9N79600000000000	睡眠
9N80100000000000	生活習慣の改善
9N80600000000000	保健指導の希望

■ (基本+詳細なパターン)

項目コード	項目名
9N0010000000000	身長
9N0060000000000	体重
9N0110000000000	BMI
9N0161601000000	腹囲(実測)
9N0560000000000	既往歴
9N0561604000000	(具体的な既往歴)
9N0610000000000	自覚症状
9N0611608000000	(所見)
9N0660000000000	他覚症状
9N0661608000000	(所見)
9A7510000000000	収縮期血圧(1回目)
9A7610000000000	拡張期血圧(1回目)
9N1410000000000	採血時間(食後)
3F0150000023271	中性脂肪(トリグリセリド)
3F0700000023271	HDLコレステロール
3F0770000023271	LDLコレステロール
3B0350000023272	GOT(AST)
3B0450000023272	GPT(ALT)
3B0900000023271	γ -GT(γ -GTP)
3D0100000019261	空腹時血糖
3D0450000019062	HbA1c
1A0200000001911	尿糖
1A0100000001911	尿蛋白
2A0400000019301	ヘマトクリット値
2A0300000019301	血色素量[ヘモグロビン値]
2A0200000019301	赤血球数
2A0201610019301	貧血検査(実施理由)
9A1101607000000	心電図(所見の有無)
9A1101608000000	心電図(所見)
9A1101610000000	心電図(実施理由)
9E1001660000000	眼底検査(キースワグナー分類)
9E1001661000000	眼底検査(シェイエ分類:H)
9E1001662000000	眼底検査(シェイエ分類:S)
9E1001663000000	眼底検査(SCOTT分類)
9E1001609000000	眼底検査(その他の所見)
9E1001610000000	眼底検査(実施理由)
9N5010000000000	メタボリックシンドローム判定
9N5060000000000	保健指導レベル
9N5110000000000	医師の診断(判定)
9N5160000000000	健康診断を実施した医師の氏名
9N7010000000000	服薬1(血圧)
9N7060000000000	服薬2(血糖)
9N7110000000000	服薬3(脂質)
9N7160000000000	既往歴1(脳血管)
9N7210000000000	既往歴2(心血管)
9N7260000000000	既往歴3(腎不全・人工透析)
9N7310000000000	貧血
9N7360000000000	喫煙
9N7410000000000	20歳からの体重変化
9N7460000000000	30分以上の運動習慣
9N7510000000000	歩行又は身体活動
9N7560000000000	歩行速度
9N7610000000000	1年間の体重変化
9N7660000000000	食べ方1(早食い等)
9N7710000000000	食べ方2(就寝前)
9N7760000000000	食べ方3(夜食/間食)
9N7810000000000	食習慣
9N7860000000000	飲酒
9N7910000000000	飲酒量
9N7960000000000	睡眠
9N8010000000000	生活習慣の改善
9N8060000000000	保健指導の希望

23(別添資料-2) 配布時に初期設定しておくテーブル項目表

※ ここに記載しているデータは、画面から入力するか、もしくは直接DBへ手打ちなどで整備しておく事。

DB	システム DB
テーブル	システム設定
ID	DATA
1	日医健診システム
2	0.0.0
3	2008/2/22
4	日本医師会
5	Copyright (C) 2002-2007 Japan Medical Asociation. All rights reserved.

DB	健診機関毎のDB	
テーブル	健診項目パターンマスター	
パターンNo.	項目並び順	項目コード
1	1	9N001000000000001
1	2	9N006000000000001
1	3	9N011000000000001
1	4	9N021000000000001
1	5	9N016160100000001
1	6	9N016160200000001
1	7	9N016160300000001
1	8	9N0560000000000011
1	9	9N056160400000049
1	10	9N061000000000011
1	11	9N061160800000049
1	12	9N0660000000000011
1	13	9N066160800000049
1	14	9A755000000000001
1	15	9A752000000000001
1	16	9A751000000000001
1	17	9A765000000000001
1	18	9A762000000000001
1	19	9A761000000000001
1	20	9N141000000000011
1	21	3F015000002327101
1	22	3F015000002327201
1	23	3F015000002399901
1	24	3F070000002327101

1	25	3F070000002327201
1	26	3F070000002399901
1	27	3F077000002327101
1	28	3F077000002327201
1	29	3F077000002399901
1	30	3B035000002327201
1	31	3B035000002399901
1	32	3B045000002327201
1	33	3B045000002399901
1	34	3B090000002327101
1	35	3B090000002399901
1	36	3D010000001926101
1	37	3D010000002227101
1	38	3D010000001927201
1	39	3D010000001999901
1	40	3D010129901926101
1	41	3D010129902227101
1	42	3D010129901927201
1	43	3D010129901999901
1	44	3D045000001906202
1	45	3D045000001920402
1	46	3D045000001927102
1	47	3D045000001999902
1	48	1A020000000191111
1	49	1A020000000190111
1	50	1A010000000191111
1	51	1A010000000190111
1	52	9N501000000000011
1	53	9N506000000000011
1	54	9N511000000000049
1	55	9N516000000000049
1	56	9N701000000000011
1	57	9N706000000000011
1	58	9N711000000000011
1	59	9N716000000000011
1	60	9N721000000000011
1	61	9N726000000000011
1	62	9N736000000000011

1	63	9N741000000000011
1	64	9N746000000000011
1	65	9N751000000000011
1	66	9N756000000000011
1	67	9N761000000000011
1	68	9N766000000000011
1	69	9N771000000000011
1	70	9N776000000000011
1	71	9N781000000000011
1	72	9N786000000000011
1	73	9N791000000000011
1	74	9N796000000000011
1	75	9N801000000000011
1	76	9N806000000000011
2	1	9N00100000000001
2	2	9N00600000000001
2	3	9N01100000000001
2	4	9N02100000000001
2	5	9N01616010000001
2	6	9N01616020000001
2	7	9N01616030000001
2	8	9N056000000000011
2	9	9N056160400000049
2	10	9N06100000000011
2	11	9N061160800000049
2	12	9N066000000000011
2	13	9N066160800000049
2	14	9A755000000000001
2	15	9A752000000000001
2	16	9A75100000000001
2	17	9A765000000000001
2	18	9A762000000000001
2	19	9A76100000000001
2	20	9N141000000000011
2	21	3F01500002327101
2	22	3F01500002327201
2	23	3F01500002399901
2	24	3F07000002327101

2	25	3F070000002327201
2	26	3F070000002399901
2	27	3F077000002327101
2	28	3F077000002327201
2	29	3F077000002399901
2	30	3B035000002327201
2	31	3B035000002399901
2	32	3B045000002327201
2	33	3B045000002399901
2	34	3B090000002327101
2	35	3B090000002399901
2	36	3D010000001926101
2	37	3D010000002227101
2	38	3D010000001927201
2	39	3D010000001999901
2	40	3D010129901926101
2	41	3D010129902227101
2	42	3D010129901927201
2	43	3D010129901999901
2	44	3D045000001906202
2	45	3D045000001920402
2	46	3D045000001927102
2	47	3D045000001999902
2	48	1A020000000191111
2	49	1A020000000190111
2	50	1A010000000191111
2	51	1A010000000190111
2	52	2A040000001930102
2	53	2A030000001930101
2	54	2A020000001930101
2	55	2A020161001930149
2	56	9A110160700000011
2	57	9A110160800000049
2	58	9A110161000000049
2	59	9E100166000000011
2	60	9E100166100000011
2	61	9E100166200000011
2	62	9E100166300000011

2	63	9E100160900000049
2	64	9E100161000000049
2	65	9N501000000000011
2	66	9N506000000000011
2	67	9N511000000000049
2	68	9N516000000000049
2	69	9N701000000000011
2	70	9N706000000000011
2	71	9N711000000000011
2	72	9N716000000000011
2	73	9N721000000000011
2	74	9N726000000000011
2	75	9N736000000000011
2	76	9N741000000000011
2	77	9N746000000000011
2	78	9N751000000000011
2	79	9N756000000000011
2	80	9N761000000000011
2	81	9N766000000000011
2	82	9N771000000000011
2	83	9N776000000000011
2	84	9N781000000000011
2	85	9N786000000000011
2	86	9N791000000000011
2	87	9N796000000000011
2	88	9N801000000000011
2	89	9N806000000000011

DB	健診機関毎のDB	
テーブル	健診パターンマスタ	
健診パターン No.	名称	備考
K_P_NO	K_P_NAME	BIKOU
1	特定健診	
2	特定健診+詳細な健診	

DB	健診機関毎のDB
----	----------

テーブル	システムユーザー管理データ
ユーザー名	パスワード
USER_NAME	PASSWORD
Admin	Admin
User	User

DB	システムDB
テーブル	システムユーザー管理データ
ユーザー名	パスワード
USER_NAME	PASSWORD
Admin	Admin

健診機関毎のDB

健診項目マスター

保険者番号	項目コード	項目名	必須フラグ	単位
HOKENJYA_NO	KOUMOKU_CD	KOUMOKU_NAME	HISU_FLG	TANI
99999999	9N00100000000001	身長	1	cm
99999999	9N00600000000001	体重	1	kg
99999999	9N01100000000001	BMI	1	kg/m2
99999999	9N01616010000001	腹囲(実測)	1	cm
99999999	9N01616020000001	腹囲(自己判定)		cm
99999999	9N01616030000001	腹囲(自己申告)		cm
99999999	9N02100000000001	内臓脂肪面積		cm2
99999999	9N02600000000002	肥満度		%
99999999	9N05100000000049	業務歴		
99999999	9N05600000000011	既往歴	1	
99999999	9N05616040000049	(具体的な既往歴)	1	
99999999	9N06100000000011	自覚症状	1	
99999999	9N06116080000049	(所見)	1	
99999999	9N06600000000011	他覚症状	1	
99999999	9N06616080000049	(所見)	1	

99999999	9N071000000000049	その他（家族歴等）	1	
99999999	9N076000000000049	視診（口腔内含む）		
99999999	9N081000000000049	打聴診		
99999999	9N086000000000049	触診（関節可動域含む）		
99999999	9N091000000000001	反復唾液嚥下テスト		回
99999999	9A751000000000001	収縮期血圧（1回目）	1	mmHg
99999999	9A752000000000001	収縮期血圧（2回目）		mmHg
99999999	9A755000000000001	収縮期血圧（その他）		mmHg
99999999	9A761000000000001	拡張期血圧（1回目）	1	mmHg
99999999	9A762000000000001	拡張期血圧（2回目）		mmHg
99999999	9A765000000000001	拡張期血圧（その他）		mmHg
99999999	9N121000000000001	心拍数		拍／分
99999999	9N141000000000011	採血時間（食後）		
99999999	3F05000002327101	総コレステロール		mg/dl
99999999	3F05000002327201	総コレステロール		mg/dl
99999999	3F05000002399901	総コレステロール		mg/dl
99999999	3F01500002327101	中性脂肪（トリグリセリド）	1	mg/dl
99999999	3F01500002327201	中性脂肪（トリグリセリド）		mg/dl
99999999	3F01500002399901	中性脂肪（トリグリセリド）		mg/dl
99999999	3F07000002327101	HDLコレステロール	1	mg/dl
99999999	3F07000002327201	HDLコレステロール		mg/dl
99999999	3F07000002399901	HDLコレステロール		mg/dl
99999999	3F07700002327101	LDLコレステロール	1	mg/dl
99999999	3F07700002327201	LDLコレステロール		mg/dl
99999999	3F07700002399901	LDLコレステロール		mg/dl
99999999	3J01000002327101	総ビリルビン		mg/dl
99999999	3J01000002399901	総ビリルビン		mg/dl
99999999	3B03500002327201	GOT（AST）	1	U/I
99999999	3B03500002399901	GOT（AST）		U/I
99999999	3B04500002327201	GPT（ALT）	1	U/I
99999999	3B04500002399901	GPT（ALT）		U/I
99999999	3B09000002327101	γ-GT(γ-GTP)	1	U/I
99999999	3B09000002399901	γ-GT(γ-GTP)		U/I
99999999	3B07000002327101	ALP		U/I
99999999	3B07000002399901	ALP		U/I
99999999	3C01500002327101	血清クレアチニン		mg/dl
99999999	3C01500002399901	血清クレアチニン		mg/dl

99999999	3C020000002327101	血清尿酸		mg/dl
99999999	3C020000002399901	血清尿酸		mg/dl
99999999	3A010000002327101	総蛋白		mg/dl
99999999	3A010000002399901	総蛋白		mg/dl
99999999	3A015000002327101	アルブミン		g/dl
99999999	3A015000002399901	アルブミン		g/dl
99999999	3A016000002327102	A／G		
99999999	5C095000002302301	血清フェリチン		ng/ml
99999999	5C095000002399901	血清フェリチン		ng/ml
99999999	3D010000001926101	空腹時血糖		mg/dl
99999999	3D010000002227101	空腹時血糖		mg/dl
99999999	3D010000001927201	空腹時血糖		mg/dl
99999999	3D010000001999901	空腹時血糖		mg/dl
99999999	3D010129901926101	隨時血糖		mg/dl
99999999	3D010129902227101	隨時血糖		mg/dl
99999999	3D010129901927201	隨時血糖		mg/dl
99999999	3D010129901999901	隨時血糖		mg/dl
99999999	3D045000001906202	HbA1c		%
99999999	3D045000001920402	HbA1c		%
99999999	3D045000001927102	HbA1c		%
99999999	3D045000001999902	HbA1c		%
99999999	1A020000000191111	尿糖		
99999999	1A020000000190111	尿糖		
99999999	1A010000000191111	尿蛋白		
99999999	1A010000000190111	尿蛋白		
99999999	1A100000000191111	尿潜血		
99999999	1A100000000190111	尿潜血		
99999999	1A105160700166211	尿沈渣（所見の有無）		
99999999	1A105160800166249	尿沈渣（所見）		
99999999	1A030000000190301	比重		
99999999	1A030000000199901	比重		
99999999	2A040000001930102	ヘマトクリット値		%
99999999	2A030000001930101	血色素量〔ヘモグロビン値〕		g/dl
99999999	2A020000001930101	赤血球数		万/mm ³
99999999	2A020161001930149	貧血検査（実施理由）		
99999999	2A060000001930101	MCV		fL
99999999	2A070000001930101	MCH		pg

99999999	2A080000001930101	M C H C		g/dl
99999999	2A010000001930101	白血球数		/mm3
99999999	2A050000001930101	血小板数		万 /mm3
99999999	9A110160700000011	心電図（所見の有無）		
99999999	9A110160800000049	心電図（所見）		
99999999	9A110161000000049	心電図（実施理由）		
99999999	9N201000000000011	胸部エックス線検査（がん：直接撮影）		
99999999	9N206160700000011	胸部エックス線検査（一般：直接撮影） (所見の有無)		
99999999	9N206160800000049	胸部エックス線検査（一般：直接撮影） (所見)		
99999999	9N211161100000049	胸部エックス線検査（直接撮影）（撮影年月日）		
99999999	9N211161200000049	胸部エックス線検査（直接撮影）（フィルム番号）		
99999999	9N216000000000011	胸部エックス線検査（がん：間接撮影）		
99999999	9N221160700000011	胸部エックス線検査（一般：間接撮影） (所見の有無)		
99999999	9N221160800000049	胸部エックス線検査（一般：間接撮影） (所見)		
99999999	9N226161100000049	胸部エックス線検査（間接撮影）（撮影年月日）		
99999999	9N226161200000049	胸部エックス線検査（間接撮影）（フィルム番号）		
99999999	6A010160706170411	喀痰検査（塗抹鏡検 一般細菌）(所見の有無)		
99999999	6A010160806170449	喀痰検査（塗抹鏡検 一般細菌）(所見)		
99999999	6A20500006171711	喀痰検査（塗抹鏡検 抗酸菌）		
99999999	6A205165606171711	喀痰検査（ガフキー号数）		
99999999	7A01000006143311	喀痰細胞診検査		
99999999	9N25100000000011	胸部C T 検査（がん）		
99999999	9N251160700000011	胸部C T 検査（所見の有無）		
99999999	9N251160800000049	胸部C T 検査（所見）		
99999999	9N251161100000049	胸部C T 検査（撮影年月日）		
99999999	9N251161200000049	胸部C T 検査（フィルム番号）		
99999999	9N256160700000011	上部消化管エックス線（直接撮影）(所見の有無)		

99999999	9N256160800000049	上部消化管エックス線（直接撮影）（所見）		
99999999	9N256161100000049	上部消化管エックス線（直接撮影）（撮影年月日）		
99999999	9N256161200000049	上部消化管エックス線（直接撮影）（フィルム番号）		
99999999	9N261160700000011	上部消化管エックス線（間接撮影）（所見の有無）		
99999999	9N261160800000049	上部消化管エックス線（間接撮影）（所見）		
99999999	9N261161100000049	上部消化管エックス線（間接撮影）（撮影年月日）		
99999999	9N261161200000049	上部消化管エックス線（間接撮影）（フィルム番号）		
99999999	9N266160700000011	上部消化管内視鏡検査（所見の有無）		
99999999	9N266160800000049	上部消化管内視鏡検査（所見）		
99999999	3B339000002399811	ペプシノゲン		
99999999	9F130160700000011	腹部超音波（所見の有無）		
99999999	9F130160800000049	腹部超音波（所見）		
99999999	9N271160700000011	婦人科診察（所見の有無）		
99999999	9N271160800000049	婦人科診察（所見）		
99999999	9N276160700000011	乳房視触診（所見の有無）		
99999999	9N276160800000049	乳房視触診（所見）		
99999999	9N281160700000011	乳房画像診断（マンモグラフィー）（所見の有無）		
99999999	9N281160800000049	乳房画像診断（マンモグラフィー）（所見）		
99999999	9F140160700000011	乳房超音波検査（所見の有無）		
99999999	9F140160800000049	乳房超音波検査（所見）		
99999999	9N291160700000011	子宮頸部視診（所見の有無）		
99999999	9N291160800000049	子宮頸部視診（所見）		
99999999	9N296160700000011	子宮内診（所見の有無）		
99999999	9N296160800000049	子宮内診（所見）		
99999999	7A021165008543311	子宮頸部細胞診（細胞診婦人科材料）（母分類）		
99999999	7A021165108543311	子宮頸部細胞診（細胞診婦人科材料）（ベセスダ分類）		
99999999	7A02200008543311	子宮体部細胞診（細胞診婦人科材料）		

99999999	9Z771160700000011	直腸肛門機能（2項目以上）（所見の有無）		
99999999	9Z771160800000049	直腸肛門機能（2項目以上）（所見）		
99999999	9Z770160700000011	直腸肛門機能（1項目）（所見の有無）		
99999999	9Z770160800000049	直腸肛門機能（1項目）（所見）		
99999999	1B030000001599811	便潜血		
99999999	5D305000002399811	P S A（前立腺特異抗原）		
99999999	9C310000000000001	肺機能検査（努力肺活量）		1
99999999	9C320000000000001	肺機能検査（1秒量）		1
99999999	9C330000000000002	肺機能検査（1秒率）		%
99999999	9C380000000000002	肺機能検査（% V C）		%
99999999	9E16016210000001	視力（右）		
99999999	9E160162500000001	視力（右：矯正）		
99999999	9E160162200000001	視力（左）		
99999999	9E160162600000001	視力（左：矯正）		
99999999	9D100163100000011	聴力（右、1000Hz）		
99999999	9D100163200000011	聴力（右、4000Hz）		
99999999	9D100163500000011	聴力（左、1000Hz）		
99999999	9D100163600000011	聴力（左、4000Hz）		
99999999	9D100164000000011	聴力（検査方法）		
99999999	9D100160900000049	聴力（その他の所見）		
99999999	9E100166000000011	眼底検査（キースワグナー分類）		
99999999	9E100166100000011	眼底検査（シェイエ分類：H）		
99999999	9E100166200000011	眼底検査（シェイエ分類：S）		
99999999	9E100166300000011	眼底検査（SCOTT分類）		
99999999	9E100160900000049	眼底検査（その他の所見）		
99999999	9E100161000000049	眼底検査（実施理由）		
99999999	9E105162100000001	眼圧検査（右）		mmHg
99999999	9E105162200000001	眼圧検査（左）		mmHg
99999999	5C070000002306201	C R P		mg/dl
99999999	5C070000002306301	C R P		
99999999	5C070000002399901	C R P		
99999999	5H01000001910111	血液型（A B O）		
99999999	5H01000001999911	血液型（A B O）		
99999999	5H02000001910111	血液型（R h）		
99999999	5H02000001999911	血液型（R h）		
99999999	5E071000002399811	梅毒反応		
99999999	5F016141002399811	H B s 抗原		

99999999	5F360149502399811	HCV抗体		
99999999	5F360149702399811	HCV抗体（力価）		
99999999	5F360150002399811	HCV抗原検査		
99999999	5F360145002399811	HCV核酸増幅検査		
99999999	9N401000000000011	C型肝炎ウイルス検診の判定		
99999999	9N406000000000049	その他の法定特殊健康診断		
99999999	9N411000000000049	その他の法定検査		
99999999	9N416000000000049	その他の検査		
99999999	9N501000000000011	メタボリックシンドローム判定		
99999999	9N506000000000011	保健指導レベル		
99999999	9N511000000000049	医師の診断（判定）	1	
99999999	9N516000000000049	健康診断を実施した医師の氏名	1	
99999999	9N521000000000049	医師の意見		
99999999	9N526000000000049	意見を述べた医師の氏名		
99999999	9N531000000000049	歯科医師による健康診断		
99999999	9N536000000000049	歯科医師による健康診断を実施した歯科医師の氏名		
99999999	9N541000000000049	歯科医師の意見		
99999999	9N546000000000049	意見を述べた歯科医師の氏名		
99999999	9N551000000000049	備考		
99999999	9N556000000000011	生活機能評価の結果1		
99999999	9N561000000000011	生活機能評価の結果2		
99999999	9N566000000000049	生活機能評価の結果3		
99999999	9N571000000000049	医師の診断（判定）（生活機能評価）		
99999999	9N576000000000049	診断をした医師の氏名（生活機能評価）		
99999999	9N581161300000011	医師の診断（肺がん検診）（コード）		
99999999	9N581161400000049	医師の診断（肺がん検診）（自由記載）		
99999999	9N586000000000049	診断をした医師の氏名（肺がん検診）		
99999999	9N591161300000011	医師の診断（胃がん検診）（コード）		
99999999	9N591161400000049	医師の診断（胃がん検診）（自由記載）		
99999999	9N596000000000049	診断をした医師の氏名（胃がん検診）		
99999999	9N601161300000011	医師の診断（乳がん検診）（コード）		
99999999	9N601161400000049	医師の診断（乳がん検診）（自由記載）		
99999999	9N606000000000049	診断をした医師の氏名（乳がん検診）		
99999999	9N611161300000011	医師の診断（子宮がん検診）（コード）		
99999999	9N611161400000049	医師の診断（子宮がん検診）（自由記載）		

99999999	9N616000000000049	診断をした医師の氏名（子宮がん検診）		
99999999	9N621161300000011	医師の診断（大腸がん検診）（コード）		
99999999	9N621161400000049	医師の診断（大腸がん検診）（自由記載）		
99999999	9N626000000000049	診断をした医師の氏名		
99999999	9N631161300000011	医師の診断（前立腺がん検診）（コード）		
99999999	9N631161400000049	医師の診断（前立腺がん検診）（自由記載）		
99999999	9N636000000000049	診断を医師の氏名（前立腺がん検診）		
99999999	9N641000000000049	医師の診断（その他）		
99999999	9N646000000000049	診断をした医師の氏名（その他）		
99999999	9N701000000000011	服薬1（血圧）	1	
99999999	9N701167000000049	（薬剤）		
99999999	9N701167100000049	（服薬理由）		
99999999	9N706000000000011	服薬2（血糖）	1	
99999999	9N706167000000049	（薬剤）		
99999999	9N706167100000049	（服薬理由）		
99999999	9N711000000000011	服薬3（脂質）	1	
99999999	9N711167000000049	（薬剤）		
99999999	9N711167100000049	（服薬理由）		
99999999	9N716000000000011	既往歴1（脳血管）	1	
99999999	9N721000000000011	既往歴2（心血管）	1	
99999999	9N726000000000011	既往歴3（腎不全・人工透析）	1	
99999999	9N731000000000011	貧血	1	
99999999	9N736000000000011	喫煙	1	
99999999	9N741000000000011	20歳からの体重変化	1	
99999999	9N746000000000011	30分以上の運動習慣	1	
99999999	9N751000000000011	歩行又は身体活動	1	
99999999	9N756000000000011	歩行速度	1	
99999999	9N761000000000011	1年間の体重変化	1	
99999999	9N766000000000011	食べ方1（早食い等）	1	
99999999	9N771000000000011	食べ方2（就寝前）	1	
99999999	9N776000000000011	食べ方3（夜食/間食）	1	
99999999	9N781000000000011	食習慣	1	
99999999	9N786000000000011	飲酒	1	
99999999	9N791000000000011	飲酒量	1	
99999999	9N796000000000011	睡眠	1	
99999999	9N801000000000011	生活習慣の改善	1	

99999999	9N806000000000011	保健指導の希望	1	
99999999	9N811000000000011	1. バスや電車で1人で外出していますか		
99999999	9N816000000000011	2. 日用品の買物をしていますか		
99999999	9N821000000000011	3. 預貯金の出し入れをしていますか		
99999999	9N826000000000011	4. 友人の家を訪ねていますか		
99999999	9N831000000000011	5. 家族や友人の相談にのっていますか		
99999999	9N836000000000011	6. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか		
99999999	9N841000000000011	7. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
99999999	9N846000000000011	8. 15分位続けて歩いていますか		
99999999	9N851000000000011	9. この1年間に転んだことがありますか		
99999999	9N856000000000011	10. 転倒に対する不安は大きいですか		
99999999	9N861000000000011	11. 6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか		
99999999	9N866000000000001	12. 身長 cm 体重 kg (B M I =)		
99999999	9N871000000000011	13. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか		
99999999	9N876000000000011	14. お茶や汁物等でむせることがありますか		
99999999	9N881000000000011	15. 口の渇きが気になりますか		
99999999	9N886000000000011	16. 週に1回以上は外出していますか		
99999999	9N891000000000011	17. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか		
99999999	9N896000000000011	18. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか		
99999999	9N901000000000011	19. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
99999999	9N906000000000011	20. 今日が何月何日かわからない時がありますか		
99999999	9N911000000000011	21. (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない		
99999999	9N916000000000011	22. (ここ2週間)これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなった		

99999999	9N921000000000011	23. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる		
99999999	9N926000000000011	24. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない		
99999999	9N931000000000011	25. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする		

ファイル名	KAISOU_HANTEI.csv		
ファイルタイプ	プレーンテキスト		
項目コード(括弧内は説明)	男女区分	基準値	単位
9N016160100000001(腹囲実測)	1(男性)	85(cm)	以上
9N016160100000001(腹囲実測)	2(女性)	90(cm)	以上
9N011000000000001(BMI)	1(男性)	25	以上
9N011000000000001(BMI)	2(女性)	25	以上
3D010000001926101(空腹時血糖)	1(男性)	100(mg/dl)	以上
3D010000001926101(空腹時血糖)	2(女性)	100(mg/dl)	以上
3D045000001906202(HbA1c)	1(男性)	5.2(%)	以上
3D045000001906202(HbA1c)	2(女性)	5.2(%)	以上
9N706000000000011(服薬2血糖)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N706000000000011(服薬2血糖)	2(女性)	1(服薬あり)	
3F015000002327101(中性脂肪)	1(男性)	150(mg/dl)	以上
3F015000002327101(中性脂肪)	2(女性)	150(mg/dl)	以上
3F070000002327101(HDLコレステロール)	1(男性)	40(mg/dl)	未満
3F070000002327101(HDLコレステロール)	2(女性)	40(mg/dl)	未満
9N711000000000011(服薬3脂質)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N711000000000011(服薬3脂質)	2(女性)	1(服薬あり)	
9A751000000000001(収縮期血圧)	1(男性)	130(mmHg)	以上
9A751000000000001(収縮期血圧)	2(女性)	130(mmHg)	以上
9A761000000000001(拡張期血圧)	1(男性)	85(mmHg)	以上
9A761000000000001(拡張期血圧)	2(女性)	85(mmHg)	以上
9N701000000000011(服薬1血圧)	1(男性)	1(服薬あり)	
9N701000000000011(服薬1血圧)	2(女性)	1(服薬あり)	
9N736000000000011(喫煙)	1(男性)	1(はい)	
9N736000000000011(喫煙)	2(女性)	1(はい)	

ファイル名	CHECK.csv
ファイルタイプ	プレーンテキスト

項目コード	項目名	数値1	数値2
9N0010000000000001	身長	50	300
9N0060000000000001	体重	30	200
9N0110000000000001	腹囲(実測)	30	300
9N016160100000001	BMI		
9A7510000000000001	収縮期血圧	10	900
9A7610000000000001	拡張期血圧	10	900
3F015000002327101	中性脂肪(トリグリセリド)	0	5000
3F070000002327101	HDLコレステロール	0	1000
3F077000002327101	LDLコレステロール	0	1000
3B035000002327201	GOT(AST)	0	5000
3B045000002327201	GPT(ALT)	0	5000
3B090000002399901	γ -GT(γ -GTP)	0	3000
3D010000001926101	空腹時血糖	0	2000
3D045000001906202	HbA1c	0	50
1A020000000191111	尿糖	1	5
1A010000000191111	尿蛋白	1	5
2A020000001930101	赤血球数	0	10000000
2A030000001930101	血色素量[ヘモグロビン値]	0	100
2A040000001930102	ヘマトクリット値	0	300
9A110160700000011	心電図検査	1	2
9E100166000000011	眼底検査	1	9
9N056000000000011	既往歴	1	2
9N061000000000011	自覚症状	1	2
9N066000000000011	他覚症状	1	2
9N501000000000011	メタボリックシンドローム判定	1	4
9N506000000000011	保健指導レベル	1	4
9N701000000000011	服薬1(血圧)	1	2
9N706000000000011	服薬2(血糖)	1	2
9N711000000000011	服薬3(脂質)	1	2
9N716000000000011	既往歴1(脳血管)	1	2
9N721000000000011	既往歴2(心血管)	1	2
9N726000000000011	既往歴3(腎不全・人工透析)	1	2
9N731000000000011	貧血	1	2
9N736000000000011	喫煙	1	2
9N741000000000011	20歳からの体重変化	1	2
9N746000000000011	30分以上の運動習慣	1	2
9N751000000000011	歩行又は身体活動	1	2

9N7560000000000011	歩行速度	1	2
9N7610000000000011	1年間の体重変化	1	2
9N7660000000000011	食べ方1(早食い等)	1	3
9N7710000000000011	食べ方2(就寝前)	1	2
9N7760000000000011	食べ方3(夜食/間食)	1	2
9N7810000000000011	食習慣	1	2
9N7860000000000011	飲酒	1	3
9N7910000000000011	飲酒量	1	4
9N7960000000000011	睡眠	1	2
9N8010000000000011	生活習慣の改善	1	3
9N8060000000000011	保健指導の希望	1	2

24(別添資料-3)HL7項目移送表

1 特定健診情報の交換用基本情報ファイル(1送信あたり1ファイル。)

ファイルの記録内容	フィールド名	モード	最大 バイト	データ 形式	IN	OUT	記録内容	備考
特定健診の交換用情報	種別	数字	2	固定	B.SYUBETU_KBN	XML出力形式	結果送付・返戻送付等の別を記録	別表1参照
	送付元機関	数字	10	可変	A.TKIKAN_NO	XML出力形式	特定健診機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録	別表2参照
	送付先機関	数字	10	可変	B.HOKENJYA_NO	XML出力形式	特定健診機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録	別表2参照
	作成年月日	数字	8	固定	システム日付	XML出力形式	ファイルの作成年月日(西暦)を記録	
	実施区分	数字	1	固定	B.JISSI_KBN	XML出力形式		別表3参照
	総ファイル数	数字	6	可変	システムでカウント	XML出力形式	特定健診情報ファイルを作成した総ファイル数を記録	

「健診機関情報データテーブル」→A.

「決済データテーブル」→B.

◆(XML出力形式)仕様に関してのドキュメントは

http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/hc08_doc_v1_25-20071201.pdf

(2007/12/03現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意!)を参照すること。

2. 特定健診情報ファイル(1健診結果あたり1ファイル。1送信あたり複数ファイル。)

ファイルの記録内容	フィールド名	モード	最大バイト	データ形式	IN	OUT	解説	備考	
特定健診情報	受診情報	実施区分	数字	1	固定	F.JISSI_KBN	XML出力形式	特定健診「1」を記録	
		実施年月日	数字	8	固定	B.KENSA_NENGAPPi	XML出力形式	特定健診の実施年月日(西暦)を記録	
	特定健診機関番号	数字	10	固定	A.TKIKAN_NO	XML出力形式	特定健診機関番号を記録	別表2参照	
	名称	漢字	40	可変	A.KIKAN_NAME	XML出力形式	特定健診機関名称を記録		
	郵便番号	英数	8	固定	A.KIKAN_ZIPCD	XML出力形式	特定健診機関の郵便番号を記録	NNN-NNNN	
	所在地	漢字	80	可変	A.KIKAN_ADR+ A.KIKAN_TIBAN	XML出力形式	特定健診機関の所在地を記録		
	電話番号	英数	15	可変	A.KIKAN_TEL	XML出力形式	特定健診機関の電話番号を記録		
	整理用番号1	数字	16	固定	—	XML出力形式		保険者から国に送付する時のみ使用(検討中)	
	整理用番号2	数字	16	固定	—	XML出力形式			
	受診者情報	保険者番号	数字	8	固定	C.HOKENJYA_NO	XML出力形式	特定健診の受診者が加入している保険者の保険者番号を記録	
	被保険者証等記号	漢字又は英数	40	可変	.HOKENJYASYO_KIGO	XML出力形式	特定健診の受診者の被保険者証等記号を記録	レセ電算形式と同一	
	被保険者証等番号	漢字又は英数	40	可変	C.HOKENJYASYO_NO	XML出力形式	特定健診の受診者の被保険者証等番号を記録	レセ電算形式と同一	
	氏名	全角カタカナ	40	可変	C.SIMEI_KANA	XML出力形式	特定健診の受診者氏名を記録		
	生年月日	数字	8	固定	C.SEINEN_GAPPI	XML出力形式	特定健診の受診者の生年月日(西暦)を記録		
	男女区分	数字	1	固定	C.SEIBETU	XML出力形式	特定健診の受診者の性別を記録	別表4参照	
	郵便番号	英数	8	固定	C.KOJIN_ZIPCD	XML出力形式	受診券裏面に記入された受診者の郵便番号を記録	NNN-NNNN	
	住所	漢字	80	可変	C.KOJIN_ADR	XML出力形式	受診券裏面に記入された受診者の住所を記録		
	受診券情報	受診券整理番号	数字	11	固定	C.JYUSHIN_SEIRI_NO	XML出力形式	受診券が記載した受診券の整理番号を記録	別表5参照
	有効期限	数字	8	固定	C.YUUOKOU_KIGEN	XML出力形式	受診券の有効期限(年月日(西暦))を記録		
任意追加項目結果情報(抜粋)	健診結果・問診結果情報(医師の判断による追加項目を含む)(抜粋)	項目名	漢字又は英数	40	可変	D.KOUMOKU_NAME	XML出力形式	特定健診の項目名を記録	
		項目コード	数字	17	可変	E.KOUMOKU_CDn	XML出力形式	特定健診の項目コード(JLAC1 0-17桁コード)を記録	
		データ値	数字	10	可変	E.KEKKA_TIn	XML出力形式	特定健診のデータ値を記録	
		単位	漢字又は英数	10	可変	D.TANNI	XML出力形式	特定健診のデータ値の単位を記録	
								
		項目名	漢字又は英数	40	可変	D.KOUMOKU_NAME	XML出力形式	任意追加項目の項目名を記録	
		項目コード	数字	17	可変	E.KOUMOKU_CDn	XML出力形式	特定健診の項目コード(JLAC1 0-17桁コード)を記録	
		データ値	数字	10	可変	E.KEKKA_TIn	XML出力形式	任意追加項目のデータ値を記録	
		単位	漢字又は英数	10	可変	E.TANNI	XML出力形式	任意追加項目のデータ値の単位を記録	
								
	任意追加項目結果情報(抜粋)	項目名	漢字又は英数	40	可変	D.KOUMOKU_NAME	XML出力形式	任意追加項目の項目名を記録	
		項目コード	数字	17	可変	E.KOUMOKU_CDn	XML出力形式	特定健診の項目コード(JLAC1 0-17桁コード)を記録	
		データ値	数字	10	可変	E.KEKKA_TIn	XML出力形式	任意追加項目のデータ値を記録	
		単位	漢字又は英数	10	可変	E.TANNI	XML出力形式	任意追加項目のデータ値の単位を記録	

「健診機関情報データーブル」→A.

「検査結果データ特定テーブル」→B.

「個人情報データーブル」→C.

「健診項目マステーブル」→D.

「検査結果データその他テーブル」→E.

「決済データーブル」→F.

◆(XML出力形式)仕様に関してのドキュメントは

http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/hc08_doc_v1_25-20071201.pdf

(2007/12/03現在※ファイル名はバージョンにより変更になるので注意!)を参照すること。

健診結果・質問票情報(案)

3 決済用情報ファイル

(1)決済情報ファイル(1健診結果あたり1ファイル。)

ファイルの記録内容	フィールド名	モード	最大バイト	データ形式	IN	OUT	解説	備考	補足	チェック対象
受診情報	実施区分	数字	1	固定		固定値	XML出力形式	特定健診「1」を記録	別表3参照	
	特定健診機関番号	数字	10	固定	A.TKIKAN_NO	XML出力形式	特定健診機関番号を記録			
	保険者番号	数字	8	固定	A.HOKENJYA_NO	XML出力形式	特定健診の受診者が加入している保険者の保険者番号を記録			
	被保険者証等記号	漢字又は英数	40	可変	A.HIHOKENJYASYO_KIGO	XML出力形式	特定健診の受診者の被保険者証等記号を記録			
	被保険者証等番号	漢字又は英数	40	可変	A.HIHOKENJYASYO_NO	XML出力形式	特定健診の受診者の被保険者証等番号を記録			
	氏名	全角カタカナ	40	可変	B.SIMEI_KANA	XML出力形式	特定健診の受診者の氏名を記録			
	生年月日	数字	8	固定	B.SEINEN_GAPPI	XML出力形式	特定健診の受診者の生年月日(西暦)を記録			
	男女区分	数字	1	固定	B.SEIBETU	XML出力形式	特定健診の受診者の性別を記録			
	郵便番号	英数	8	固定	B.KOJIN_ZIPCD	XML出力形式	受診券裏面に記入された受診者の郵便番号を記録			
	住所	漢字	80	可変	B.KOJINADR+B.KONIJ_TIBAN	XML出力形式	受診券裏面に記入された受診者の住所を記録			
決済情報	受診券整理番号	数字	11	固定	B.JYUSHIN_SEIRI_NO	XML出力形式	受診券整理番号を記録	別表6参照	受診券情報	
	有効期限	数字	9	固定	B.YUUOKU_KIGEN	XML出力形式	支診券有効期限(年月日(西暦))を記録			
	窓口負担(基本的な健診)	数字	1	固定	MADO_FUTAN_K_SYUBET	XML出力形式	基本的な健診項目に係る窓口負担の種別(1:負担なし、2:定額負担、3:定率負担、4:保険者負担上限額)を記録			窓口負担なし:「0」、定額負担:「1」、定率負担:「2」、保険者負担上限:「3」
		数字	6	固定	B.MADO_FUTAN_KIHON	XML出力形式	受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録			受診券の「1」:〇〇(円)、「2」:〇〇(%)、「3」:〇〇(円)
	窓口負担(詳細な健診)	数字	1	固定	MADO_FUTAN_S_SYUBET	XML出力形式	詳細な健診項目に係る窓口負担の種別(1:負担なし、2:定額負担、3:定率負担、4:保険者負担上限額)を記録			受診券情報
		数字	6	固定	B.MADO_FUTAN_SYOUSAI	XML出力形式	受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録			受診券の「1」:〇〇(円)、「2」:〇〇(%)、「3」:〇〇(円)
	受診券情報	数字	1	固定	MADO_FUTAN_T_SYUBET	XML出力形式	追加健診に係る窓口負担の種別(1:負担なし、2:定額負担、3:定率負担、4:保険者負担上限額)を記録			受診券情報
		数字	6	固定	B.MADO_FUTAN_TSUIKA	XML出力形式	受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録			受診券の「1」:〇〇(円)、「2」:〇〇(%)、「3」:〇〇(円)
	窓口負担(人間ドック)	数字	1	固定	MADO_FUTAN_D_SYUBET	XML出力形式	人間ドックに係る窓口負担の種別(1:負担なし、2:定額負担、3:定率負担)を記録	別表6参照	受診券の「その他」に記載された負担金額(率)を記録	窓口負担なし:「0」、定額負担:「1」、定率負担:「2」、保険者負担上限:「3」
		数字	6	固定	B.MADO_FUTAN_DOC	XML出力形式	受診券に記載された負担額(率)を記録			※種別が1、2、3と4でいずれかの1組に入力する
		数字	1	固定	MADO_FUTAN_D_SYUBET	XML出力形式	人間ドックに係る窓口負担の種別が保険者負担上限額の場合に4:保険者負担上限額を記録			受診券情報
		数字	6	固定	B.MADO_FUTAN_DOC	XML出力形式	受診券に記載された保険者負担上限額を記録			受診券の「1」:〇〇(円)、「2」:〇〇(%)、「3」:〇〇(円)

請求情報	決済情報	請求区分	数字	2	固定	A.SEIKYU_KBN	ML出力形式	請求区分の種別を記録	別表7参照			
		委託料単価(個別健診・集団健診)区分	数字	1	固定	A.ITAKU_KBN	ML出力形式	委託料単価の種別を記録	別表15参考 (人間ドックの場合には記録しない)			
		単価(基本的な健診)	数字	9	可変	A.TANKA_KIHON	ML出力形式	基本的な健診項目の単価を記録		契約情報		
		単価(詳細な健診)	数字	1	固定	A.HINKETU_CD or A.SINENZU_CD or A.GANTEI_CDを振り分け	ML出力形式	詳細な健診項目のコードを記録	別表8参考 医師の判断 項目ごとに繰り返し記録	契約情報	1:貧血検査,2:心電図検査,3:眼底検査いずれかの検査を行った場合に対応コードをセット	
			数字	9	可変	A.TANKA_HINKETU or A.TANKA_SINENZU or A.TANKA_GANTEIを振り分ける	ML出力形式	詳細な健診項目の単価を記録		契約情報		
		単価(追加健診又は人間ドック)	数字	17	固定	C.TUIKA_KENSIN_CD	ML出力形式	追加健診項目のコード(JLAC10-17折コード)を記録(人間ドックの場合には記録しない)		集合契約の契約情報		
			数字	9	可変	C.TANKA_TUIKA_KENSIN	ML出力形式	追加健診又は人間ドックの単価を記録	項目ごとに繰り返し記録	その他の健診(追加項目)の単価を記録 人間ドックの場合は、基本的な健診・詳細な健診を含めた単価を記録	契約情報(追加項目の場合)	
		窓口負担金額(基本的な健診)	数字	6	固定	A.MADO_FUTAN_KIHON	ML出力形式	基本的な健診項目に係る窓口負担金額を記録	(人間ドックの場合には記録しない)			
		窓口負担金額(詳細な健診)	数字	6	固定	A.MADO_FUTAN_SYOSAI	ML出力形式	詳細な健診項目に係る窓口負担金額を記録	(人間ドックの場合には記録しない)			
		窓口負担金額(追加健診又は人間ドック単価(合計))	数字	6	固定	MADO_FUTAN_TSUIKA_DC	ML出力形式	追加健診又は人間ドックに係る窓口負担金額を記録				
		窓口負担金	数字	9	可変	A.TANKA_GOUKEI	ML出力形式	単価の合計金額を記録				
		請求金額	数字	9	可変	A.SEIKYU_KINGAKU	ML出力形式	当該受診者に係る保険者への請求金額を記録				
	代行機関の処理結果	種別	数字	2	固定	別紙1参考システムでセット	ML出力形式	データ種別を記録	別表1参照			
		記録年月日	数字	8	固定	システムでセット	ML出力形式	記録年月日(西暦)を記録				
		返戻理由	数字	2	固定	-	-	代行機関による返戻理由コードを記録	別表9参照			
			漢字	200	可変	-	-	代行機関による返戻理由等(詳細)を記録	別表9参照			
	保険者の処理結果	種別	数字	2	固定	-	-	データ種別を記録	別表1参照			
		記録年月日	数字	8	固定	-	-	記録年月日(西暦)を記録				
		過誤返戻理由	数字	2	固定	-	-	保険者による過誤返戻理由コードを記録	別表10参照			
			漢字	200	可変	-	-	保険者による過誤返戻理由等(詳細)を記録	別表10参照			

「決済データーテーブル」→A.
 「個人情報データーテーブル」→B.
 「決済データ詳細テーブル」→C.

(2) 特定健診機関等の集計情報ファイル(1送信あたり1ファイル)

ファイルの記録内容	フィールド名	モード	最大バイト	データ形式	IN	OUT	記録内容	備考
集計情報	実施区分	数字	1	固定	A.KENSA_JISSI_KUBUN	XML出力形式	特定健診:「1」を記録	別表3参照
	特定健診受診者の	数字	6	可変	A.KENSA_JISSI_SOUSU	XML出力形式	特定健診受診者の総数を記録	
	特定健診の単価の金額総計	数字	9	可変	A.KENSA_TANKA_SOKEI	XML出力形式	特定健診に係る決済情報の単価(合計)の集計を記録	
	特定健診の窓口負担の金額総計	数字	9	可変	A.KENSA_MADO_SOKEI	XML出力形式	特定健診に係る決済情報の窓口負担金額(合計)の集計を記録	
	特定健診の請求金額総計	数字	9	可変	A.KENSA_SEIKYU_SOKEI	XML出力形式	特定健診に係る決済情報の請求金額の集計を記録	

「集計データテーブル」→A.

※ 西暦は数字“YYYYMMDD”的形式で格納するが、入力時・出力時のみ被保険者証や受診券等の印字を鑑み和暦(数字“GYYMMDD”的形式)で対応することも考えられる。

※ 氏名は全角カタカナの形式で格納するが、受診券、被保険者証及びそれらのQRコードでは半角カタカナとなるため、入力時・出力時のみ半角カタカナで対応することも考えられる。

※ 各ファイルはXML標準形式とする。本表は必須項目の一部を示したものであり、XML標準形式に整形するために必要な情報項目が追加される予定である。

※ XML標準形式の詳細な技術的規格は<http://tokuteikenshin.jp> を参照のこと。

25(別添資料-4) 入力プログラムの項目チェック一覧

■ 単体でのチェック項目

画面の名称	メインテーブル	メインテーブルの項目名	サブテーブル	サブテーブルの項目名	説明
ログイン処理	T_USER	ユーザー名	T_F_KIKAN	特定健診機関番号	入力データを参照し、該当が無ければエラーを返す
		パスワード			複数機関マスターの登録が1つの場合は、予めそれを表示しておく
受診券入力	T_KOJIN	患者ID	ORCA-DB	患者番号(PTNUM)	日医レセ連携の場合に日医レセ側のTBL_PTNUMテーブルで検索し、検索結果を以てTBL_PTINFで検索かけるが、無い場合にはエラーとし、以降手打ち状態にする
		保険者番号	T_HOKENJYA	保険者番号	保険者番号が手打ちされた場合に、T_HOKENJYAを参照する為登録されているかチェックを行う事
		支払代行機関番号	T_SHIHARAI	代行機関番号	支払代行機関番号が手打ちされた場合に、T_SHIHARAIを参照する為登録されているかチェックを行う事
機関情報登録	T_KIKAN	特定健診機関番号			ログイン処理で使用されるテーブル。
医療保険者情報メンテ	T_HOKENJYA	保険者番号			保険者番号が入力された場合に、T_HOKENJYAを参照し、該当があればそれを画面へ表示しなければ確認メッセージを表示し、"はい"が選択されれば入力を続ける。
支払代行マスター	T_SHIHARAI	支払代行機関番号			
ユーザー情報	T_USER	ユーザー名			登録時に不要な空白を除去して登録しておくこと。例) Trimの使用等
		パスワード			

■ 結合でのチェック項目

画面の名称	処理の名前	入力項目名	参照先テーブル名	参照先キー項目名	備考
受診券入力	入力	保険者番号	T_HOKENJYA	保険者番号	データ登録されているか確認する事。未登録時は新規登録の確認を表示し、OKの場合はメモ画面へ遷移する。
	入力	支払代行機関番号	T_SHIHARAI	代行機関番号	データ登録されているか確認する事。未登録時は新規登録の確認を表示し、OKの場合はメモ画面へ遷移する。
検査結果データ読み込み	入力	受診者番号	T_KOJIN	患者番号	データ登録されているか確認する事。未登録時は新規登録の確認を表示し、OKの場合はメモ画面へ遷移する。
医療保険者情報メンテナンス	入力	保険者番号	T_HOKENJYA	保険者番号	データ登録されているか確認すること。未登録時は確認メッセージを表示し、選択によっては新規入力可能にする。該当有の場合は、名称を表示する。

26 入力必須項目について

○ログイン画面

健診機関番号、ユーザ名、パスワードにより認証が完了しない限り
以降の（メニュー画面表示）処理は利用できない。

○受診券入力画面

1. 受診券整理番号
2. 交付日
3. 保険者番号
4. 費保険者証等記号
5. 費保険者証等番号
6. 氏名（カナ）
7. 生年月日
8. 男女区分

が登録に必要な必須項目。

○検査結果入力画面

1. 健診パターン
2. 検査実施日
3. 請求区分

が登録に必要な必須項目。

○検査結果データ取り込み画面

隨時取り消し、終了可能。

○健診結果表示・自動判定画面

隨時取り消し、終了可能。

○請求・HL7出力画面

請求処理を行うには、

1. 種別コード
2. 実施区分
3. 請求区分

が必須項目。

○請求データ編集画面

隨時取り消し、終了可能。

○機関情報登録画面

1. 特定健診機関番号
2. 送付元機関（特定健診機関番号をセット）
3. 名称
4. 郵便番号
5. 所在地
6. 電話番号

が必須項目。

○健診パターンメンテナンス画面

隨時取り消し、終了可能。

○健診項目マスタメンテナンス画面

隨時取り消し、終了可能。

○保険者情報マスタメンテナンス画面

1. 保険者番号
2. 保険者名称
3. 郵便番号
4. 所在地
5. 電話番号
6. 単価（基本的な健診）

が必須項目。

○検査機関検査項目コードマスタメンテナンス画面

1. 項目コード（JLAC10）

が必須項目。

○支払代行マスタメンテナンス画面

1. 支払代行機関番号
2. 支払代行機関名称
3. 郵便番号
4. 所在地

が必須項目。

○システム利用者メンテナンス画面（ユーザ情報登録画面）

1. ユーザ名
2. パスワード

3. 権限

が必須項目。

○複数機関情報メンテナンス画面

1. 健診機関番号
2. 健診機関名称
3. 日医標準レセプトソフト連携

が必須項目。

○システム管理ユーザ情報登録画面

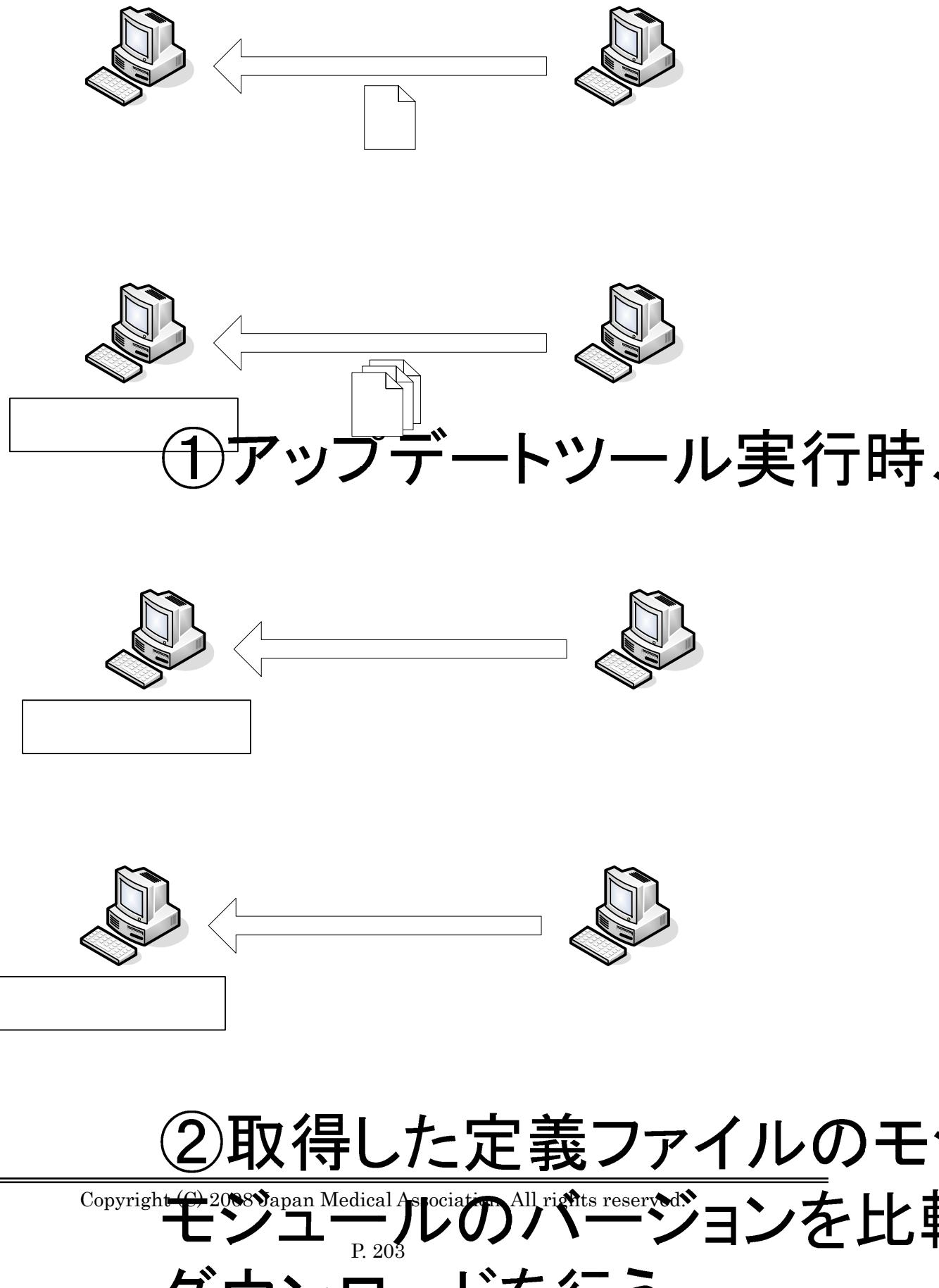
隨時取り消し、終了可能。

(別紙資料) DB詳細仕様書

当システムで使用するDBについての詳細仕様書は、別紙資料とする。

27 オンラインアップデート

27-1 処理の概念図



27-2 処理の概要について

取得する定義ファイルには下記の情報を記載する。

① モジュール毎のバージョン情報

- ・モジュール名：バージョン番号

※全てのモジュール名とバージョン番号を記載する。

② DB のバージョン情報

- ・DB のバージョン番号

③ データのバージョン番号

- ・データのバージョン番号

※データとは、初期データとして DB にセットされているデータ。

定義ファイルのフォーマットは、xml、ini などのテキストファイルを想定。

定義ファイル内での記載方法は特に限定しない。

27-2-1 モジュールの更新について

①ダウンロードした定義ファイルにあるモジュール毎のバージョン情報と現在稼動しているモジュールのバージョンを比較。

定義ファイルのバージョンの方が新しければ、サーバよりダウンロードする。

※上記①を定義ファイル内の全モジュール名に対して行う。

一度もダウンロードされていないモジュールも定義ファイルに記載することでダウンロード可能とすること。

27-2-2 DB の更新について

①ダウンロードした定義ファイルにある DB のバージョン情報と現在稼動している DB のバージョン情報を比較。

定義ファイルのバージョンのほうが新しければ、サーバより SQL 文を取得し実行。

※実行する SQL 文には、テーブル追加、更新、削除、インデックスの追加、更新、削除などが想定される。

27-2-3 データの更新について

①ダウンロードした定義ファイルにあるデータのバージョン情報と現在稼動している DB データのバージョン情報を比較。

定義ファイルのバージョンのほうが新しければ、サーバより SQL 文とデータを取得し実行。

※実行する SQL 文には、テーブルのデータ全件削除後新データ投入、データ更新、などが想定される。

27-2-4 オンラインアップデートで使用する XML ファイルについて

オンラインアップデート処理で使用するサーバから取得する XML ファイルについて

オンラインアップデート処理時の参照 XML ファイルについて

アップデート実行ファイル(update.jar)と同階層にある Application.properties 内の update.url の値として記述された XML ファイルを参照対象とします。

update.url=http://ダウンロードサーバ名/ディレクトリ名/updatetask.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<root>
  <!--data 要素は 1 つ-->
  <data>
    <!--以下が通常のオンラインアップデート用-->
    <!--system_version 要素を最初の update からのバージョン履歴の数だけ繰り返し-->
    <!--1 つ目のバージョン-->
    <system_version no="2.5.4">
      <!--アプリケーションに表示される OS ごとのバージョン表記-->
      <version_name>
        <windows>アプリケーション名 VER1.0.0-WIN</windows>
      </version_name>
      <!--バージョン表記 ここまで -->
      <!--更新されるファイル情報:1 つのバージョンの更新ファイルの数繰り返す-->
      <!--1 つ目の更新ファイル情報-->
      <task>
        <!--1 つ目の更新ファイルの DL 元-->
        <module_url>http:// ダウンロードサーバ名/ディレクトリ名/ファイル名.xml</module_url>
        <!--1 つ目の更新ファイルの配置先：実行ファイルの階層からの相対パス-->
        <copy_dir>format/ファイル名.xml</copy_dir>
      </task>
      <!--2 つ目の更新ファイル情報-->
      <task>
        <module_url>http:// ダウンロードサーバ名/ディレクトリ名/ファイル名.jar</module_url>
        <copy_dir>ファイル名.jar</copy_dir>
      </task>
      :
      :
      <!--n 個目の更新ファイル情報-->
    </data>
  </root>
```

```
<task>
  <module_url> . . . . </module_url>
  <copy_dir> . . . . </copy_dir>
</task>
<!--更新されるファイル情報 ここまで-->
</system_version>
<!-- 1つ目のバージョン ここまで -->
<!--n 個目のバージョン>
<system_version no="1.0.0">
  <version_name>
    <windows>アプリケーション名 VER 1.0.0-WIN</windows>
  </version_name>
  <task>
    <module_url>http:// ダウンロードサーバ名/ディレクトリ名/ファイル名.jar</module_url>
    <copy_dir>ファイル名.jar</copy_dir>
  </task>
  :
  :
<task>
  <module_url> . . . . </module_url>
  <copy_dir> . . . . </copy_dir>
</task>
</system_version>
<!--n 個目のバージョン ここまで-->
</data>
</root>
```